京城日報　夕刊　五月二十八日（月）
京城府大平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社

知事會議に引續き 警察部長會議開會

◇—二十八日から四日間開會

知事會議を終つて休む暇もなく警察部長會議は二十八日から總督府第一會議室において開催された、この會議は朝鮮治安の根本方針を審議しあはせて各道における現下の狀勢を報告しまた各警察部長より治安警察に關する意見の開陳があることゝて中村警務局長を始め總督府關係局課長、憲兵隊司令官、陸軍關係者のみならず、内地からは内務省警保局事務官、兵庫縣井上警察部長、山口縣近藤警察部長等も出席、まづ渡鮮朝鮮人問題につき意見を交換した、なほ山梨總督、池上總監も出席し左の如き訓示を與へた

總督訓示

道警察部長の會同に際し茲に親しく所懷を述ぶるは予の欣幸とする所なり

目下鮮内諸般の政務順調に行はれつゝあるは各位の努力に負ふ所大にして深く其の勞を多とす然れども仔細に民心の趨向を察するに未だ遽に樂觀を許さゞるものあり即ち各種思想團體中には不穩の思想を包藏し施政に對し偏見に基く妄評を試み又不軌を企つるもの少からず此等に對して數次反省を促したるに拘らず尚其策に腐心するの實情にあり殊に國外に於ける不逞者の如きは獨立を標榜し或は共産主義を高唱し時に兇暴なる手段に訴へ民心の惑亂を企つる等未だ其の跡を絶たざるの實情に在り各位は此等の策謀に對し適切なる措置に出で非違を糾彈すると共に一般民心の歸嚮を誤らしめざるを要す

今秋 行はせらるゝ即位の大禮は實に國家の盛典にして擧國奉祝の誠を致すべき盛儀なり

各位は此の際管内は勿論國外に對しても警戒を嚴にし以て奉祝に萬遺憾なからしめんことを要す

時勢の推移と思想の變遷に伴ひ警察事務は日を逐うて複雜に赴かんとし然れども財政は事務の增加に伴ひ直に職員を增加するを許さず此の間の善處は主として警察官吏の素質の向上と志氣の振起に依らざるべからざるに拘らず往々警察官吏の素質と志氣に關し顧念すべき點なしとせず各位は宜しく率先部下の指導訓練に當り一般警察官吏の教養と志氣振張に努め且事務の刷新及能率の增進を圖り以て多岐なる職務の遂行に遺憾なきを期すべし

保健 衛生に關する施設は年を逐うて改善せられ諸般機關亦普及しつゝありと雖未だ所期に及ばざること遠く將來企劃を要すべきもの少しとせず殊に常在傳染病の如き近時猖獗を極め毎年多數の患者を出し爲に民力の疲弊を招き國家の發展を阻みつゝあるは洵に憂慮に堪へざる所なり各位は一層之が豫防撲滅に努め保健衛生に關する諸般施設の擴充を圖り以て福利の增進に寄與せられんことを望む

昭和三年五月二十八日　朝鮮總督　山梨半造

政務總監訓示要旨

不肖政務總監の任に膺り、茲に初めて各位と會同し、親しく所懷を述ぶるの機會を得ましたることは、洵に欣幸とする所であります。顧みますれば本府始政以來、各般の施設は着々進捗し、以て今日の如き文化の發展を致し、治安の維持を見ましたることは、畢竟各位が多年孜々努力せられたる結果に外ならぬことゝ考へまして、茲に其の功績に對して滿腔の謝意を表するのであります。

然しながら、近時社會の變遷に伴ふて、警察事務は益々多岐に亘り、殊に思想の傾向は、應々憂慮すべきものがあるのであります。此の實情に徹しますれば、到底現狀に晏如たるを許さぬものがあるのであります。各位は宜しく此の情勢を察し、克く部下の教養訓練に努め、時代に適應したる有爲なる警察官を育成すると共に、一面各自の責任觀念を喚起し、各自の所管區内の事項に關しては、擧げて其の責に任ずるの決心を要し、互に連絡を緊密にし、且上下融和、以て警務の向上進行を圖られたいのであります。

申す迄もなく、治安の確保は、百般の基礎を爲すものでありまして、殊に發展の道程に在る朝鮮に於ては最も此の感を深うするのでありますが、各位は又、勿論、警察本然の治安維持に任ずるは勿論、衛生其の他各般の施設に對しても、克く警察施政の本義を解し、機に應じて適當なる援助を加へ、之が圓滿なる遂行を圖り、以て統治全般の實績擧揚に寄與するに努められたいのであります。尚此の機會に於て、二三項を分つて所懷を述べ、各位の勵行を煩はしたく思ふのであります。

一、綱紀の振肅

綱紀の振肅に關しましては、既に着任の當初、訓示する所ありました、各位亦克く意を茲に用ひられつゝあることと思ふのでありますが、近時綱紀を紊り、甚しきに至つては、刑辟に觸るる者を出しましたることは、洵に遺憾に堪へない所であります。申す迄もなく規律は國政運用の樞軸であり、一般官公吏の生命であります。就中社會の非違を糾すを以て其の職責とする警察官吏は、居常最も嚴肅なる規律の下に行動し、些の弛緩をも許さぬのであります。若し警察官にして綱紀を紊り、社會の儀表たるの自覺を失ふに於ては、國家の安寧は到底望むことが出來ぬのであります。各位は深く思を茲に致し、其の職司の責大なるに鑑み、部下の監督指導に細心の注意を拂ひ、苟も其の非行失態に對しては、寸毫の假借なく斷乎たる措置を執り、以て綱紀を振肅するやう努力せられんことを希望致します。

二、民衆處遇

凡そ警察の目的は、社會生活の秩序を維持し、福利を增進するに在るを以て、其の任にある者は、民衆の處遇に當つては傲慢不遜の態度を戒むるは勿論、常に懇切叮嚀を旨とせねばならぬことは、更に言を俟たぬ所であります、此の點に關しましても、從來訓示及指示したる所あるに拘らず、今尚其の徹底を見ないのは甚だ遺憾に思ふのであります。各位は今後一層意を茲に致し、若し地方に於ける一官吏の言動にして當を得ざるものあらんか、輙て一般施政に累を及ぼすものあるを念ひ、下僚をして、或は徒に法令末節の形式に拘泥し、或は濫に官權を弄して、民衆を威壓するが如き弊を避けしめ、誠心事に當り、溫愛人に接し常に部内民衆の信頼を得、官民一致の美風を馴致し、以て警察本然の目的達成に努められんことを切望して已まぬのであります。

三、署長の訓授に對する注意

警察官に對する平素の訓練指導の方法は、素より一に止まらぬのでありますが、就中各警察署長の、其の下僚に對する訓授をして、適切ならしむることも亦其の最も重要なるものゝ一と考ふるのであります。從て、各位は、平素各警察署長が、如何なる事項を其の下僚に訓授して居るかを、随時の報告に依つて承知せられ、之に對して適當の指導を加へられて居られることゝ思ふのでありますが、又時に應じ、事に依つては、各位より各署長に對し、特に訓授すべき事項を指示せられ、尚當該署員の、其の訓授事項の實行如何に關して、適當なる督勵の方法に出でらるることも、亦必要であると思ふのであります、此の如き事は、各位の既に承知せらるる所と思ふのでありますけれども、警察官の訓練上緊要と思惟致しますので特に留意を促す次第であります

四、法令の周知徹底

警察法令は極めて複雜廣汎でありますから、其の執行を職務とする警察官ですら、其の全部に精通することは殆ど不可能であります。況んや民衆に於て、之を熟知せざるは寧ろ當然のことではないかと思ふのであります、殊に朝鮮に於きましては民度未だ低く、社會的訓練が甚だ乏しい規律的生活に慣れて居らないのでありますが故に之に對して漫然複雜なる法規の實行を強ふることは、煩累窮屈の感を抱かしむるに相違ないのでありますると共に、從來警察が動もすれば人民の怨府たるが如き觀のありましたことは畢竟之に基因するものであると考へまして、克く法令の趣旨を諒解せしめたる上にて警察取締の必要ある所以を會得せしめて克く法令の趣旨を諒解せしめ、故に各位は宜しく部下を指導して適當なる方法を以て、懇切に法令を周知せしむることに努め、以て豫防警察の目的を達せられ

五、傳染病の豫防

傳染病の豫防撲滅に關しましては常に各位の努力せられつゝあるを思ふのでありますが、常在傳染病は、近年猖獗の傾向を示し、之が爲め年々多數の人命が失はれますことは、洵に遺憾とする所であります、是れ素より各種の原因に依ることであ りませうが、要は民衆衛生思想の缺如と豫防施設の不備とに因るものと思ふのであります。各位は別に指示する所に從ひ、之が豫防の萬全を期すると共に、特に衛生思想の普及向上と、豫防の勵行とに付、更に一般の考慮を加へられたいのであります

六、保健衛生施設の改善

保健衛生に關する施設は、漸く其の緒に付きたるに過ぎざるの觀があるのであります。今後之が改善充實を促すに付ては地方費又は府面の負擔に依る所甚だ多いのでありまするが、各位は地方財政の許す限り、之が施設の改善擴充を圖り、衛生狀態の進步向上を期し、以て國利民福の增進に資せられんことを望む次第であります

昭和三年五月二十八日　朝鮮總督府政務總監　池上四郎

開會された警察部長會議

重大化した 馬賊襲擊事件

◇—更に救援隊出動

【羅南特電】馬賊襲擊事件は俄然時局問題となり、二十六日第七十三聯隊の一部に出動命令降り、折柄聯合演習中の同隊は直ちに救援の準備に着手した、牧野少佐指揮の下に第三大隊及び機關銃隊は二十八日午後一時鐵道にて〇〇に向つて出動した、尙北村中尉は兵〇〇を率ひ同日午前七時先發した

【咸興特電】廿七日午後三時過ぎ咸興步兵第七十四聯隊は龍山に出動し二十師團の指揮を受くべき命令に接した、咸興有志は昂奮緊張す、都地少佐の率ゆる第三大隊は步兵、砲兵若干と共に園部聯隊長以下官民の歡呼の聲に送られて二十八日午前六時十分龍山に向つたが行先不明

五縣に戒嚴令を布く

わが軍の出動に支那側あわて、

支那側では二十七日通化、臨江、寬甸、輯安、撫松の五縣に戒嚴令を布いたが右は林杢、中江鎭の兩所を支那馬賊が來襲し兇暴の限りを盡くしたので龍山、咸興師團の出動を見るにいたつたので支那側でも捨て置けず今回戒嚴令を布き自發的に馬賊の集滅を期さんとしてゐるのであるしかし支那側における討伐力は十分な成績を布くに不足をつげてゐるので日本は支那官憲援助の意味で現在支那側に取つてゐる態度は當分そのまゝ從留せしめ置く模樣である

最善の方法を約す

軍司令部發表＝若林中尉を拉去した馬賊事件に關し中江鎭および滿浦鎭兩守備隊長は支那側官憲に對し強硬なる通告文を發したが、これに對し支那側では通告文の趣旨をよく諒解すると共に拉去された若林中尉の救護についても最善の方法を講ずるやう回答して來た

戰線蜿蜒數十哩 四十万の大軍相對峙

河間を中心に睨合ふ南北軍

【北京廿七日發聯合】總攻擊によつて京漢線にその西方の地域にあつた山西軍主力を西方山地に撤退した奉天軍は滄州を避け、河間の中間を目標に前進、馮玉祥軍は七萬に達し決戰を挑むに決し、京漢線上の一部隊に奉天軍はすでに河間方面に移動を行つたので二三日中に兩軍の大衝突が豫想され北軍は必勝を期して居る馮玉祥軍は鹿鍾麟、韓復榘兩氏の指揮する直隷軍と勝敗の數は逆睹し難い、なほ蔣介石軍主力は徐州を渡り閻錫山、方振武、賀龍氏等の四軍並に晉軍がすでに京漢線に到着し馮玉祥軍と確實に連絡を取つた、斯くして河間方面の戰鬪は蜿蜒數十哩に亘り南北兩軍各廿萬の大軍を以つて相對し天下分目の大決戰は愈々迫つた

赤討同志聯合會檄文

【北京廿六日發聯合】張學良、張作相、楊宇霆、孫傳芳、張宗昌氏以下北方各將領の指揮する北方討赤同志聯合會は廿六日各方面の戰線にある將士に檄を飛ばし士氣を鼓舞したが、その大要は左の如し

九日附大元帥府の停戰安民の通電あつたにも拘はらず赤軍尙ほ悛めず京漢、津浦兩線から續々と攻寄せ來り、其の暴戾前非を悔ゆるの色無く、大元帥府は猛烈なる決心の下に敢て今一戰を交へざるを得なくなつた、國家興亡の戰ひで名正しければ勝利は既に我れにあり、更に豐富なる食糧、武器を有し數十萬の精兵を有する我が軍の勝てぬことがあるか、將士何れも敵愾心に燃え先を爭うて戰ふべし、僅かの勝に驕り僅かの失敗に氣を腐らす事勿れ、勝負は勝者なり、戰敗後に悔を遺す勿れ

日本軍は京津一帶で 自由行動は取り得られぬ

◇—南方の日本覺書に對する回答文内容

【濟南廿六日發聯合】廿六日南京政府外交部は日本の覺書に對する回答文を發表し重大視される事となつた、陸軍は滿洲の治安維持に關する事と共に日本軍は北京、天津一帶で自由行動を取り得ざる旨を明白にし反駁したもので、なほ譚延闓氏は馮玉祥、蔣介石氏等と打合せのため鄭州に赴いた

靜岡組は留黨 して小泉氏を說く

廿六日夜會合協議の結果

【東京電話】政友會の小泉策太郎氏一派の靜岡組は田中總裁の態度に拘らずその進退を決すと傳へられたが廿六日夜赤坂某所に小泉、大麻兩氏を除く松浦、松本、倉本、山口、廣中、瀬谷の六代議士等會合意見を交換した結果この際全部留黨するに決定、なほ小泉氏に對しては廿八日松浦、松木兩氏が鎌倉の別邸に赴き極力留黨を勸說することゝなつた

山本農相 小泉氏を訪ふ

【熱海電話】山本農相は二十七日夜六時三分熱海着列車で當地着、小泉策太郎氏の脫黨決意をひるがへさせん爲訪問するところあつた

煙草會社 支店長異動

二十五日付を以つてタバコ會社支店長に左の異動があつた

命群山支店長心得　櫻井宗治郎
命木浦　同　木田孝一
命咸興　同　上城酒造治
成興支店長　石谷寅三
命本店營業課勤務　群山支店長心得　磯部謙哉
木浦　同　村上直助
留職託

辭令（廿六日附）

總督府技師　杉谷茂
歐米各國へ出張を命す

總督招待

開催中の警察部長會議出席者を二十八日午後六時半より官邸に招待

總監招宴

池上總監は警察部長會議出席者を二十九日午後六時半より官邸に招待晩餐會を開く

人

◇血脇守之助氏（日本齒科醫師會長）滿洲方面視察を終へ二十八日朝入城府前屋投宿同日挨拶の爲め本社來訪

◇石鎭衡氏（全南道知事）入城中挨拶の爲め二十八日本社來訪

◇足立瀧二郎氏（十八銀行專務取締役）入城中挨拶の爲二十八日本社來訪

乃木組員三角勝藏君 は豫而南米倉町自宅に於て病氣療養中の處廿八日午前六時遂に永眠した、享年三十八才、告別式は廿九日午後七時より自宅にて神式を以て營む由

劍俠艶魔

幕末秘錄　（三六）　渡邊默禪

天井に垂下る

鼠心ははち切れるほどの不滿をかへて、さげすむやうな目に冷笑を濃はせながらいつた。

『先生、私は率直に思ふまゝを申し上げます。同じ稽古の入門生であつても必ずしも一樣の初心者であるとはいはれますまい。技の未熟なものもあれば練達した者もあり強いのも弱いのもございます。私に手ほどきをして下さる門弟衆が若しも私より技が劣つてをつても、私の方が返つて手ほどきをして進ぜるやうなことになりましたら如何なりませうな』

と、鐵州は笑つて

『さすればもつと強い者もあるか？』

『それも、私に打稽古下さる方には』

『この道太郎が直々にお相手をいたして進ぜる』

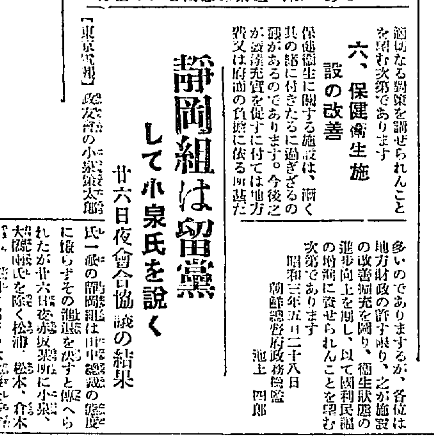
『萬一先生が負をとられた場合は？』

『勿論のこと。貴公の膝下にひざまづいて、謹んで教を乞ひませう。この春風館も直に貴公にお讓り申す』

何といふ傲慢な小僧であらう。尚武といへば尚武、狼藉といはゞ狼藉、變な奴が舞込んだものだと、門弟たちは一人として激しい反感を起さぬはなかつた。が鼠心は平氣なもの、それならばといつた風に立あがつて支度をしたけれど、胴も面もつけない。ただ竹刀を拔き、衣裳の裾をまくつただけで寸詰りの竹刀を持ち、肩をそびやかしてつかつかと道場の中央に進み出た。

道太郎は竹刀を正眼に構へてまづ鼠心の構へを見ると、腕捲りをして右手を腰に挽き、右の手に竹刀をとつて眞つ直に突出してゐる。今まで見たことのない型だ。

さてはわざとすきを造つて誘ひをかけるのではあるまいか、とすると彼は容易ならぬ者ではないな、と思つたが



て、道太郎の幼時から入門鐵齋を受けさせたのである。ところが道太郎は非凡の鋭智兒、十四歲の時すでに無刀流の免許皆傳をとつたといふレコード破り、殊に大刀無双をもつて聞こえ、他流試合に挑込んで來る諸國の者を孤撃に叩き伏せて、恐ろしい少年もあるものだと舌を捲かせた。

この道太郎は誰あらう、明治初年、海舟と共に勤王の三傑といはれた山岡鐵舟の次男、父は劍術においても當時第一人者と稱された。

『他心』 心をもつて打込んでいつたと、鼠心は一足飛び下つてから、俄然猛虎の勢ひ、エ、ッヤと鋭い氣合ー一喝の聲ーをかけて右の手を電光のやうに閃かし、遮二無二斬込んで來る。と道太郎は直立不動竹刀を正眼につけたまゝびくともしない。渾身の力を絞つて打込む鼠心は、徒らに竹刀をたゝく響きを飛ばすばかり、小手一つ打つことができなかつた。

『そら、參るぞ』

道太郎は忽ち攻勢に轉じた。鼠心の胴へ發しと打込んだ一瞬、その竹刀が袖の下へ入つたか入らぬに、鼠心の體はまりのやうにポンとはねあがつて、可なり高い天井の小梁に右の手をかけ、だらりとぶら下つた、まるで蝙蝠。

一堂の劍客たちは、怪な小僧の意外の奇觀にアッと目をみはつた。

『さ。どこでも構はん。ウンと叩きのめしてくれたまへ。打殺しても差閊へはない』

『ハ、、。頼ましいことで。それではお年齡を拜察して頂きます』

それと聞ひけつて道太郎は、鐵齋に向かく挨拶して頭を下げた。鐵齋はじめ門弟たちは興味にそゝられた眼に居列んで、二人の少年に注ぎ集めた。小癪に憎い少坊主奴道太郎殿、容赦なく打ち懲らしておやりなされと皆な聲をかけたいほどに思つた。

あすの天氣（29）

稍々優勢な低氣壓は滿洲北部を東に通過しつゝある朝鮮の氣壓が高いがその傾斜は極めて緩漫であるため全鮮一般に曇り釜山及雄基には霧がある明日は曇り勝ちである

豫報　曇一時晴
氣温　廿八日正午 [illegible]　廿七日最高 [illegible]　最低 [illegible]

姙娠調節

（Ａ印）舶來の妙器 ペッサリーム

多産や病弱の方が一時的姙娠せぬ樣

誰でも自由に出來る

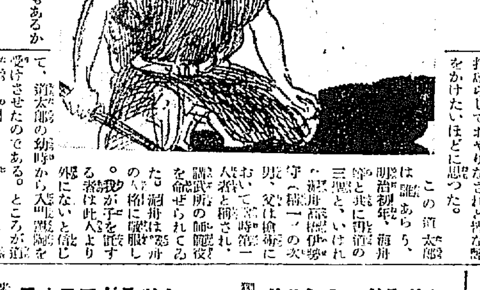
又子供を適當に產んで強く育て上げ更に充分の教育を授けたい方が本品で調節するのが一番上合理的で最も其の法は西洋各家庭で盛んに使用せられ尚又子宮内膜炎の豫防（使用後洗滌す）にも多數使用せられ又婦人病者は其の目的を達する眞に實で手輕で確かでサツクより優れて安全な便利で愉快で不快のないのです

品切の節は直接御申込下されば一個送料共金壹圓五十錢で送ります

東洋總代理店　神戸市磯邊通四丁目　柴田商店輸入部　振替大阪三四五九九　電話葺合四四三

本欄特別廣告取扱　大阪淡路町三　浪華廣告社

米國ワヰコマグネット　獨逸ボツシユマグネット



●スター號型鐵道總第次越申御●

直輸入商　川越商店

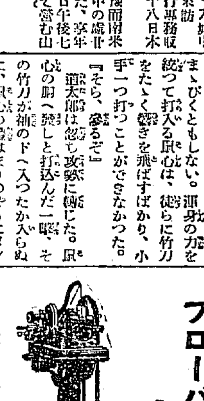
神戸市北長狹通五丁目九八　電話三宮二二四一番

品質本位　親切丁寧

能率の增進は生産費の低減である!!

輕便 フローバ靴底出し縫機

—溝切り機附屬—



（動力用機）

手縫作業が遂に一掃せらるゝ機運が到來しましたフローバは一般靴工業者渴望の堅牢輕便實用低廉の四大條件を完備した機械です。

本機は動力用と手廻用の二種あります。

輸入元　神戸市三宮町一丁目一八〇　株式會社　村田梅谷商店　電話三宮一五二四 四五四三

代理店　京城府黃金町一丁目一六五　ペニンシラ洋行　電話本局三六三九番

イタリア號の消息
遂に不明となる
シベリヤ方面へ漂流か
各方面に憂色深し

【オスロ廿六日發】北極より歸途廿四日來南風のため吹き流されてあつたノビレ少將の北極航空船イタリア號よりは廿六日午後一時廿五分に至るも何等消報なく、各方面に憂慮の色深まりつゝあるが氣象學者の觀察では、多分ノヴアヤセムリヤ乃至はシベリア方面に向つて漂流しつゝあるものであらうといはれてゐる、なほスピッツベルゲンのキングスベイにおいてもその後イタリア號よりの無電を接受せずといふが、ノビレ少將はマグネット羅針儀を携帶してをり、乘組員一同は皆スキーシングを各自携帶してゐるから、萬一墜落に際しても幾分は希望はある譯である

救助を求む
地點は依然不明

【ベルリン廿七日發至急報】ノルウエイ、オスロよりドイッチエ、アルゲマイネツアイトン紙が入手した通信によると、同地氣象觀測所は所在不明の地點よりノビレ少將がイタリア號の位置を報じ救助を求めてゐる無電を接受したと

救援隊を派す

【オスロ廿六日發】ノルウエイ政府は陸軍飛行家ラールゼン氏に對しイタリア號救助隊を組織しその救援として搜索救援に向ふべしと

【モスクワ廿七日發】勞農政府は消息不明のイタリア號搜索救援隊を出さんとし各地無電局に同船の消息あり次第通報すべしと命じた

【オスロ二十七日發】イタリア號搜査の特派船ヒルムランド號はノヴアヤゼムルヤ東北方に進むべしと命ぜられた

送信も効なし

【ヴアドソー廿七日發】ノビレ少將救援の北極探險飛行船イタリー號救援の爲出發した物資供給船ジタ、デ、ミラノ號は同船と通信する爲終夜無電を以つて呼び出し信號を送つたが不成功に終つた

里民大擧して
面事務所を襲ふ
首謀者六名を檢擧
警官の負傷者を出す

廿六日午後二時頃全南咸平郡月也面宿里里民百二十余名は月也面事務所を襲擊し門を破壞し

暴民 の行動に出るの騷擾に面長等は月也面駐在所に急報したが暴民は更にこれを追つて面長一行を取返さんとするので急報に接した咸平警察及川警部以下十三名の警官は現場に急行し諭示解散せしめんとした、しかし暴民はこれに應せず日沒後更に面長を返せと民衆その他數の兇器を携へて駐在所を襲ひ警官に反抗し爲に及川警部外七名は負傷するに至つたが、暴民は益々たけり狂ふので警官は擬銃し空砲二三發を放ち午後九時四十分に至り暴民を山中に退散せしめ首謀者六名を檢擧した、退散した暴民は更に不穩の形勢があるので全南警察部では、具保安課長を指揮官とし二十余名の警官を派遣し警戒に當たり一方木浦地方法院では栗山檢事現場に出張、取調べ中である、

原因 は面里陳有林野二十町歩が今回月也面普通學校に寄附されて目下測量中であるのを面里民は該林野中に祖先の墳墓があるのでこれが墓主に返還せよと面長、該林野寄附提供者に強要しかくの如き大事件になつたのである なほ面里は[illegible]耕作を禁止された所でそれ以來非常に人氣の惡い所である

宮城内拜觀を差許さる

【東京電話】宮城内拜觀は昨年來中止となつてゐたが七月末より來る九月、天皇、皇后兩陛下が葉山に移御遊ばされるまで約一ヶ月間一般の拜觀を許可される事となつた

二百名が押寄す
小供の虚言から

鍾路洞百二十六番地金錦龍(一二)が廿七日午後十時頃自宅に歸り待ちわびていた母に支那人徐龍敬(二七)に監禁されて遲くなつたと申出した處母は非常に激昂し該支那人の處置を語り附近一帶にふれあるいた結果、朝鮮人二百名がわいわいとはやし立て徐龍敬の宅に押し迫つたので東大門署では急に現場にかけつけ双方をつれ來たり取調

【右】福田選手のバック
【左】原田選手のユウロツピアン、サーービス

東北地方の大地震
震源地は海底と觀測

【東京電話】二十七日午後六時五十分ごろより青森、福島、北海道海岸方面に強震あり東京にもこれを感じた、震源地は青森縣八戸をさる東方九十粁の海底で外側地震帶木脈における相當大規模の地震であつたが、海底地震として大した被害もない模樣である同地方では明治三十年の三陸大地震來の大地震である

快晴の禍ひ
交通事故頻出す
きのふの日曜日に
各所で六件も出る

廿七日の日曜は快晴なので人出が多かつたが交通事故が續出した

△午後十時四十分頃京城義州通りから東大門に向ふ電車八十號が光化門停留場に着する際乘客の朝鮮婦人が飛びおりて顔面を負傷し人事不省に陷り西大門醫院に收容手當中である

△京畿道楊州郡芝屯面議政府里二〇六李在鎬(三二)が午後三時頃西大門通り三丁目一番地先を通行中、ひいてゐた牛が電車の音に驚いてかけだし、高陽郡龍江面阿峴里五〇の四二李東[illegible]に衝突し同人に全治二週間の打撲傷を負はした

△午後三時四十分頃京城府鍾路三丁目自動車運轉手洪鍾城(二五)が二百九十號自動車を運轉し東大門方面に差かゝつた時通行中の高陽郡元漢里八五一李[illegible](六)をひき倒したが生命に別條ない

△午後七時四十分本町四丁目十四番地先で光熙町三六〇中又郎(三)が無燈の自轉車で疾走して來り本町四丁目四番地商の長女みえ子(九)をひき倒して右足に全治

△午後一時五分頃東大門通り一丁目大漢醫館前を高陽郡纛島面七十七李[illegible]の妻李氏(三)が通行中、疾走してきた府内[illegible]の自動車と衝突して人事不省に陷り醫院に收容したが生命危篤

△午前十一時四十分頃京城府觀水洞四[illegible]が自轉車にて通行中大平通[illegible]の自動車と衝突し右腕を挫折した

奇怪な妾の死
本妻などと口論の翌日

府内長橋町三番地鄭澤元は二十六日午後零時四十五分頃自宅において妾林姓女(二〇)が寢床に死んでゐるのを發見したといふ、三人とも口論をして終つたがその夜三人が言爭中ふとした言葉から喧嘩となり口論の結果自宅において就寢中のところ朝に至り妾の林姓女が死んでゐるのを發見したといふ、なぞの樣な死に本町署は、他殺にしろ自殺にしろいづれも怪しいので本妻、妾をめぐる口論が林姓女の死に直接原因を與へたのは充分なのでこのなぞの樣な死に對し目下嚴重取調べ中である

博士號を賣付く
多額の金員を詐取す

近來府内外において無智な田舍者をだましつけ詐欺博士なる稱號を賣つける奇怪な曲者があつたが廿七日夜鍾路署高等係の手に擧げられた、右は忠南道大田郡外南面所在里宋彬燮、李鍾容、秋文燁、宋致用の四名で、かれ等は京城府昭格洞六戊號與康閣大成殿職員と稱し〔本學院においては孝子節婦その他徳行美德の高き者には本人の希望により表彰狀一册ならびに司憲博士なる稱號を附與するからとて證書手數料として相當の金品を捲きあげてゐたもので被害者多數におよび、博士號詐欺は朝鮮においてはじめての犯罪である

京城名物 文化まんぢう 大和軒

松の樹から墜死す

二十七日午後四時十分頃昌信洞六百二十二番地李徳九(二)は昌信洞路傍の松林において高さ三間の松の樹に掛けた朝鮮式のブランコから墜落し頭部を打つて瞬時即死した

兩氏の妙技
滿場片唾をのむ
模範試合第一日（昨夕刊のつゞき）

人として自他共に許されてゐる福田、原田兩選手を迎へて、そのエキジビションマッチの第一日廿七日の午後一時半からの京城運動場コートは恐ろしい程の緊張と興奮のうちに、兩選手の妙技に魅了をして心ゆくまで、福田原田兩選手の妙技を認めた後に、陶酔せしめて滿城の選手諸君をしてたゞ驚嘆せしめ、京城の選手の諸君がアウトとインサイドとの鋭角の距離さには、驚嘆させて左の成績で福田原田組勝ちつゞけて第一日を終つたが、スタンドを埋める觀衆は、讃みる心地で妙技に接してゐたゞけに去らうともせなかつた

福田 田六―三 姿
原 田六―〇 倉本

第一セット

倉本	1	6	2	4	1	1	4	4	4	3
姿										
福田	4	8	4	2	4	4	2	0	6	6
原田										

第二セット

倉本	1	3	2	2	1	0	0	
姿								
福田	4	4	4	4	4	4	6	
原田								

第一セットは、さすが京城のナムバーワンだけに、姿大の倉本を激しく攻めつけ三ゲームも奪つたが、福田、原田組の好手にコーナーからコーナーへ振けずり廻され、而も鋭い原田のトップスピンドライブと福田のボレーとにへとへとに疲らされ、第二セットはストレートにとられてしまつた

福田 田六―〇 富田
原田 田六―三 矢野

第一セット

矢野	4	1	1	0	1	5	0	
富田								
福田	6	4	4	4	4	7	6	
原田								

第二セット

矢野	2	0	4	8	1	3	3	1	2
富田									
福田	4	4	1	5	4	5	5	4	6
原田									

富田君のおりくくみせるチョップに苦もなく參らされた

原田 田六―〇 富田
福田 田六―〇 倉本

原田	4	4	4	4	4	4		
福田	4	4	4	4	4	4		
倉本	0	2	0	1	2	0		

聯盟野球
1―0 遞信惜敗
對京電戰

京城實業野球聯盟春季リーグ戰京電對遞信決勝戰は二十七日午後零時三十五分より京城運動場に開戰、審判は須田(球)鈴木、櫻谷(壘)の三氏、京電先攻

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
京	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
遞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

一回 吉野四球を選び二盗に生きて長谷我部の三壘ゴロ安打につゞき長谷我部も盗壘して好機を逸す▲(遞信)一死滿壘となつたが野二壘ゴロ失に生きて二本に送られたが續いて中堅飛球で本壘の凡打に止む(兩軍ゼロ)

二回 (京電)二死後安打に出で四球に逸せられて中堅飛球に凡打に止む(兩軍ゼロ)

三回 (京電)二死後吉野遊撃越安打に出て長谷我部三壘に飛ばし(兩軍ゼロ)

四回 (遞信)二死後中堅飛球に當たつて三壘を得た盗壘に誤る(兩軍ゼロ)

五回 (京電)高崎二壘手頭上を抜き竹内遊撃安打に續けど神の用と盗逸し吉野捕邪飛後長谷例の四球で滿壘となつたが長谷我部右翼邪飛球に入らず▲(遞信)三者凡退(兩軍ゼロ)

六回 (京電)時積第一球を中右前に二壘打し加藤のバントで三壘に進み[illegible]

七回 (京電)一死後照谷遊ゴロ失で二壘に、加藤の遊ゴロで三壘に進む四球出塁して中に投げ込む第一球を右前に安打し一死後平島に代つた田中が後援なし▲(遞信)一球を三遊間に安打し清水は三壘みを抜いて縫うピッチャー小林二壘に刺殺されたもの[illegible]のスタートよく封殺ならず打者宮本一壘に打ちて田中惜しくも本壘に封殺佐武の二壘ゴロ赤松本を二壘に封殺して終に止む(兩軍ゼロ)

八回 (遞信投手金田退き小林右翼に入り岡崎投手となる)(京電)照谷一壘右を强襲して生きたのみ▲(遞信)一死後二木三遊間ゴロ強投に一壘三壘を奪ひ次打者清佐竹山とのスクイズならず終に本壘三封殺さる

九回 (京電)一死後竹内の一壘ゴロバウンド惡く野手の肩に當りて生きたが神ノ川の三壘に封殺され、四球に出た吉野も二壘に封殺、平凡打で遊撃▲(遞信)最後の攻擊に入る、清水よくねばつたが一壘ゴロに終れ小林三壘宮本の三壘ゴロに痛恨一―一對零で終に遞信惜敗、開戰二時

遞信	打	安	犠	盗	三振	四球	死	失
五十分								

研木山崎島中水田林本武 遊捕二右中投右三二 一一ク久紀三一一 31401223 4 3 1 1 3 2 4 3

京電				
岡野谷部岩藤崎内				
神吉照竹久加高竹				
左遊中一捕投三右二				
打數34 安打8 犠打1 盗壘1 三振3 四球2 死球4 失策3				

11―2 鐵道快勝
對殖銀戰

引續き鐵道對殖銀の決勝戰を同球場にて午後四時三十五分より開始、審判(球)長谷我部(壘)熊谷(殖)三氏審判、殖銀先攻

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
殖	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
鐵	3	1	0	0	1	0	5	1		11

一回 (殖銀)三死後坂井遊撃越安打に出たが一盗を失して仕舞ふ▲(鐵道)今岡遊撃ゼロ入らず▲(鐵道)今岡遊撃ゼロを野手樂に取りて輕く一壘に投ずればソンバウンドで敵手ハンブルに生き能代例の如く犠打に送る西村の三壘ゴロに今岡三壘に擇ばれ西村も藤波失に二壘に先づ還り生乃助の中堅深き強打球に二村還る、生乃助も長山一壘に送して走する時西村三壘より本壘に還し生乃助も本壘に生きて一點を得て後に二點を得[illegible]

二回 (殖銀)凡退▲(鐵道)二死後今岡右前安打に出れば能代二ストライクの後を強打して中堅越二壘打に三壘へ今岡も還す西村一壘ゴロ(鐵ゼロ鐵一)

三回 (殖銀)捕はずに逸し殖銀投手となり左翼高原の三振▲(鐵道)角谷左翼に飛ばし左翼の落球に生き右中間越に大飛球を上ぐれど左翼手好捕生乃振縮し木下の中飛二、三振(兩軍ゼロ)

四回 (殖銀)一死後木下佐藤縫て四球を得たが後援なし(兩軍ゼロ)

五回 (殖銀)無點▲(鐵道)一死後四球に出た生乃が南十の左翼越三壘打で又一點を加ふ(殖ゼロ鐵一)

六回 (殖銀)三者凡退(兩軍ゼロ)

七回 (殖銀)第一打者より二者凡打し續く木本二壘打の好打順を迎へ二者凡打し二壘打が連續し坂井二本目の安打を出て錦く早速中堅深く二壘打して坂井を還す、一〇〇二點(?)一塁打して好打を強打する▲(鐵道)この時殖銀投手上田、南十二を好る强打するとき一バウンドで手に入れざる中を刺殺する▲(殖銀輪田投手に代り小林退き上田三壘に入る、▲(鐵道)角谷右翼に打てば野手失が併せ先づ二失に出た關が生乃遊擊失に還り續いて兒島木下と連續して二壘打をとる(角谷再び投手となる)佐原のバントに木下還りて五點を加ふ(殖二鐵五)

八回 (殖銀)三者凡退▲(鐵道)二死後關、西村が投手ボークに一點を加へ(殖ゼロ鐵一)

九回 (殖銀)殖銀最後のイニングに入る(殖ゼロ鐵一)

殖銀				
野原井部田須井 小高大早藤谷駒 角谷 林田村 小上市				
二捕遊右左右二投				

鐵道				
關代西乃木兒佐今 村岡西生乃島木下原				
中三二右捕左一投遊 右				
打數39 安打11 犠打1 盗壘3 三振6 四球3 死球3 失策10				
26 5 0 1 0 0 0 7 1 7				

總評

京電對遞信戰はともに負けたゞけにゲームであつた▲それだけに負けた遞信の涙と勝つた京電の喜びに深い▲京電遞信は一つである、併し京電久紀、シーズン最初からの好投依然としてつゞき、滿々たる闘志に立つ遞信も僅か四三安打を得たのである▲而も七回二死後の好機に安打つゞいて同一點を許されなかつたらみは、忘れられまい▲堂々と勝ち、堂々と敗れた▲すがすがしいゲームであつた▲殖銀と鐵道戰をみて、殖銀の敗因をみる時に▲ゲームを支配する精神的條件の重大さを思ふにはみられなかつた▲殖銀は最初から闘志に乏しかつたが▲勝利の失策は最後までのゲームを決定してしまつた▲由來殖銀は鐵道が苦手であるとはいふ精神的な弱味が勝利の失策によつて一層プレヤーを萎縮させた▲それに反して鐵道は順風に帆かけてどんく打つてくんく敵失を利した▲而も鐵道は不樂、失策の多い西村兒島君らが失策どころか、全チーム、ノー二エラーの上出來である▲調子というものは恐ろしいものだと思はれわけにはゆかない

早大柔道部員入城

早稲田大學柔道部一行十八名は部長氏家謙曹氏引率のもとに廿八日午前八時五十分京城驛着列車にて入城し直ちに朝鮮ホテルに旅舘に投宿し一行の豫定日程は左の如く決定した

▲二十八日市内見物二十九日京城各專門中等學校柔道コーチ▲三十日龍山武道館練習コーチ▲三十一日午前京城發▲平壤着六時九分▲六月一日平壤發午前八時安東に向ひ▲六月二日安東發午後▲六月二日大邱午前五時二十分着にて大邱の試合を終へ午後四時二十三分にて歸途する筈である

一行メンバー左の如し

▲部長氏家謙曹▲五段竹原磯夫▲四段内野佐一▲四段島海鶴郎▲四段武藤鈞章▲四段高浦[illegible]▲三段高野國男▲三段山文[illegible]▲三段富木聖三郎▲三段遠藤吉兵衛▲三段大都四士夫▲三段加藤藤次郎▲三段山中義正▲三段清水時男▲三段大久保勇

早大柔道部員（本社バルコンにて）

全鮮中等學校陸上競技
六月十七日開催する

京城高等商業學校主催第二回全鮮中等學校陸上競技會は來る六月十七日午前八時半分より京城運動場にて開催するが參加資格は、中等學校生徒であれば誰でもよいわけで人員は一校一種目について三名以内で同一人で何種目にても出場することが出來る、申込は十一日までに京城高商競技部長宛申込むこと・ルールは全日本學生競技聯盟規則による種目は左の通り

百、二百、四百、八百、千五百、五千、二百ロー、四百リレー、千六百リレー、走巾跳、走高跳、棒高跳、三段跳、圓盤投、砲丸投、槍投

警察官武道大會終る

警官講習所における全鮮警察官武道大會第二日の勝負左の如し（昨夕刊既報）

柔道部（第二回戰）

慶南 甲道 ―〇 江原 原道
黄海 龍太郎 ―〇 茂原 俊行
京畿 河南 ―×― 金井 永
忠南 在浩 ―〇 諸方 茂
慶北 北原 ―×― 家城 金藏
忠南 菊松 ―×― 森 武雄
京畿 安 ―〇 京畿 道
平南 志村 ―×― 根道 福吉
全南 天野 ―×― 金秀 吉
京城 手島 ―×― 木山 勝雄
咸北 田村 ―×― 酒井 一馬

高村 ―×― 關原 時郎

福島、關原の勝負は福島の傷にて補缺高村一代つた

第一代表
田村 房一 ―×― 金秀吉
第二代表
天野 勳 揚 道 順
第三代表
高村 ―〇 關原 時郎
決勝戰

劍道部（準決勝）

江原 原道 ―〇 京畿
茂原 俊行 ―×― 佐道 吉
金具 永 ―×― 金 秀吉
緒方 茂 ―×― 木下 勝雄
家城 金藏 ―〇 酒井 時郎
森 武雄 ―×― 關原 時郎

京畿道優勝

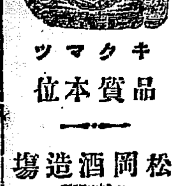
平北 ―〇 不
京畿 ―〇 全北
決勝戰 南 ―〇 京畿
平 ○○文 ○○慶 ○○山 ○○厚 ○○朝 平南優勝
木 西 橋 路 宮 田 地 富 澤 ○○原 崎 田

亞浪師急遽歸鄉
嚴父危篤の報に接して

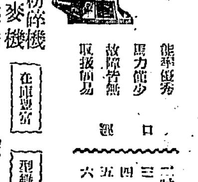
北鮮の旅を終へて目下南鮮に滯在中の亞浪師は二十九日朝京城府鮮滿道場への旅行に出かけるはずであつた目下山崎鄕里の信濃小諸に臥床中の嚴父危篤の報に接したので急遽二十八日午後九時京城驛出發歸鄉する事となつた、從つて師の南鮮行脚は取止めらるゝ事となつた

放火犯人捕はる
花祭りの夜に惡事

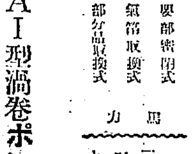
花祭當日の廿六日夜は鐘路鐘閣附近の人出に加ふるに福々の近東廟附近の人出に加ふるに種々なる催あり同署では警戒を行つてゐたところ府内駱山洞九六高島組工場方に放火し續いて孝子洞廿一番地滯方窓下に放んであつた松葉に放火逃走した曲者があつたので我孫子司法主任以下刑事總出で現場に急行し證據を探つた結果五日前、高陽郡纛島面、孤兒子等を盗み去つたコソ泥を知りこれより推して犯人は同一犯人で不良少年かと睨んで福鑄藏と相罷をつけ搜査中、府内蕪橋洞五三丁時伸長野丁永達(二)がどうやらそれらしいので廿八日午前五時頃鍾路附近の氷屋に潛伏中を逮捕取調べの結果右の犯行を逐一自白した


醇良清酒 キクマツ 品質本位 松岡酒造場 京城出張所 電話本局二四五五番

内科胃腸科 神經病 北島醫院 京城本町四丁目百五十五番地（電話本局三二七四番）

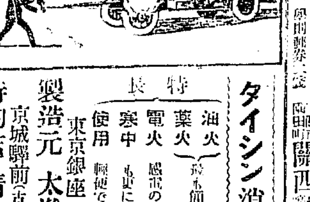

尾上式大豆粕粉碎機 清水式精米麥機 在庫豐富 型錄進呈 合資會社 泰明商會京城出張所 京城黄金町一丁目（電本三三〇一番）

ゐのくち式AI型渦巻ポンプ
能率優秀 馬力節少 故障皆無 取扱簡易
口徑 二吋半 三時 四時 五時 六時


インターナショナル石油發動機
要部密閉式 氣筒取換式 部分品取換式
馬力 一半―二馬力 三馬力 六馬力 十馬力

漁釣具一式 京城明治町一丁目交番所前 秋岡商會 地方の御註文には御小包其御中越次第定價表御送付仕候 振替口座京城一二二五六番

投網 極上絹糸製 四分目 二尋半 拾六圓五拾錢 五分目 二尋半 拾五圓 極上絹糸製 五分目 二尋半 武拾貳圓（御送料不要）
霞網 極上絹糸製 小鳥捕獲用 高さ六尺二尺 棚横幅三間 四圓八十錢 高さ六尺三尺 棚横幅五間 四圓五拾錢
弊商會多年の研究による特製の投網御試用下さい


タイシン消火銃
特長 油火 藥火 電火 寒中 使用 ―殆ど瞬間に消せる。感電の危險なし。も更に凍結せず。輕便で堅牢です。
東京銀座 製造元 太進商會 京城驛前（吉市町十二）特約店 清水商會

短簿記生募集 本年度卒業生の採用先は大日本… 簿記 ◎速記科 ◎記帳科 男女高等小學校卒業以上六ヶ月 中等學校以上三ヶ月 下關町 關西簿記學校

三坪百羽 年收千圓 養鶏講義 本會は模範的養鶏法を秘訣公開好評の如し 大日本家禽改良協會

運轉手講義録
▲講師は一粒撰内容は豐富講義は懇切
▲本校通信教授は斯界の最高權威
▲新學期開始！
▲自動車の參考書なら何でもある、圖書目錄申込次第無代で直ぐ送呈
山田自動車學校 山田出版株式會社 東京市神田區北神保町 電話九段

熱情の瞳―【八重子の椿姫】

苦吟に生れた……八重子の「椿姫」

全國を風靡しつゝある

序幕の……「夜咲く花の唄」

熱けるファンの望みはかなへられて、水谷八重子一行の藝術座は、いよ〳〵來たる六月二日夕水谷八重子の［illegible］は、六月二日夕京城に來演、本社後援の下に三日から同［illegible］日間京城劇場に出演した［illegible］しものは

一、スポーツマン　二場
　　山口高輝氏作

二、椿姫　三幕
　　佛小デューマ原作
　　晉羽六綴氏潤色

三、殉死
　　水木京太氏作

四、大尉の娘
　　中内蝶二氏作
　　落合浪雄氏脚色

であつて、いづれも藝術座が誇りとする劇［illegible］を選んだものであるが、［illegible］みゆる京城のファンを滿足させるため、本［illegible］から一場に見せ［illegible］むといふ意氣込みである。讀まれた出しもの、中［illegible］椿姫は佛の文豪アレキサンドル、デューマの世界的［illegible］小説であり、劇化されては、サラベルナールの如き名女優により演ぜられてはアラ、ナジモヴ夫人や、故ルドルフ、ヴアレンチノの如き名優によつて、いよ〳〵世界的に喧傳されて居るのである。さて水谷八重子が、どうしてこの椿姫を選んだか――そのエピソードを御紹介しやう。

八重子が、はじめて椿姫を演じたのは、昨秋九月本郷座で公演した時である。いよ〳〵本郷座［illegible］きまつて、幹部一同が［illegible］の［illegible］出［illegible］で狂言の

選定に　頭をしぼつたが、［illegible］時間にわたるも名案が出ない。初日はもう［illegible］日後に迫つて居る。上げ本の期日も切迫する。一同思案投首である。その時誰かが、ふと取り上げたのが外國の映畫劇。それに出て居たのが、ノーマ、タルマッヂの「椿姫」の寫眞［illegible］これがいゝと誰かゞ叫んだのが因となつて、早速［illegible］一同が、ファスト、ナショナルへ映畫の試寫見物へと出かけ、晉羽六綴氏に頼んで、三日三晩不眠不休で

脚色し　てもらつたのが即ち藝術座の「椿姫」なのである。純な八重ちやんには、この役は無理ではないかとの説もあつたが、こんな説があつただけにかへつて八重子の椿姫を生したやうなもので、その熱演振は拔群を極め、從つて脚色一同血の出るやうな稽古を積んでやつて漸く初日を開けて見ると素晴らしい好評、東京は勿論、大阪、名古屋、京都、横濱等の大都市に、割れるやうな人氣。と

挿話を　もつ得意の「椿姫」らく〳〵「椿姫」は八重子でなくてはならないことになつた。こうした［illegible］い、京城のファンをどんなに喜ばせることか。それに序幕で唄ふ「夜咲く花の唄」は、京城ではまだおなじみの中山晉平氏の作曲で、今や全國に大流行を見て居るのである。その歌詞を御紹介しやう。

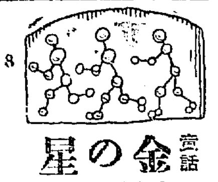
夜咲く花の唄

一、わたしや夜咲く花の唄

トワイライトのほの白い
庭の小徑にぽつかりと
咲いた椿の紅い色
誰が見ようが見まいが
わたしや夜咲く花の色

二、
誰がさゝやく［illegible］
すかな［illegible］
［illegible］

三、わたしや夜咲く花の性
誰が見ようが見まいが
綺麗に輪［illegible］に咲き誇り
散る時も［illegible］に散りもする
花の性ならしよんがいな。



童話　金の星

中島波奈子作

［illegible］兵士は［illegible］の［illegible］に涙を流しながら「あゝ秘達は、何といふ罪深い奴だつたのでせう。罪深い南の國をいぢめた罰でこんな目に會つたのです、お〳〵お姫樣、何卒〳〵此の罪を、殺すなときるなとしてください、秘達はお姫樣にどんなにされても仕方がないのです」

初め何が何だかさつぱりわからなかつたコスモス姫は、やつと兵士達があの僧らしい西の國の兵士である事がわかりましたけれど、コスモス姫に罪がにくめません。姫は静かに申しました。

「いえ〳〵誰もあれも恐くはないのです。たゞ南國のおぼし召だつたのです……」

「あゝ、勿體ないお姫樣、そのお言葉を聞くと秘達の胸ははりさけ相です。何てお優しいお姫樣で御座いませう」

「それにしてもこの山中にこんな深山の旅人やけが入が居られるのはどうした事ですか」

、お姫樣

一人の兵士けこぶしを握つて話に泣みました

「聞いて下さいませお姫樣、西の國の王樣は何といふ悪い王樣で御座いません、そのおやさしいあなたのお國に対して南の國の王樣はあまりにひどい意地の悪い王樣で御座います。二年前王樣に渡奪られて南の國に攻めて參りました。さうして南の國の王樣を捕虜にしてその勢ひでこの國にまで攻めて參りました。所がこの國は大變強くて、つい三十日ばかり前にやうやくほろぼして凱旋して西の國に引上げました。その折雨を降らぬ王樣は、病氣やきすついた秘達を、お［illegible］達はもう役に立たぬから死んでしまへとこの山中に捨て行つたので御座います。幾日で御座います、西の國に生まれたばつかりにこんな悲しい目に遭ひました。それにつけても秘達が捕した國のお姫樣にたすけて頂かうとは、何といふ幸で御座いませう。御座いますお姫樣、秘達を貴ひて御座いますか、ひで御座いまする」

女の家來にして貴女のお國へつれて行つて下さいませ」

涙ながらに話す兵士の話にコスモス姫は更も悲しかつた幼ひの夜を思ひ出すのでした。

「私は、私は悪いあの夜を忘れ事が出來ません、それに私は今は歸るべき國もないのです今私は西の國に父を尋ねてゆく途中なのです

いへは兵士達は聲をそろへて西の國の様子ならよく知つてゐるから、是非家來にして連れて行て下さいとねがふのでそれではと皆を家來にして西の國へと向ひました

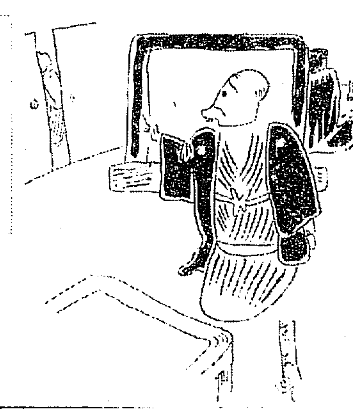
道すじは兵士達がよく知つてをりました。四ツの山を越え、三ツの谷を渡つて、幾日かの後コスモス姫は兵士達と西の國の都につきました。コスモス姫は日のくれるのを待つてお城の門まで一人の兵士を案内にして參りました。

東の國にも、南の國にも類ない豐の大きなお城のいかめしい門に鏡を持つた兵士が見張りしてをりました。

今年の浴衣地

［illegible］浴衣固有の纎細な模様に力強い［illegible］な線描の圖案を巧みにとり入れてあります。例へば［illegible］國の古［illegible］に大くスパランの風に描き流した線を現代的に見られる風情を現代女性の胸の稀に必ず共鳴するやう巧に圖案化したもの、或は［illegible］に浮かぶうたかたや早瀬に合せふせゝらぎの世にも［illegible］な白き水の流れの曲線美をとり入れて、清涼さを全部に表現したものなどであります。一般に［illegible］向きのお好みは［illegible］と［illegible］と［illegible］、［illegible］には［illegible］や［illegible］な色の［illegible］で、［illegible］しい［illegible］からなる［illegible］模様や、縞［illegible］に［illegible］く永［illegible］さのまゝに上品に淡し、［illegible］を思ひ［illegible］

今年の浴衣は［illegible］は［illegible］として［illegible］行きは［illegible］ても［illegible］藝の江戸情緒をしのばせる



漫畫小咄五十題（20）　松田壽雄

百姓の親爺、都へ來て家に小僧へ這入り、年中「藪入」［illegible］と［illegible］なる。百姓親爺［illegible］これ〳〵親爺は一人でガスヨ」

子供の身長は夏分に殖える

體重の増加は少い

子供の夏痩は之れ

子供の發育狀態を見ると期月によつて違つた狀態を示してゐる。即ち身長の增加率は主として九月から十一月へかけてが多く、つまり秋の候から冬つと殖えて冬の間は身長の增加率を示したものである。又體重の增加率は五月から六月、七月へかけてそれが緩い事が分る。そこで七才から十九才までの少年少女の身長增加の狀態を月別に調べた處、次ぎのやうな結果を見た

男子		女子		
七厘		七厘		十二月
六厘		六厘		一月
九厘		八厘		二月
一分一厘		一分一厘		三月
一分		一分四厘		四月
一分五厘		一分五厘		五月
一分六厘		一分一厘		六月
一分		一分		七月
八厘		六厘		八月
六厘		八厘		九月
七厘		五厘		十月
				十一月

以上のやうに一たいに春および夏は增加率が少い。殊に五六月時分には增加率が少くなり、九月から十月頃は［illegible］にうんと殖えて後は少くなり、殊に冬には大へん減退してしまふ。

男の子と女の子とは些少の差があるのは面白い。すなはち四月においては男の子が一分、女の子が一分四厘、六月に男の子が一分六厘、女の子が一分一厘といふ風に增加率に大きな差を見せてゐる［illegible］。又たいに夏やせするのは〔［illegible］〕はあるが、子供の場合は身長が增加する時に體重はさほど殖えないから、夏やせのやうに見えるものと考へられる。（文部省學校衞生課調）

も物にも相應しく、又お子供には特に親みのあるお伽噺や玩具からヒントを得たるお伽模樣を紫や桃色等で面白く染め上げたお伽中形等又無く、目新しいものとしては、丸味の線のみがもつふくよかさを近代化したもので、お姿全體を引立せるに充分です。生地の方は細縮、五木綿、明石絽、ボイル紗、透り地に紅縞入り、イル、金紗縮等があり、薄地としての特徴は色をやはらかに見せ、それから起る涼しい感じが好まれ、又現代女性の健康美を誇りうる事等で、總て都會には薄物が喜ばれます。しかし地方向きにはやはり浴衣地の鮮かな多く好まれます。浴衣地の需要は現在では非常に多くなり、内外人が日本キモノ以外に簡易服、カーテン地、夜具等と各方面に廣く利用されてをります。（東京松屋調べ）

劇と映畫

中央館（廿八日から）△時代劇「仇討舞踊」全五卷、片岡千惠藏、山田［illegible］△ナヤーリー「［illegible］」全［illegible］卷、サーカス［illegible］全八卷、大［illegible］馬を背景として［illegible］へ［illegible］大［illegible］の［illegible］た傑作である△恵信［illegible］信者」全十卷、マキノ智子、嵐長三郎、東［illegible］、市川小文治、岡島艶子、片岡千惠藏主演

東亞倶樂部（三十一日から三日間六人井［illegible］均一）［illegible］

供十錢均一興行）△時代小品「足」島田嘉七、宮島健一主演△ワーナーブラザー社作笑劇「ベルオール」十卷シッドチャップリン主演△時代劇「［illegible］石が動する」頃八卷

喜樂館　廿九日より三日間短期公開（十錢均一）△洋劇ドルアート、フヰルム社提供、ヘンリーレチャン氏監督リチャードタルマッヂ主演「猛烈タルマッヂ」全六卷日活現代劇部超特作「嗚呼東郷大佐」全十卷

京龍館　廿一日より嘉哉祭り△時代劇「［illegible］を胸に」全六卷、松平［illegible］之助［illegible］現代映畫「結婚二重奏」全卷

ＪＯＤＫプログラム

五月二十九日（火曜日）

午前一〇、三〇　料理獻立と日用品値段

午後〇、三〇　家庭講座「グレープ、ペーパーアーツに就て」岡本沐子

同一、三〇　天氣豫報

同三、四五　ニュース

午後六、三〇　童話「ピンタ［illegible］」［illegible］

西洋雜歌　數種　［illegible］

［illegible］

講演　ニュース、其他

午後八、〇五　邦語ニュース

歐洲［illegible］　李錦　安［illegible］　奥［illegible］

［illegible］　久［illegible］　興太郎

ヴァイオリン、ピアノ合奏　シューベルト作「［illegible］」

講談　春日の局（下）　宮脇［illegible］

ニュース［illegible］

將棋新手合（二）

東京市日本將棋聯盟　［illegible］

將棋　八段　木見金治郎　七段（東京）［illegible］

［illegible］									

指譜　［illegible］

△六二玉△三七桂△七二玉△六八金△六三銀△六九玉△九四歩△九六歩△三五歩△同歩△四五歩△二三角△四六銀△同金△七七角△三三角

四五銀（以下次號）

（上手）六八金と上るのは金銀を殺して敵の陣型を出來るだけ崩す意味を含んで居る［illegible］

（上手）三五歩と突き捨てるのが定跡で、その後で［illegible］敵が定跡によつて攻める所を利用した上手の構へである

（下手）四五歩と可愛の突き捨ての攻めるのは、［illegible］である

（下手）七七角と打つて、敵金を攻めるのは良い手である

（下手）四五銀と出るのは上手の策謀をさけて普通定跡に戻す意味である。此處で四五桂と跳ねる攻め方は、上手方の低手にかゝる恐がある

賣藥　京城府明治町一丁目　電話本局二四一番

内科　小兒科
入院隨意
普通病室及傳染病室

醫學博士　古城憲治

よこねは切らずにこうしてなをす

［illegible］

家傳藥　結毒内掃丸

［illegible］　京都市［illegible］　山本治兵衛

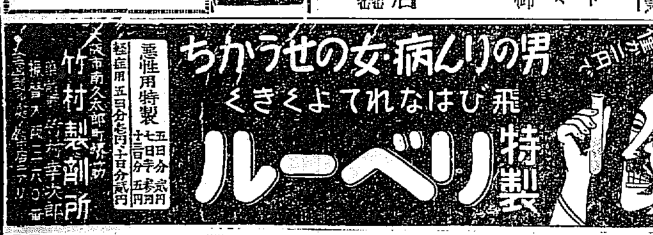
痔疾專門　京城肛門病院
入院隨意
京城府明治町二丁目本通り中央
電話本局三、七〇二

化學は進む
金剛山松の實精より成る（不老泉）
造血、强精に卓効の滋養美酒
（日本士洋好適）
京城　三越吳服店
特約　龜屋商店

弊工場技工レンズハ外國製品ト絶對遜色ナキ自信ヲ以テ居マス
何卒御安神ノ下ニ御用命ノ程御願致マス
御指定
赤十字病院
總督府醫院
江頭眼科
金井眼科
京城府本町二丁目
大學堂眼鏡店
電本二三七五番
振替京城一二二九番

眺望絶佳　一ラヂウム温泉一　南山公園藥水谷
仙境　一海川魚一
二樂　一鳥料理一
加茂川山荘
（電本二五〇〇番）

洋釘、平、浪板
銅版、鉛版、棒鋼
木工、土工用具
機械工具、鑄造品
建築、家具金物
供給器物、ロープ類
卸商
京城本町三丁目
近藤安吉商店
電話本局長一二六一番
振替京城三四七四番



惡性用特製　五日分參圓　七日分五圓　十日分七圓
輕症用　五日分壹圓　十日分貳圓
大阪市南久太郎町五丁目
竹村製劑所
振替大阪二二六〇番

創立明治參拾貳年
倉庫業兼營

京城府南大門通貳丁目百拾壹番地
株式會社　朝鮮商業銀行
取締役頭取　和田一郎
取締役　趙鎭泰

支店　京城鍾路、同西大門外、同本町二丁目、同南大門外、開城、平壤、仁川、群山、沙里院、海州、大田、新義州　［illegible］

朝鮮窒素肥料株式會社
指定旅館
赤田屋
咸南内湖驛前

太田　名物　リンゴ　カステラ
［illegible］　中町［illegible］

◉各病院醫院にて絶對の信頼を受く
仁丹型體温計
商工省の檢定率に於て
仁丹の體温計は九割八分八の合格
從來の體温計は八割八分六の合格
小粒仁丹は
◉高貴藥サフランを倍加して特製す
大粒仁丹は［illegible］に改正し常備［illegible］として益々愛用せらる

小兒科一色病院
入院普通及傳染病室
京城本町二丁目
電本一一八四番

夏！
海に山に
銘酒「朝の花」ありて
興趣更に一段

酒銘級高
朝鮮酒造株式會社

その名も高き　グッドイヤー
索引力素晴しく、耐久力勝れ、經濟的で而も素的に美しい體裁を具へた　比類ない　タイヤー
愈々、今後三菱の手により朝鮮全土へ破竹の勢で賣擴められることゝなりました。何分共宜しく。
米國グッドイヤー　タイヤー會社
日本總代理店　三菱商事株式會社
京城出張所　京城府南大門通二ノ一　電本局長一一七一・二三八七・四三〇五
釜山出張員　釜山府大倉町二ノ一三　電長一二五二

英米の農村救濟 (三)

英國の救濟難

尤はイギリスである。イギリスに於ても農村は過去七年間農産物相場の絶えざる下落に惱まされ續けて居る。政府としても凡ゆる努力を拂つて農村の振興に留意して居るのであるがその努力には又色々な困難が伴ふ。農務省では農事教育及農事研究を奨勵して農業の生産方面、勞働方面、取引方面に對して科學的方法の採用を心掛けて居るがこれはさう急激に花々しい結果を見せようとはしない。合理化運動は民間に於ても多少行はれて居る各種の製造業等は製品の標準化を志して聯合會を組織して居るし、又卵類、果物類その他の生産者間には市場取引の改善配給の合理化を企圖して格付包裝等に全國統一された方法を採用する者もあるが未だ根本的ではない。生産費を低下せしむると云ふ事も勞働賃銀が他の諸國に比し極めて低率であるといふ現狀を以てしてはさう無暗に企てらるゝものではない。保護關税の設置又は引上げは勿論國内農産物の價格を吊上げるが消費者たる一般國民が伸々に承知しない。故に政府も當事者も農業救濟難に四苦八苦の貌である

救濟への道

そこで殘された問題は地方税の輕減と補助金の下附である。地方税輕減の爲め本年四月藏相チャーチル氏は議會に提出した新豫算案中に地方税制改革案を提出したその改革案とは從來の地方税中商業に關係ある税金を全免又は一部輕減して各種販業の負擔を輕くせんとするもので勿論農業だけの救濟を目的としたものではないが、此の改革案が通過すれば地租及家屋税(住宅税を除く)は全免せられ、生産のために使用して居る土地家屋に對するもの(住宅用家屋等を除く)の税は七割五分方輕減される事になりその引下げられる結果間接的には鐵道運賃も引下げられる事になる。而して此の農業の蒙る恩惠は年額約五百萬ポンドの見積りである。

次に農業保護金又は補助金の支出であるが政府にとつて容易ならぬ經費を掛けて一部の當業者を補助するには當らないとも言はれ剩つさへ往々にしてその効果が舉らないので伸々に行はれ難いのである。そこで政府は今回農業金融法案を議會に提出したこれによれば(一)長期低利資金融通のため英蘭銀行その他諸銀行の出資により資本金六十五萬ポンドの土地抵當會社を設立し、(二)政府は新會社に對して資本金と同額を貸付け六十年間無利息とし營業費として一萬ポンドを十ケ年間支給する外か同社債券五百萬ポンド迄保證す(三)短期農業金融を圓滑にするため農作物、家畜、その他農業動産に抵當權を設定登記する制度を設けるといふのである。一種補助金の下附に準ずるものと思はれるが地方税の輕減と相俟つて農村を利する處が尠くないであらう。議會に於ける今後の成行きに注意すべきである。(完)

出廻り期の接近で 繭資金利率決る

最低は日歩二錢二厘 昨年より三厘下げ

鮮繭は内地の繭場はすでに取引されたが、朝鮮は多少遲れる見込みで未だ取引なくしたがつて繭資金も貸出されてゐない、今年の繭資金については各銀行ではそれぐ協議の結果、昨年より

金利ゆ低下

した今年、殊に昨今は何れも資金潤澤閑散、手もと豐富増加に惱んでゐる際なので、出來る限り引下げることに肚をきめ、鮮銀、殖銀の如きはすでに各支店と打合せの上貸付利率の内定を了した。これによれば鮮銀は共いづれも繭資金並系移出手形等最低二錢二厘を最低として二錢五厘をもつて最高となし昨年の最低二錢五厘に比べると三厘方の

三厘方引下

げとなつてゐる、なほ各一般市中銀行も殆ど同歩調に出て昨年から閑散な安田銀行の如きは鮮銀、殖銀と略同率を今年は繭資金の増收見込みから貸出しも増加するものと豫想されてゐる

殖銀長期貸付

殖銀取扱の長期貸付の四月末現在の貸付總額は二億四千六百八十二萬一千五百七十四圓で前月に比し三千七百八十二萬二千餘圓の増加を示した用途別内譯左の如し(單位千圓)

金融組合	二三	三五、一九四
會付	三	[illegible]
行政	[illegible]	[illegible]
教化	[illegible]	[illegible]
衞生	[illegible]	[illegible]
交通運輸	[illegible]	[illegible]
六稱事業	[illegible]	[illegible]
土地改良	一、九七	三二、四三
農業	四、三六八	[illegible]
林業	[illegible]	[illegible]
鹽業	[illegible]	[illegible]
牧畜業	[illegible]	[illegible]
工業	[illegible]	[illegible]
水産業	[illegible]	[illegible]
瓦斯電氣	[illegible]	[illegible]
鐵道	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
商業	[illegible]	[illegible]
土地家屋	一、六八	三、二九
借債整理	[illegible]	[illegible]
共濟救濟	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
引受債券	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

なほ二十四日以降小額ながら増加の傾向を示して來たが、繭資金の出廻りも迫り一方月末決濟の關係等で近く再び一千萬圓臺に乘せるであらうと豫測もある

機械製糸工場の 鮮繭消費激増す

製糸高は十二萬二千圓 昨年中で十四萬六千餘圓

朝鮮の繭百萬石計畫が進むにつれて、道内各所の製糸場も盛況となり、製糸場は逐年非常なる發展を來した、しかして片倉、山十、郡是の各製糸會社はそれぐ製糸場を據地に分工場を建設し漸次擴張を期しつゝあるので製糸量は年々増加して來た。本年五月二十日現在の道内大規模な製糸工場は一ケ所に對し前年末に比較して五百六十四釜の增加を示した。なほ昨年中の二十一工場のものを加へて二十五ケ所總釜數四千四百二十七釜、に達し、昨年末の繭消費額並に生糸製産高を示せば左の通り(單位釜、石、貫)

工場名	釜數	消費繭	製糸高
朝鮮製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
片倉(京城)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
可部商會	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳥海製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
井上製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
渡邊製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
藤本製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
島瀨	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郡是大田	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山十大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三共製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
倉片大邱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
澤田製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全州製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
興谷大山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小野田製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山十平壤	[illegible]	[illegible]	[illegible]
片倉全州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
片倉全州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
片倉咸興	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壤秀製糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郡是清州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

八百五十萬圓、で大殿前年より率約五分一個を増賞されたが昨年は四百廿五萬圓、東拓分は四百二十五萬圓と折半し、この内鮮銀、東拓共、殖銀改良十九萬五千圓、土地改良四百五十萬圓の間で貸出されることに決定した

鮮銀券 增發傾向

十八日に發表された鮮銀券發行高は八千萬圓臺で前週よりも約三千四百五十萬圓の增加を示し前日より約二十五萬圓の増加を示したにすぎぬが、廿一日以降の發行高を見ると左の如く増發を示した(單位千圓)

廿一日	一〇四、七七〇
廿二日	一〇五、二一九
廿三日	一〇四、五六三
廿四日	一〇五、一三六
廿五日	一〇五、二五六
廿六日	一〇五、六〇二

北國の植付狀況

何れも順調

北國では既に植付を開始して早い所は既に終了した所もある各地の狀況左の通り

富田縣附近では十五日頃より植付開始され經過は頗る順調、正米相場は平均一石廿八圓五十錢で、普通入荷が十錢、商人は殆んど米券を持たない有樣である

金澤附近は十二日より植付を開始して既に終了、在來種で入荷があり、能登地方はチラホラ植付を始めたが未だ盛りに至らず、前代は至つて良好である

朝鮮の航路補助

近く大變動はない

改正は來年三月の模樣

朝鮮總督府の命令航路に對する補助金は九十七萬五千圓の多額に達し朝鮮の八十萬圓を筆頭に各船會社に補助して居るものであるが、同補助金は昭和三年度末(四年三月末日)が改正期となつて居るので、遞信局海事課は目下改正に關して研究調査中である。しかし現在航行せる總航路その他の命令航路についても同改正期迄に一應調査をみるべく、從つて同改正ではかつての如く大修正を要するため、近いうちにこの補助航路に大なる變動は行はれぬ模樣となつてゐる。

豆粕需要

頗る旺盛

四月以降五月二十五日までの豆粕輸送高は一千七百七十五萬五千四百五十枚にして前年同期に比し五百五十枚の増加である右は

不良水組

救養低資

近く貸出さる

不良組合救濟資金は本年度の預金部資金の融通を承認されるはずであるが預金は二百六十萬圓の預金があるのでこれをもつて文禄、永北、白楊、深谷、高城、第二區域、鳳山郡の七組合に對し第一回融資資金として近く貸付することとなつた、殖產局からも目下の組合に貸付けることに決定された

商議豫算

聯合會提案も 共に審議す

京城商議は二十八日午後二時から評議員會を開き、昭和二年度決算報告第十一回通常總會提出議案、同聯合會提出議案等を審議し、内地商議聯合會よりの照會事項等について協議した。なお同聯合會の上程議案は昭和二年度決算及び各地提案は左の如し

昭和二年度商議決算

決算高	收入	三四、三七五圓
豫算高		四〇、六六〇
決算高	支出	三二、九九七
豫算高		四〇、六六〇
差引殘高		一萬三千五百九十三圓

七十四錢五厘
合各地商議提案

鮮内産 鹽豐作

五千二百萬斤

官鹽の生産高は本年四月以降五月廿日までの累計で總額は約八千百萬斤で前年同期の七千六百萬斤に比すると五千二百五十六萬斤を増加し、純上昇の割合である。更に六月の最盛期に入り天候が好ければおびただしい製鹽を見る豫想である。

四月中においては約百萬三千余斤の減退であったが五月に入つてより入荷比較的良好にして五月一日より二十五日までにすでに七百二十一萬二萬千六百五十斤に達し前年に比し約百十一萬三千三百三十斤の增加を見て居るこの分ならば六月中旬まではこの狀態が持續すべく可なりの數量に達し前年に劣らぬ入荷があるだらうと見られてゐる

農產物貿易

總督府農務課調査、昭和二年中に於ける農產物の輸移出入貿易額は輸移出總計二億八千五百十二萬四千百七十六圓(移出二億七千三百五十萬七千六百四十九圓、輸出一千萬四千十八圓)輸入一億四千七百十六萬三千七百十八圓(移入七千四百七十八萬九千五十四圓)輸移入總計四億二千七百六十八萬七千二百五十四圓であった

昨年度の 葉煙草收縮

四百三十萬貫

昭和二年度の葉煙草收納狀況は總收納高一萬六千八百三十七町歩この收納四百三十七萬二千三百四十六貫でこれを前年度分に比較すると前年度において三千百三十八町七段歩收額において百七十萬五千百七十貫増加した、昭和二年度

鮮銀店長會議

鮮銀行は加藤總裁の來城を機に二十七日の兩日本店で鮮内支店支配人會議を行ひ營業報告、業務執行の協議をした

手形交換週報

(自、月廿一日 至五月廿六日)(單位千圓△減)

	枚	千圓
小切手	三、七六	七、〇九
送金爲替手形	七八	一、〇〇
約束手形	一四九	八三
政府預金	一、一三	三三
小爲手	[illegible]	[illegible]
郵便爲替證書	[illegible]	[illegible]
公債及券證利札	一	一
雜證券	四三	一一三
合計	三、九九	三五
比前週	△一、八九	△ 一、九九

海外經濟電報

倫敦銀塊	二六片一六分三		
紐育銀塊	六一仙八分五		
英米爲替	四弗八八仙八分五		
對米爲替	四六弗八分五		
米棉		十五錢高	
印棉	休	二十錢安	會
スチール株		休	會
アナコンダ株			

銀行取引停止人名

五月廿六日 新義州 ---- 梁永勳一郎

落穗

黑龍會が低利資金の融通を受けることは、年來要求したのは判明してゐるが▲今年も駄目だつて……▲しかし修正してみるが▲今年は一寸纏まるまいといつてゐる▲それは年一期時の需要も出來る、勝手な皆社に低資の必要、必ずしもないといはぬが▲それより彼しい所がある▲その方が先だと▲東拓融資減殺延腰の朝鮮入りが遅れて非常に愉快に仕事が出來ると喜んでゐた▲ニコ〳〵と迎へられて好調々々であつた以上そのはずであるる▲しかし仕事が掛るとは狂出しも進むが整理も進むので僭りてゐる向きは大恐慌▲これと同じく鮮銀も同様▲松原理事歸任以來市債の勵行する▲鮮銀最期の始の集殺しはやめて、スパリ〳〵と手際よくやる▲これ又借り手は一大恐慌

株式 (廿八日)

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝勧	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三鐵	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三新	前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

豫定と日步

	豫定	日步	代引
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
勧取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高

短期 賣買 收 四六〇枚 累計 四〇三枚

長期 收 累計 [illegible]

當日 [illegible]

大株短期

銘柄	前寄	寄付	大引	高値	安値
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期

銘柄	前寄	寄付	大引	後寄	大引
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮鉱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郡新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期市場

東新 後場 [illegible]

株式

双方見送り

前場

休日前手堅く大引せし鐘先、今朝は天候の良好にて又復弗〇錢も小安く商内を喚起し、生保は二十七圓四十三錢と休日前の値より三錢高に寄付さ、其の後は買呼みで二節は更に五十五錢と引締つたが、阪地が三十一圓十錢擱みの保ちに兩安等から實物現はれ五節は四十五錢と落ち、アト十錢と閉散を呈した

後場

前場無活氣であつた鐘先、後場は益々低迷を示した、かくて昨後場止に比し東新一圓七錢安であつた、而して商内は閑散、寄付は全部出來不申で只東み筋の商内があつた

大阪に比し 東新は上鞘

配當買狙の物で

今朝の引段は大阪に比し當所は鐘新十、大新二十錢東新五十錢方何れも上鞘を示した、最近東新を中心として内鮮間の鞘縮少の傾向顯著となつて來た、東新が五十錢の上鞘を示したことは珍しいことである、併しこれは今後も東新並に久原が配當落ちとなるので今朝は配當買の物によって東新が特にかくの如き上鞘を示した半面と見なされるが、今後大新その他も近々のうちに配當落ちとなるので當分は此配當の買物を見るべき模樣である

東新代引增加

相場は目下狀態にあるが、相場地合はは案外堅しとの人氣が東新を中心として動けるだけ内鮮間の鞘を縮少する傾向をおび、今朝は殊に配當狙の買物によつて東新が大阪の前場引に比し五十錢もの上鞘を示した、而してかくの如く内鮮間の鞘が縮少せるため内地の現株が當所に流入の傾向を見せてまた、今朝の代引尻を見ると最近漸減の傾向を示してゐた東新の代引が増加したのは此内鮮間の縮少に負ふ所が多い模様である

鐵道株騰調

京南鐵道株は十七圓七八十錢處から俄新高騰し十八圓四十錢から六十錢位で賣買されて來たこの他金剛山電鐵などの系統株は何れも堅調である、銀行株は鮮内のものは何れも不動又は軟調であるが殖銀新だけは好調にて六五十錢上向き十一圓五十錢見當で手合されて居る配當期が近いのも相場上向きの一原因かと云はれるが更に角、久しく伸び惱んで居た殖銀株にも春色を呈して來た朝紡株も物色筋では目をつけて居る

今日の手口

保合相場で

東京現株

銘柄	前日	本日	前引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

安東株式

[illegible]

期米 (廿八日)

▲仁川

	當限	中限	先限
前場	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場 一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●東京

[illegible]

●大阪

[illegible]

大阪期米與合

十二限 [illegible]

●兵庫

[illegible]

●下關

[illegible]

●桑名

[illegible]

●釜山

[illegible]

●大邱

[illegible]

●群山

[illegible]

●大阪綿花

[illegible]

期米

依然無活氣

前場

二十六日後場低迷の儘を移して當所も東新のみ手堅く他は下寄つたが、アト依然閑散無活氣で二十六日後場止に比し京取同事鐘新五十錢安大新四十錢安東新七十錢高であつた

後場

前場好調の後を受けて後場は依然強調先限一七圓五十錢と二節五十三錢と更に伸びた

引續き好調

正米壓迫なし

正米筋は目下取扱ふ現物の成行きに依つて自然それに感化され買賃を試みる事が多いので定期持米を含んで居るといふても必ずそれが實米化するものとはいへない、殊に目下米よりは不安をたゞいて居る定米は少し賣口が立ては直く定期を摘切りして正米で買摑くものである、現に各市場共先物時代は正米筋がヨク賣堅くが期近に廻ると先物に乘替へたり又現物で賣摑いて定期に買付する向は殆んど皆無である此の意味から今後の成行きを考察すると品薄で正米を賣摑くに都合のいゝ時期到着した定は定期として正米壓迫はないと觀測されてゐる

腰入買警戒

本年の米界の趨勢から見ると正米の力に依つて定期が動くと云ふより定期の變動につれて正米が漸惱なく動いて居るの觀があるこれは正米事情が需要と供給が均衡を保ちて日々の需要と供給が均衡を保ちて自から動くべき力に乏しい結果である、現に定期は其時の人氣關係で波瀾を醸出する事あるも正米は只隨伴的に小浮動を繰返すのみに過ぎない、定期の原動力とも云ふべき正米が斯の如き狀態では定期としても本質的に動けないのは當然で上げても下げても正米の力で相場を左右する樣になる迄では腰入深く乘出せないと云ふ向きもある

株式

本玉

二十八日前場に於ける百枚以上の建玉は左の如し

▲大新 賣方白井八二〇正崎二四〇金潤四一〇外小口三店▲買方洪波二〇田友一一〇松山三四〇新山三七〇田道五九〇外小口五店

▲東新 賣方大林二八〇白井三二九〇金潤四八〇金潤一一〇外小口一店▲買方洪波二五〇京證四八〇白井三二九〇市川一〇〇外小口一店▲買方洪一二〇〇吉川二二〇成瀬一六〇松山一五〇新田八六〇田道二〇〇白樂二一〇外小口一店

▲鐘新 買方小口五店▲買方小口 外五店

▲京取 白井二五〇古川二二〇京證五五〇外小口三店▲買方大林一二〇古川一八〇松山四五〇外日三店

前場

▲京取 賣方金潤一〇〇枚▲買方大林六〇白井五〇金潤三〇山五〇▲東新 賣方洪股五〇成瀬四〇松▲鐘新 賣方成瀬三〇松山三〇金潤七〇

▲大新 双方小口

▲鐘新 双方小口

見送り商狀を呈して居たが、今朝は配當目近で商内は近來やゝ盛況を示した二十六日後場止の一三〇枚に比し今朝は三四〇枚であつた今朝の三十枚以上の手口は左の如し

仁川大豆本玉表

▲當限賣方	㊥五〇〇㋭八五〇	
▲同 買方	㊂三〇〇㋥一〇五〇	
▲中限賣方	㊇一五〇〇㋭五〇	
▲同 買方	㊂一〇〇㋥一〇〇	
▲先限賣方	㊂四〇〇〇一〇〇	
▲同 買方	㊁二〇〇㋭二〇〇㋥	
一〇〇		

大豆

大豆依然閑散

全く氣乘薄の大豆は二十八日も前場は前當限十九圓丁度に寄付いたぎりアトは全部出來不申頗る閑散であつた

本日の出來値

	當限	中限	先限
(前場) 一節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三節	[illegible]	[illegible]	[illegible]

有罫に入る

愈賣方

一時賣方の聯盟によつて二萬石の渡米を突きつけると云はれた阪地の當限が、納會切迫で共に賣方の手仕舞物續出して聯盟の存在を失ふた事は最早米其物の實相が賣方に積極的援助を與へなかつた結果と云ふの外ない、して見ると各業散市場共浮動米の尠ない折柄、今後は一層賣力として手當米の蒐集難は免ぜないので、愈々賣方は有罫に入つて來右と見る向が多い

仁川在米減少

去る二十七日現在の仁川在高米高は合計一三四一五八叭で先週と比し合格米は一一六四九叭を増加せるも等外米は三二三九叭を減少せるため差引すると一五八六叭を更に減少せる譯で現在高の内譯左の如し

合格米一二六〇八三叭等外米八〇七五、白米五七〇叭麴叭入九八一一叭俵入五二七一四俵大豆三一五五七叭小麥二〇一一叭粟三〇〇袋外米一四五五七袋

大豆後場出來不申

▲帳入値當限一九〇〇中限先限不申

▲取組高當限一三五〇石中限一二〇〇石先限五〇〇石

▲出來高合計五〇〇石累計一六四五〇〇石

正米

京城正米

京城先約品の入荷あるも依然なし安値には賣捨み積來筋は手持潤澤に買控へるので相場は軟調保合である㊥三等二十六圓二十錢四等二十五圓九十錢地摺玄米二十四圓八十錢一等白米二十一圓四十錢白米二十七錢麴四十八圓七十錢五厘大豆鎮南十八圓七十錢長湍十八圓五十錢湖十八圓五十錢

京城穀物組合建値

▲外米 ミートン產地物二一、五〇▲當地搗二一、〇〇▲蘭貢米二一、二〇▲粟 蓬萊一一、五〇蓬萊一、七〇昌圖一一、四〇平街一一、三〇北滿(特)一〇七〇滿洲物二〇▲小豆 朝鮮物一一、〇〇▲大麥 上八、九〇滿洲物一九、〇〇▲綠豆 朝鮮物一八、五〇滿洲物一九、一〇▲胡麻(滿)二六、三〇▲高粱八

期米 仁川海岸町 電話 ㋮ 三八〇 三三七 蒲淵取引店

仁川正米

㊥田三等二十六圓四十錢㊂四等二十六圓三十錢四等二十五圓四十錢▲鑛石大豆七圓七十錢天安平澤十七圓海十六圓七十錢長湍十八圓五十錢水原十八圓二十八錢九十錢大豆龍山十八圓七十八錢白米二十八錢九十錢安平澤十七圓海十六圓七十錢共を伸物で手堅き商狀である

三、四〇▲小麥(沙里院)三一、二〇、五〇▲碎白米一九、一〇、五〇▲精白米

仁川穀物出入 (廿六日)

	移出	移入
米(叺)	四、九五七	[illegible]
玄米(叺)	一、一三九	[illegible]
白米(叺)	三、四五	[illegible]
豆(叺)	三、九〇	[illegible]
米(俵)	一、一〇〇	[illegible]
大豆(叺)	二、三〇〇	[illegible]
豆(叺)	一、四二五	[illegible]

大阪市中在米

大阪市中在米二十八日現在高は百四十三萬四千八百十俵と前日の在米に比較して一千四百三十八俵の減少である

△二十五センチメートル▽

●大阪綿絲

	前場 寄付	同引	後場 寄付	同引
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●橫濱生絲

[illegible]

▲現物取引 [illegible]

●砂糖

[illegible]

京城手形交換高 (廿八日)

枚數 四、三九枚

金額 [illegible]

市中米價標準

丸キ四等米	二五圓九〇
白米(丙キロ)	二二圓〇〇
仁川一等白米	二八圓九〇

薩摩義士傳 (71)

中村兵衛作 / 神保朋世畫

忽ち悲報至る

恐怖の夜は明けた。平野源五郎方は、家内中が悪漢の襲來を恐れてゐたが、何事もなかつたので、一同ほつとした。

その中にお米のみは、昨夜源五郎のいつた一言と、内藤十左衞門の五十八石の力とをたのんで、何の憂きもなくよくねむつた。

『お米さん、ゆうべはくたびれたと見へて、よくマア眠てゐた事。私達は今にも目明し衆が、押かけて來やしないかと、をちく〳〵ねむられやしなかつたに……』

朝飯がすむと、女中達はかういつて帳場の前へ、お米は嫌みたれは集まつてゐる。お米は凝みたれ髮を、兩手で掻きあげながら、口にくわへた櫛を取つて、前髪の根

元へ挿しながらいつた。

『私があれ程、みんなにいつたのに、取越し苦勞してさ。誰が來られるものかね、内藤の強い旦那がついてゐるぢやないか』

『さアそれは聞いてはみるが、自家の親方をはじめ、内藤さんまでが自言の親分が、暴れて來はしないかつて心配してみなさるゆゑッイ私達も怖くなつて——』

『明方安心して、トロ〳〵と睡つた許りだ、だが水はどうだな雨はやんだが大分出水したやうだな』

『又折角の川普請も、流んだ事でございませう』

女中頭のお染は眉をひそめた。それよりもお米は氣安にはしげに

『私や川を見て來やう』

源五郎は立上るお米の袖を、引とめぬばかりにいつた。

『コレさお米、どうしたものだ。昨夜の騒ぎも忘れて、輕はづみをするなよ』

『伯父さん、そりやさうですけど私の命と操を助けて下すつた普請の一大事。若も油島の締切れが又切れてゐたらば、千日に亙つた薩摩の家來の御苦勞は水の泡、私や心配でかうしてはゐられませぬ』

止めてゐましたがやつぱり木曾川と長良川、揖斐川との三つの流れの落合ふ所。あの油島が一番恐れたさうで、薩摩の方々はもう夜中で、みんな飛出つて行きましたが、締切は兩岸とも崩れて、折角の普請も濁り水の泡となつて了ひました』

暗くよりお米は、身も世もあられぬ思ひで、身繕ひして立上つた

『お米は寄るか、オ、冥加』

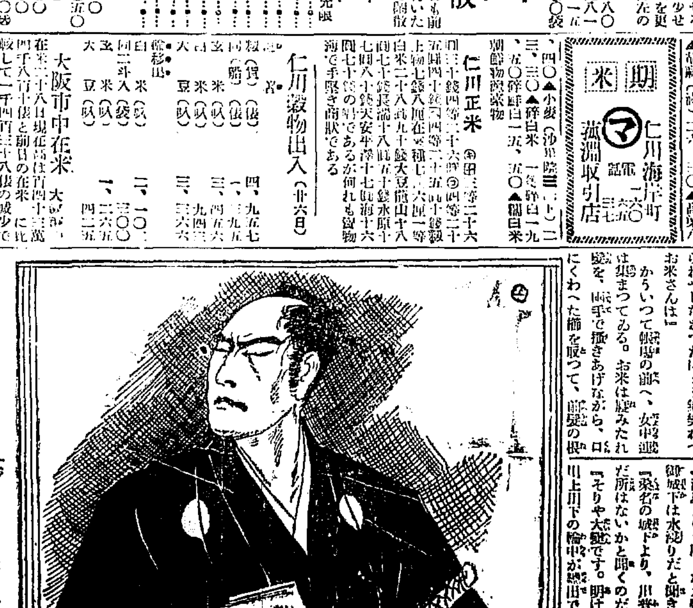
かういふ野太い聲は、玄關に聞こへてズン〳〵入つて來たは、内藤十左衞門であつた。

お米はピタリと坐つて身じろぎもしない。

『コレお米、何事もなかつたか。お前達では何事もなく過ごしました。お蔭で何事もなく』

『内藤の旦那様、昨晩は有難う存じました』

『コレお米、何事もなかつたは、この外庭だけの事だ。油島では一大事が出來たのだ……コリヤ源五郎、未だ薩摩義士は、極内密に致して居るが、密かに申聞かせんと存して參つた…お米も悲しやなよ。何事も起まる國家…先頃來の洪水で再び堤防を崩した上に、夜前の出水で再び堤防を崩した上に、永吉惣兵衞、音坂良勝の兩士は、今朝割腹致して相果てたわい』



『フーム、それも道理、そんなら念ぞに一寸見せにやる。マア少し落ついてゐるがいゝ』

そこへ飛脚で血相ひしたり、出前持でマメな吉どんは、走つて歸つて來た。

源五郎は直聞いた。

『吉公、河岸へ出たのか』

『ヘイ旦那、恐ろしい水が出ましたんで、ちよつくら水見物をして來ました』

『さうか、油島は何うだ』

『油島よりも川下が大變で桑名の御城下は水浸りだと聞きました』

『桑名の城下より、川普請に縦んだ所はないかと聞くのだ』

『そりや大變です。明け方の水は川上川下の輪中が總出で堤防を』

京城日報
朝刊
本紙朝夕共十二頁

現代ユウモア全集

全十二巻 壹册壹円

豫約大募集

深遠なる思索と、鋭い観察より生れ、輕妙新鮮の筆致になる「社會の表裏、人間生活諸相の、骨を刺す諷刺、卓抜にして奇想に富む諧謔」これこそ、人生の苦惱、憂愁の、すべてを癒やし、疲れたる魂を新鮮溌剌ならしむる靈藥。

著者は當代一流の大家、作品は粒選り傑作の粹、一讀三笑、笑ひのうちに涙あり諷刺あり、又快哉あり、正に人間、社會、種々相のチヤールストン・ダンス。

書齋に、食後に、將又浴後の納涼に、電車に、汽車に山に海に、或は温泉に携行せば、一脈の清風忽ち心耳を洗滌し、興趣と慰安と啓示との盡くるなき萬年鏡。

眞の現代人の描きたる笑ひの全集
眞に現代人の讀むべき全集は是れ!!

一册壹圓 一時拂は（全十二册割引）僅かに拾壹圓

編輯 佐々木邦 生方敏郎

坪内逍遙集　堺利彦集　戸川秋骨集　長谷川如是閑集　生方敏郎集　佐々木邦集
正木不如丘集　岡本一平集　大泉黒石集　近藤浩一路集　高田義一郎集　牧逸馬集

各毎巻に新装幀　挿畫揮毫家　太田三郎　水島爾保布　石井鶴三　岡本一平　木村荘八　田中比佐良　森田恒友　近藤浩一路（順序不同）

締切六月二十八日　配本は六月上旬より申込順に開始す

申込みは全國各地の書店又は直接發行所に!!

東京市神田區表神保町六 小學館集英社内
現代ユウモア全集刊行會
振替口座東京七八三三七番
（發行所）

内容見本進呈 ハガキで申込次第

体裁
▲四六判リンネット布製裝幀上製函入、一册紙數六百頁、六号九ポイント組

豫約規定
▲申込の際申込金一圓添えること これは最後の會費に當てます、（一時拂の方は不要）
▲會費は毎月一册一圓、一時拂は特に十壹圓、申込金不要
▲送料一册につき十二錢（市内は六錢、海外は參拾四錢）
▲拂込みは振替貯金又は爲替でお拂込み下さい、（切手代用は必ず一割増しのこと）

英和辭典界の最大收獲一無比の寶玉
求められしや この辭書を!!!

三省堂英和大辭典

百餘專門大家 執筆

内容見本即刻進呈

全國諸學校指定用
全國各書店にて販賣

三十萬部限特價提供 特價五圓五拾錢
（定價七圓）内地發行送料36錢 臺灣・朝鮮・滿洲書留送料65錢

本書未曾有の賣行は何を語るか？

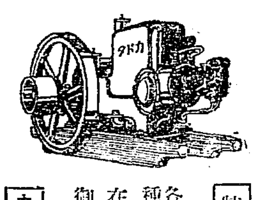
本書は増刷に増刷を重ねて今や既に賣行十五萬を突破した
本書を購はれた人々は日を加ふるに従つて今更らその眞價に目を瞠りつゝある

其の特色
專門百餘大家の責任譯
統一された標準譯語
收容語數二十六萬語
生きた挿畫四千箇
熟語十一萬・用例豐富
破天荒な廉價

株式會社 三省堂
東京丸ノ内 振替東京三二五五五
大阪支店 大阪南區順慶町通一 振替大阪八一三〇〇

農林省御推薦

カドタ 石油發動機



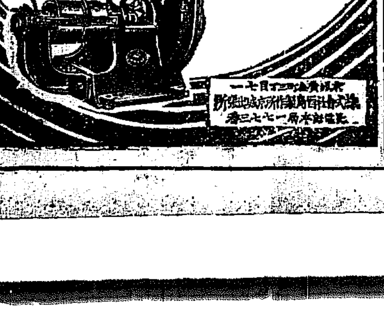
大正十五年度農林省ニ於テ施行セラレタル小型石油發動機比較審査ニ優良品中ノ最高位
大正十一年度農商務省ニ於テ施行セラレタル小型石油發動機比較審査ニ最高甲位當選

特約店募集
各種ノポンプモ在庫豐富 御照會ヲ乞フ
カタログ進呈

門田鐵工場 京城出張所
京城府太平通二丁目五十八番地 電話本局二一六八番

酉島ポンプ

悠紀齊田
御用賜御下命
此ノ優秀機ニシテ
此光榮アリ



羽仁もと子著作集

第二回豫約募集
〆切迫る！
◆五月三十一日限り◆

これが最後の豫約募集です。この機會を逸しては永久にこの寶玉のやうな著作集を手に入れることが出來ません。今すぐに御近所の書店又は直接本社へ！

配本開始
第一回配本 思想しつゝ生活しつゝ（上巻）
◇御申込順によりお渡しいたします◇
◇全國書店に就て實物を御覧下さい◇

豫約規定
◆昭和三年五月配本開始明年七月完了
◆申込金一圓（最終の會費に充當す）
◆會費毎月拂一册に付金一圓（外に送料）
◆全部一時拂金十三圓五十錢（外に送料）
◆申込は全國各書店又は直接本社へ

東京雜司ケ谷 婦人之友社 振替東京壹壹六〇〇番

全十五巻 一册壹圓

◇愛と常識の教科書！
◇眞實なる人生讀本！
◇家庭教育の活模範！
◇家事家計の好參考！
◇男女必讀の家庭訓！

地方の高等女學校で「思想しつゝ生活しつゝ」を修身科の參考書に採用してゐる所が數校あります。又第一回の豫約會員で絶對に解約者がないといふ全國書店の珍しい評判で本著作集の眞價を御判斷下さい。

内容見本進呈

目次
第一巻 自由への道 附親子論
第二巻 思想しつゝ生活しつゝ（上）
第三巻 思想しつゝ生活しつゝ（中）
第四巻 思想しつゝ生活しつゝ（下）
第五巻 悩める友のために（上）
第六巻 悩める友のために（中）
第七巻 悩める友のために（下）
第八巻 夫婦論 附[illegible]
第九巻 家事家計篇
第十巻 家庭教育篇（上）
第十一巻 家庭教育篇（下）
第十二巻 子供讀本
第十三巻 若き姉妹に寄す
第十四巻 半生を語る
第十五巻 信仰篇

◆装幀◆ 平福百穂畫伯

九條武子夫人著 無憂華

第百五拾版發賣

……驚異的賣行……

夫人の肉體は滅びたれど、其の靈は今や萬人の胸の中に生く
一世の麗人の尊き隨感隨想は、擧げて本書一册に收めたり

内容
△無憂華（感想） △幻の住（和歌） △[illegible]命（感想） △夕[illegible]（和歌） △ちぎれ雲（感想） △[illegible]（和歌） △獄口記（紀行） △[illegible]き（和歌） △洛北の秋（戲曲）

定價壹圓 郵税拾錢
實業之日本社 東京京橋 振替東京六三六

資本金57,500,000圓
積立金60,000,000圓

京城府南大門通二丁目
第一銀行 京城支店

膽寫版
レミントン膽寫機
自動式輪轉膽寫機
製造卸
特約店募集 型録送呈

山口洋行 大和町 金山 電話長四四二番

間島に現れた 妖艶なる怪支那美人
色仕掛けで機密をさぐり 活躍する南方女密使

【間島特電】南方共產派首領部の命を受け上海より大連吉林を經て本月二日局子街に乘込み海林、寧古塔、ポクラニチナヤにある鮮人分子と氣脈を通じ盛に獨立の大活動を企畫中であつた、支那美人劉明芳(二二)は局子街における十二日間の滯在中巧に支那側各官衙の重要人物(商人、總領事館は勿論なき機關)約七名を色仕掛にて買收重要なる機密をさぐりつゝあつたが、また〳〵同女と關係ある男子間に同女を奪はんとして役目の爭を生じたとから勢ひ自己の身邊に危險を感じ去る十六日朝突如姿を消して銅佛寺に一泊その後は杳として花の如き姿を隱し一方の同女と鮮人隊を結んで鮮滿を渡らしたる局子街官憲の行方を眩からしめてゐたが廿五日午後七時二十分またく延吉より龍井市頭に現れ日下ドイツ人非居住の南方派第三宅に匿まわれ居る模樣である、なほこの女密使は鮮支人の混血兒でロシアの共產學校を卒業した者で支那語は勿論、日、露、鮮語等を巧妙にあやつり變裝に巧なる事が判明したが支那官憲はなぜかこの問題に手を觸れる事を避けてゐるらしい

間島から 便衣服注文
小癪な腕立か

【間島特電】局子街教育局內に設けられた鮮日總支部機關では去る十九日茶色帽子八十個を吉林へ、綠色便衣服八十着を奉天の某所へ祕密に注文して往交してゐる

南方便衣隊 間島方面に潜入
大刀會一味と氣脈を通じ 二百餘名に上る模樣

【間島特電】さき頃延吉、龍井方面にて支那側官憲に反抗態度を續けつた大刀會の一味は其後南方便衣隊一味と氣脈を通じて間島に潜入し居る事は支那側官憲においても之を認むるに充分なる證據を握つてゐるが彼等は最近間島銅佛寺に連絡部を設けて日支の警備狀況を探る一方色々の謀略をもつて人心の動揺を策してゐる目下間島各地にある彼等の總數はまづ二百名を下るまいと察せられてゐる、また二十七日局子街支那街に排日の宣傳ポスターが張られたと報ぜられるが今の處龍井、局子街とも平靜である

追擊中の守備隊 馬賊團と交戰す
若林中尉を拉去した一團か
中尉の消息は尚ほ不明

軍司令部發表＝前日來出動した中江鎭守備隊は大嶺十支那里の地點で支那官服を着用せる馬賊團の死體五、六個を發見したが、同守備隊は更に奧地に向つて從入し途中若林中尉を拉去したらしき馬賊團を發見直にこれと交戰した、詳細不明なるも守備隊は引續き追擊中、若林中尉の消息は依然として不明である

中村第三十九旅團長 統率の爲め國境へ急行

【平壤電話】第三十九旅團長中村少將は軍司令部の命に接し幕僚を從へ急遽二十八日朝北行の汽車にて中江鎭守備隊駐屯地に向つた、右は過般來同隊が馬賊討伐の爲越江出動した部隊並に國境守備の各部隊を統一して同少將の下に統せしめ連絡統一をはかつて軍の活動を一層敏活ならしめる爲であると

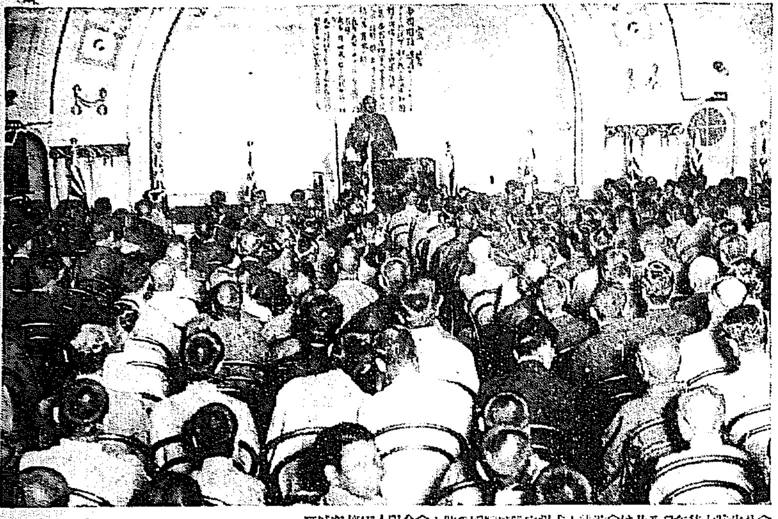
【平壤電話】第卅九旅團司令部に二十八日午後總督命令が下り中村孝太郎少將は部下幕僚二十余名を率ゐ廿九日午前五時平壤發の列車で出發し新義州より鴨綠江岸を遡て中江鎭に向ふと同少將は同方面駐在部隊を指揮し馬賊討伐に當たるらしい

林總領事 抗議
奉天當局に

【奉天廿八日發】二十五日鴨綠江上流中江鎭下流三里の地點で馬賊の爲拉致された若林中尉の件につき林奉天總領事は二十七日付を以て奉天當局に對し抗議した、なほ若林中尉の消息は不明である

應援警官派遣

國境警備一部の治安維持の爲支那當局は廿七日對岸各縣に一齊戒嚴令をしいたが各方面に潜在する馬賊を雨伏聯絡するに現在の支那官憲の數は各縣で手不足を感じてゐるので支那官憲應援の意味にて我官憲の一部應援派遣さるべしと



國體擁護宣誓式

京城在鄕軍人聯合會主催の國體擁護宣誓式と講演會は廿八日午後七時半公會堂に開催され、池上政務總監、金谷軍司令官、上原廿師團長、馬野府尹その他列席、各分會員は分會旗をかゝげて入場し、その他來會者多く定刻島崎聯合會長の發にはじまり君ケ代の合唱ののち島崎氏勅諭の捧讀をなした上、國體擁護の宣誓を壇上に行ひ次で池上政務總監、金谷軍司令官、上原師團長の告辭馬野府尹の祝辭にて式を閉じ講演會に移つて福士學務課長の「青年訓練の本旨」、阪田軍參謀の支那昨今の政局について、作間中佐の帝國海軍の現狀と列國海軍の大勢の各講演があつた

電話線切斷

【青島廿八日發】わが兵營附近にて電話線を切斷せるものあり、支那側の仕業らしく支那總務司令官および總林木に嚴重取締を要求するところあつた

張家口我領事館燒失か

【北京二十八日發】某方面情報＝張家口の日本領事館燒失の噂あるも眞偽不明である

田中首相參內

【東京電報】田中首相は廿八日午前十一時三十四分新橋驛着驛頭から直ちに參內したが午後一時半宮中に伺候し機密約案に關する詳細の內容につき上奏御下問に奉答した

南軍の配備

【天津廿七日發】駐屯軍より聯絡に派遣された關本大尉の報告によれば南軍は津浦線東部滄州の南、運城方面西方の東光、樂陵、桑園附近に閻錫山部隊配置され總數約七萬、馮玉祥は鄭州の東部を擔任し桑園には方振武その東方には賀耀組、樂陵には陳調元軍が配置され總軍は滄家口にあると

南軍總攻擊開始

【天津二十八日發】南軍は近く北伐總攻擊を開始のはずで蔣介石氏は目下兗州にあつて督戰中である

米國のホテル業者一行入城

アメリカの一流ホテル業者を以て組織してゐる米國ホテル業世界一週團一行二十名は二十八日朝釜山上陸同地まで出迎へた鐵道局臨田氏東道のもとに同夜午後七時四十分入城、けふは市內各所をまわり第七列車で北行のはず

滿洲擁護は 日本當然の權利
支那の聲明は當にならぬ テレグラフの社說

【ロンドン廿七日發聯合】デイリーテレグラフ紙は廿七日の社說で南京政府聲明の在支外國民の生命財產保護の聲明は信用する價値がないといひ更に左の如く述べてゐる。支那國民黨がもし北京から奉天の安國軍を驅逐した曉には直ちに日を滿洲に向けてその場合は滿洲が可否につき考へさせられることとなる何となれば彼の膨大なる東三省地方だけでも際限のない破壞的戰禍の惨禍からまぬかれることは滿洲自身のためたしかに幸福な事であるからである、滿洲に對する日本の終局的目的につき各方面の意見が如何樣にあれ日本は滿洲に於ける自己の大なる利益を擁護する充分なる權利を有するものである、

日本の覺書 聯盟に到着

【ジュネーヴ廿七日發聯合】日本が今回濟南事件の際に山東において取つた行動に關し詳細なる說明をなした覺書は國際聯盟宛日本の發電はいよ〳〵廿七日聯盟事務局に提出された右覺書に關し聯盟部內一般の印象は良好である

直隸平野では 奉軍に强味あり
今迄馮軍の勢がよかつたのは 督戰機關が行届いた爲め

【北京二十七日發】京漢線保定方面の戰線を視察して今朝歸つた某軍事專門家の說によれば馮、閻聯合軍と第三、四方面軍との比較は寧ろ奉軍に强味がある、これまで馮軍が强かつたのは後方の督戰隊が行き届き戰線部隊が退却すると後ろから機關銃を浴せて射殺するので進んで戰死にたふるゝか、しりぞいて味方に殺さるゝか二つに一つのため突擊したのであるが直隸平野の戰場となつてからは奉軍の砲擊を受ければ戰場內で降伏し武裝解除後送還されるので最近馮軍の兵士は寧ろこの武裝解除を喜ぶもの多くなつてゐる、これに反し奉軍兵士は飽くまで戰ふの決心で最後まで頑張つて退却しない

賴むは獨り 褚軍あるのみ
宣傳を裏切つて 奉派は有利ならず

【天津廿八日發】京漢線方面は今なほ主力部隊にはいつてゐないが形勢は奉天派の宣傳を裏切り有利ならず石家莊には一昨日より昨日にかけて馮軍と閻錫山軍が十八列車到着し盛んに前線に送られつゝあり奉天派はこの方面のみならず京漢津浦兩線の中間に於ても樂觀を許さず又津浦線方面は大元帥府から總攻擊命令が發せられてから戰況にかかわりなく特に孫傳芳軍は全く戰意なく張宗昌軍は賴むに足らず只褚玉璞軍が賴りになるのみである

京津方面の 我兵力

【天津二十七日發】居留民保護のため天津に派遣される部隊は二十八日步兵二ケ中隊野砲兵一ケ中隊の最終部隊の到着により全部到着させた譯であるが避戰を恐れておらず現在では實力から見れば鎭軍の方が優勢である、かくて京津地方の日本兵力は左の如くである

名古屋師團の一箇聯隊、野砲兵一箇大隊、機關銃隊、電信隊、鐵道隊の若干隊並に駐屯隊旭川久留米交代兵五箇中隊之れに加ふるに飛行機十三臺裝甲自動車二輛裝甲汽艇二艘驅逐艦四隻(天津太沽各二隻)我駐屯兵力と此の如く京津方面居留邦人の保護は完全を期し得るに至つた

京津の人心 漸く落着く
我陸海空軍の精鋭 警備の任に就く

【天津廿七日發】太刀洗から飛來した飛行機の一行十二機は(內一機は不時着陸大破)全部昨二十六日夜までに到着した斯くて空には十二機の精鋭なる飛行機あり陸には步兵を主とせる士氣旺盛なる陸兵あり海上には驅逐艦四隻あり租界の在住邦人は勿論歐洲人もまた支那人もすつかり安心してゐる

我飛行機六機 天津に到着

【天津廿八日發】廿八日大連より飛來した我飛行機六機中四機は午後四時半フランス兵營附近の飛行場に無事到着し二機は途中異狀のため太沽附近の鹽田に不時着陸した、一機は着陸の際障碍物に衝突し機體を破損したほか不時着陸した二機もその後我飛行場に到着した

張作霖の鼻息荒し

【天津廿七日發】全線にわたる總攻擊開始により京漢線方面は山西軍を高碑店附近に擊破し廿七日遂に定縣を占領し山西軍は曲陽に退却した、津浦線方面は未だ主力部隊の衝突を見ぬが白馬鎭より滄州に向け攻勢をとり北軍またこれと對峙せり今後引續き北軍の攻勢戰線に進展せば又々一大激戰を見るべく張作霖氏の鼻息極めて荒し

排日抑壓は 奉派の深い魂膽
當分表面上押へて 勝つた場合徹底的に決行

【奉天特電】支那官憲の排日抑壓は他に深い魂膽がある模樣で官憲筋では南軍が必ず勝つものとの見込みをつけ今日日本軍の出動し居る際排日を煽動して日本の反感を買ふことは不利益であるから當分表面押さへていよ〳〵奉軍大勝した曉において徹底的に排日を決行するはずでそれまでは鳴りをしづめて極力排日を取締る筈であると

唐山撤兵問題 英政府正式抗議
一小隊を同地に派遣

【天津二十八日發】唐山英兵撤退問題は遂に本國政府の問題となり英國外務省はすでに北京政府に正式撤退を要求したると共に當地英國駐屯軍は天津駐屯隊より一小隊を同地に派遣した

張氏士氣鼓舞

【天津二十七日發】張宗昌は二十七日より總攻擊を開始するに當たり二十六日滄州總司令部に全總各軍師旅長を召集し次ぎの如き決意を示し士氣を鼓舞した

決戰を試みるに當り予は奉軍全部國外に撤退して予一人となるもあくまで赤賊撲滅の覺悟である財政困難のため各軍士將に俸給不渡なるも將兵を慰問せば莫大の賞與をなすべし

貴族院と優諚問題
研究會は眞相調査

【東京電報】貴族院研究會は二十八日午後二時から幹事會を開き大河內正敏子より二十六日、日本倶樂部における四派交涉會の經過を報告したる後、研究會の方針につき慎重を重ねた結果同會の態度は飽く迄に政黨政派に囚はれず公正なる態度を執る事に決し四派共同申合せを行ふことに決し四時散會した

山本滿鐵社長 さくや入城
中央政界につき 大いに談じながら

山本滿鐵社長は東京より歸途の途次小田山理事その他隨員同伴廿八日午後七時四十分京城着列車で入城、鐵道局長、戶田鐵道理事、依光秘書官その他名士多數の出迎へをうけ朝鮮ホテルに入り休息したが總督に敬意を表するために同官邸に向ひ一泊の後けふ午前九時十分發列車で京城を出發するが往訪の記者に語る、政友會內部に今回の優諚問題や間島に關して議論が起ると傳へられてゐるが政黨の內部といふものは議論の絶間なしといふものが常態でこの難局に處するにはやはり田中首相があくまでも、このまゝ押切るより他に途はないから、政黨側が腰が弱いから動きが取れぬので田中首相は强い人であるから難局を拾收してやつてのけるだらう、內閣と與黨の關係は次第によつて內閣が與黨をリードする時があつて政府與黨が力の平均を得て政策を遂行するなどいふ時は極めて稀なものである、首相は新政策を立直して政友會の結束を計り氣持を一新してやるに決つてゐる

因に同氏は京城に下車總督に敬意を表し明朝九時十分發北行し二十九日大連着在滿鐵總會に臨む豫定

貴院の空氣は 民政議員の策動
重視する意はない
商相、翰長と會見す

【東京電報】中橋商相は廿八日午前十時四十分鳩山書記官長の訪問を受けて私邸に會見し貴族院の優諚問題に關する世論なかんづく貴族院の策動につき協議したがこれも貴族院全般の空氣と見るべきでなく一部民政系議員の策動に過ぎず殊に優諚問題については政府聲明の通り一點矛盾相違なくこの聲明を繰り返せぬための議論に過ぎぬからこれを重視する要はないと意見の一致を見た

民政臨時總務會
兩院議員總會を 六月一日開くに決す

【東京電報】民政黨は廿八日午後二時臨時總務會を開き濱口總裁以下各總務幹事長各部長出席し優諚降下問題に對する態度を協議の結果三十一日役員會六月一日兩院議員總會を開くに決し五時散會した

決議

閣臣の進退に關する田中首相の態度は輔弼の重責を誤り責任內閣の大義を沒却し憲法の大精神を破壞するものにてその罪斷じて許すべからず我が黨は田中首相を糾彈し憲政の危機を匡救せんことを期す

池田男公正會に反省を求む

【東京電報】二十八日公正會の申合せに對し强硬反對論を唱へた池田長康男は左の如き聲明を發し公正會の反省を要求した

苟しくも責任論をなす場合その責任の觀念とその範圍について十分なる研究をなし事の當否を論ずる點に顧みなければならぬ然るに今回公正會の作成した聲明はその趣旨が不充分な樣に思はれる假にも天皇陛下の大權に關係する問題なるがゆゑに同僚諸君が熟慮をもつて論議するは當然とするが公正會としてはこの際更に冷靜に考慮を重ねる必要がありはしないかと思ふ

公正會申合せ

【東京電報】貴族院公正會は廿八日臨時總會を開き左の申合せをなした

閣僚の進退に關し總理大臣の執りたる措置はその宜しきを得ず累を皇室に及ぼすの虞れあるに至らしめたるは補弼の責任上缺くるところありと認む邦家のため眞に憂慮に堪へず

船賃値下げに 社外船策動
京城に乘込んで 阪地直送を交涉す

【仁川電話】鮮航會對社外船の紛糾は兩者の競爭によりその後ますます深刻となつた折柄辰馬汽船首藤、國田、天滿屋回漕店清水、鷲山丸船長の諸氏は二十八日午前十一時二十分仁川發京城に向ひ午後四時から京城商業會議所において開かれた鮮貨値下げ問題委員會に赴いたが右は社外船側において阪神より京城直送荷物をたて京城荷主側に交涉のため策動した模樣で鮮貨値下問題交涉の頓挫した折柄右社外船側の暗中飛躍は一般に重大視されてゐる

辭令【東京電報】

任總督府典獄(五等)　總督府典獄補　野村光雄
任公立高等女學校教諭(七等)　公立高等女學校教諭　鈴木ナヨノ
任總督府理事官(八等)　總督府屬　慎 [illegible]
總督府技手兼總督府通譯生　高安彦
免本官　總督府事務官　吉野德市
總督府典獄補　力武竹一
依願免本官　道立醫院醫官(各道)　勅使河原長治

暴風警報

五月廿八日午後三時仁川測候所發表　南の風强かるべし低氣壓の中心は黃海北部に在りて七四四ミリを示し東北東に進行しつゝあり

入

◇朴相駿氏(黃海道知事)廿八日朝退城歸任
◇牧野貞亮氏(子爵)同上
◇曹不成三氏(平南知事)廿八日夜十一時十分退城歸任
◇井上政信氏(兵庫縣警察部長)二十七日夜入城同地旅館へ
◇志賀融介氏(山口縣警察部長)同上
◇徳川義男氏(內務省書記官)同上
◇高瀬鋭三氏(總督府特高課長)同上
◇岸巖氏(鮮銀仁川支店長)二十七日夜入城朝日旅館へ
◇磯部讓亮氏(朝鮮製鐵重役)二十八日朝入城同上▲松井理三郎氏(同上)同上▲村上直助氏(同上)同上▲清水佐太郎氏(同上)同上▲坂本俊資氏(同上)同上▲村上嘉職氏(同上)同上
◇岡本北吉日報社長　東京よりの歸途二十八日朝來城二十九日夜歸北の筈
◇小野拓氏(遞信局文書主任)內地出張中の處二十七日歸任
◇加藤鮮銀總裁　二十九日午前九時十五分京城發大連へ直行
◇井內同理事　同上
◇向井同東京支店課長　同上
◇西崎源太郎氏(京城商議副會頭)目下丸病院に入院中
◇故山本仁吉夫人葬儀　南大門小學校長山本仁吉氏夫人故鶴子氏の葬儀は二十八日午後五時より南山東本願寺にて執行

茶話

夢でもなく支那人と知りつゝこれを拉去した支那賊の正體が今以て判らぬのは滑稽である▲聞くところによると、それは馬賊であるかどうかといふことが疑問であるさうだ▲然らば官兵か、南軍の便衣隊か▲いづれにしても支那人の暴擧であることは明瞭だ▲張作霖は滿洲におこつた事件だから責任を負ふべきことも明かだ▲だが例によつて例の如く嘘を鼻に挟むのでは困る▲滿洲國の力と地位を、支那人が誤解してるのではないか▲若しソンナことなら力を示せ▲甘く見られたら最後だ、相手がつけ上りたがる支那人だから▲過日總督が各道知事を官邸に招待した時、各道の林知事さん酩酊しさのあまり一詩を誦して記者に示した▲ひとりで樂んでるのも惜しいやうな氣がするから御披露する▲滿堂和風合內醉。太平氣象人皆醉。個中酒聖又誰何。張宮原生參末席。

經濟

鮮銀券發行高(自五月二十一日至五月二十六日)

一、平均 [illegible]
正貨準備發行高 [illegible]
保證準備發行高 [illegible]
平均 [illegible]
二、週末銀行券 [illegible]

◎株式◎

大株短期引跡

大新　九十一圓三(下)
鐘新　百卅九圓四(不變)
久原　五十九圓(廿錢安)
東新　百七十八圓七(十錢高)

訂正　廿九日附夕刊四面中株式欄中前場記事は期米の記事又期米欄中前場の記事は株式の記事に付訂正す。

◎期米◎

各地期米後場止

▲先東下關三〇〇一▲桑名夕場十一番二九三六十二番三五▲名古屋三〇五一▲金澤二八六四▲熊本二九〇五▲大阪最終氣配十二錢(二錢安)

東京深川在米　東京深川在米二十八日現在高は三十九萬七千九百八十一俵と前日の在米高に比較して一千七百三十三俵の増加である

釜山米穀市場　[illegible]

大邱米穀市場　[illegible]

群山米穀市場　[illegible]

仁川各店俵合(單位百石)　[illegible]

◎市況◎

海外砂糖市況　キューバ粗糖　二弗四分三　ジャワ粗糖　六月限　一五ギルダ八分五

大阪市中外棉唱へ　前日比較　[illegible]

鮮魚軟化　京城市中鮮魚相場は一般に安く只仁川鯛のみ强く五十二圓三十錢である水揚高三千百十七個七十錢貫數一千八百五十三貫(單位十貫)　[illegible]

警察部長會議

各道警察部長會議は二十八日より開催された。元來警察は民衆の安寧と不正を糾正する機能であつて、やゝもすれば民衆の親みを受け難き狀態に置かれ易い狀態にあるが、しかしこの關係あるがために社會の安寧秩序は維持され、民衆の生命財産は確保されてゐるのである。今回警察部長會議における總督訓示中に『目下國內經濟狀況の順調に行はれつゝあるは各位の努力に負ふ所大なり』といはれ、又總督訓示中に『治安の確保は、百政の基礎をなすものである、殊に邊境の警備に在る朝鮮においては最もこの點を强ふするのであるが、各位は又警察本然の治安維持に任ずるは勿論、進んでその他各般の施設に對してもよく協同の實を擧げ、國民に關して適確なる援助を加へ、これが圓滿なる發達をはかり、以て統治全般の實績を擧げるに寄與するに努められたきものである』といはれたるを見ても總督府が朝鮮統治上に警察機能を如何に重要視せられ、かつ警察當路者に期待するところ如何に多大であるかを察し得らるゝのである。

朝鮮民衆、殊に殖産興業施設の必要であることは今更いふまでもないことであるが、若われ警察に於して治安が確保せられず秩序が維持せられざるにおいては、これ等諸政策を實現すべき方途もなく、假りにそれが實現さるゝにしても、それは決してわれ等の福利をもたらす結果を招くことにならないはずである。警察が施政の順調に行はれつゝあるは各位の努力に負ふ所大なりといはれ、總督が治安確保は百政の基礎をなすものであるといはれたのは、眞に行政の責任者を勵せられる意味においていはれたのでは決してないのである、一度民衆が過渡期にありてその適從すべき所を知らず、諸般の施設が創設又は進行過程にある今日の朝鮮においては、民衆の適從すべきところを指示し、施設の圓滿な發達をはかるには、たゞ警察官憲の活動に待つべきのみである。われ等はこの意味において警察部長會議に如何に重大であるかを痛感する。從つて會議がいやしくも論議を忽にせず、十分の成果を擧めんことを切に祈る。」

北地の旅にして

朝鮮地方にありては頗だ多くの場合に『利權』といふ語を聞く。經濟上新に企業せらるゝものは多く利權なりとして呼び習ふて居るらしいのである。わが旅の途にこの種利權は頗る多い、實にごろ〳〵して居る。ただに北鮮地方ばかりでなく全鮮到る處利權はごろ〳〵してゐるのである。しかしながら利權の開發せられざるもまた全鮮到る處にごろ〳〵してゐる。開發せられざる利權は利權にあらざるものと全く同じである。有るも可、無きも可、無きより有るは僅に得り見たばかりで開發る處なきを得るが手を擧して目の前の御馳走に垂涎するも泉り腹とは申しがたい。實踐のよろこびは事業成功のよろこびに如かぬ、利權はすべからく實踐すべく、實踐して速かに開發し、開發の成功を圖て初めて大勢を撥轉しなければならぬ。

◇

利權が福利に働くは殆しがたい不正なるに至りていよ〳〵許すべからずである。しかしながら利權としいへば何をも斯をも許さぬと考ふるは誤る。いはんや總經濟上の擧來に利權を置くがごときは過ぎたるに非ればおよばざるものである。朝鮮地方は今しも開發途上においてある、開發途上にあるの朝鮮地方は無數の利權を包有するとし、利權あるがゆゑに企業家の企業心を刺戟するのである。企業心の刺戟なきところ決して事業は起こらない。すなはち朝鮮地方としてはそれが開發途上にあるとを自覺する限り利權の保存を唯一の願りとしなければならぬ、企業家もまたこれを唯一の手がかりとするに相違ない。利權と企業と相ひいてここに朝鮮開發は成就す。しかして兩者を接近せしむる有力なる媒介は官憲當局なのであるが、されはこそ利權を以て經濟組織の癌とするやうにも考へられ勝なのであるけれども、本來はあくまで利權は朝鮮地方開發の根源でなければならぬ。よくこれを培育し得るもの〻み共に朝鮮地方の將來を論ずるに足る。利權の名に恐れて開發を遲ふものは一知にして二を知らず、いまだ朝鮮地方の眞實なる開拓者とはいへない。

◇

文化施設に經濟施設は勿論にの二大目標にして、經濟の開發と民衆生活の安定とは朝鮮統下の急務に屬す、とは當局知事會議における總督訓示の一節であるが、當局にして意味深沈、朝鮮地方の經營たりの仕事はまづこの『急務』を片付くるにありて存する。これ以外になすべき何事もないといふのでないけれども、急々餘裕をおきがたき時務はすなはちこれなり。これを片付けてしかして後他を顧みるの餘裕を生ずるのである。されば速かに『急務』の達成に役立つ限り何等の事といへどもこれを取る、役立たぬ限りは何等の事といへどもこれを捨て顧みぬことが出來る。いはゆる利權の保護もかゝる觀念より論議すべく、かゝる角度より批判すべきである。これがためあるひは無用なる事業は淘汰されるかも知れぬ。有害なる思想運動のごときは掃蕩せられその代り實業施設勸獎の一のごときを强調せらるゝかも知れぬ。殊に朝鮮地方の發達を促し施設には一般興隆に關し保險外を要求しなければならぬかも知れぬ。想緒は散漫にして一貫にしていひつくし得ざるも期待これ等の施設ことごとく運用一途を果す目的に外ならないのである。北地の旅にして余は總遊しくこれを思ひつゝある。

（五月廿五日咸南長崎屋旅館にて）

李王同妃兩殿下 御外遊に扈從して (15)

李王職次官　篠田治策

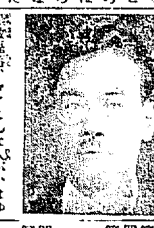
イギリスにおける社會事業中特記すべきは目下實施してゐる各種の保險事業であります。保險に對する國民の自覺は非常なもので、みな自分の生活に必要な保險に自發的に加入して從病の場合に備へてゐる、例へば英國人は失業保險に加入してゐるので、さき頃勃發した炭礦夫の罷業の際八十萬人の失業者を出した時の如きは一週間十八シルリング（約十圓）支給されたので、一時に勞働者は困らなかつた、殊に保險に加入した七十歳以上の老人には一週間十シルリング（五圓以上）を貰ふといふやうに保險の經濟は目ざましいものがある。かゝる狀態であるから年々政府で社會事業に要する經費は十億萬圓と稱され、それに國庫及公共團體の支出金五億萬圓と、寄附その他の五億萬圓とを合すれば二十億萬圓といふ莫大なものとなり日本の總豫算より四、五億も多いといふ狀態であります。だから何れの社會事業を見ても非常の余地がない設備がしてゐる、その一例を擧げると、イーストエルグにある孤兒院である、これは最初ドクトル、バーナード、スコットといふ人が貧民に慈善講談をする目的で、貧兒孤兒の救護をはじめたのに端を發してゐるが、それ等の隣組の人々は忽ち氏の德と識見を慕ひ、現在では四十二ケ所にホームを設けすでに十萬人の孤兒者を出し現在收容人員一萬名におよんでゐます。そのうちイーストエルグのホームは女子三百名、男七百余名が收容されてゐましたが、私として孤兒で、多數の孤兒が置かれてあり完全なる一個の村落をなしてゐました、村には公園よりも立派なガーデンがあり、遊戲、使用品は一般中流階級以上の物を與へられてゐました、これは余り贅澤な物を與へると孤兒だから……といふひがみを起さしめぬ周到な注意からで食物などもその通りで、幼兒には一人々々の乳母をつけ、乳母車なども一々の家庭に使用する保健以上の物であり、病院も至れり盡くせりであります。そうして學齡に達すると何々の學校をやれなど〻强制しない、僕の希望が學校にかはつて選ぶやうな希望業をもつて、すきな學校に自由な教育を施す、だから、教へを受ける方でも伸び〳〵した愉快な氣持らで勉强することが出來るのであります。こゝから出た人で大分偉くなつた人がありますがそのうちで先年濠州の下院議長になつた人もあり、カナダで大富豪になつた人もあります。更に育、ひがみを起こさぬやう滿かに育てゝゐるのを見ると實に羨ましい位です。鑑賞は聞かなかつたが、こんな施設は余程餘裕と經驗した金のある國でないと出來ないと思はれました。

保安問答

各道警察部長訪問 (一)　向江生

「之て良いだらう……」 豪放磊落—典型的部長

◇…鹿野咸南警察部長



豪放磊落、マアこんな人がいはゆる警察部長の典型とでもいふのかなアと思はせるのが鹿野さんであら、御自慢の屋鉄館で上の內患北の部屋に飛び込んで來た所を捕へて一問一答をやる

問　成南は思想は如何ですか

答　中江鎭から十里許りで成南だから來るかも知れない、殊に追ひつめられゝば成南の對岸方面に逃れるかも知れぬ、しかし成南に來れば全部生捕りだ、來れば良いがと待つてゐるよ

問　今までに馬賊に襲撃されたことはありませんか

答　とはありませんか

問　昨年一名拉去された

問　不良鮮人はどうです

答　大正十一年以來ない、昨年二十餘名の朝鮮團體が平北地帶を昭つたので一網打盡にやつて退けた

問　思想方面は

答　千容萬來だ、新興成南の工事場を巡つて勞働人思想團體が相當活動してゐる、しかしまだ勞働爭議の勃發には到らない、社會の耳目を引いた長津江水電の貯水池用地買收も地主が煽動されてゐるからである、地元民の意志はあくまで根强くない

問　成南に愛國分古いですネ

答　第二年だ、僕のやうに鈍物は長くゐないと事情が知らぬ、しかしモウ成南の事情は手に取るやうです

問　なか〳〵さうでもないよ

問　何か成南の宣傳材料はなりませんか

答　宣傳なら知事さんが上手だよ

と向ふの中野成南知事の部屋を指し、これは君早くなと突ふ

問　思想取締で大分增員になりませう

答　官は六十名臨時增員をやつて工事場の取締などに當つてゐるどうしても百四五十名は增員せぬと足らぬ

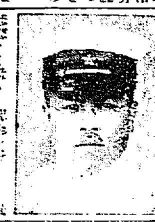
問　酒は近頃どうです

答　一年に二三回はうんと飲む、しかし日頃は止めてゐる

鹿野さんは多忙さうに『モウこれでよいだらう、然るべく書いて呉れ』と立ち上がらうとするが『これでは記事になりません』と二度腰を折らせて聞いたのが右の通り

「茲に私の主張が……」 滔々辯じ立てる快男兒

◇…石本平南警察部長



大正十三年から警察部長として黄海、慶北の二道に歴任し遞捕の大勇驍で平南に轉じた人である、五ケ年も警察界にありながらギヤチな警察官臭味もなく飾る所ざはりがよい、氏は語る

平南は思想的に注意を要する道であるしかし最近は落付いてゐるで大したこともないやうである、近く問題される高等警察の如き重要な道として平南は相當重きを置かれるとであらう、平南は北を隔て對岸に接近してゐるとて直接支那には接してゐないが平南の從來の狀況を見ると匪賊の平南侵入は十一年十一回、十二年九回十三年四回、十四年七回、一昨年一回、昨年は設密十二件に達した然かる右樣で平南では平北に關接する五ケ所の監視所を設け六月から十月までの五ケ月警察を三期に分けて特別警戒を命じてゐる、南鮮の各道と平北成南北の新き國境諸道との中間を行くやうな警備をやつてゐるのが平南の現狀である

それから石本さんは平壤の府民が石の爭で反抗する時は頗る意氣が强いが後は寂然とする、その警察には平南で假ついた者でないと駄目だ、人もないことを擧げて、警察官の不足におよぶ

平南の警官は一千百十四名で大正九年の一千二百四十名より百三十六名減じてゐる、一方警察事務を見るに取扱件數で大正九年に六十二萬件であつたものが昨二年には百十六萬件の約二倍に增加し、犯罪發生では九年の約三倍に達した、其他各種の方面に警察事務は階世的に繁忙してゐるが警察官は反對に減少してゐる茲に私が主張する警官大增員の必要が生ずるのである

等々と、石本さんは自分の抱負を臆さずことごとくブチあけ、最後に巡査の優遇論を力說して話を打切つた

難治の道に此の信念 稜々たる氣骨に親し味

◇…松下全南警察部長

全南は頗る多事な所である、古來土窟問題が紛糾し、これ等の土窟問題は地毎に紛擾の中央政府に面難し、紛擾して投宣を遡し地方官としては難治の道である。治安の要點にある警察部長の立場の批評な所はいふまでもない、しかしわが松下さんは一種の氣骨と盡勇なる信念の下に、この難治の局に當たつてゐるが二十七日の夜である、朝鮮ホテルの一室で氏と語る

現在內地に渡航してゐる朝鮮人は約十七八萬人あるがこの三分の一に近い五萬餘人は全南人である、特に濟州島は三萬人を占め、他の者も大部分は島嶼人である、總督府の方針は朝鮮の勞働者を徒らに內地に渡航せしめず勉めて朝鮮內で使ふことにしてゐるが、濟州島は一寸事情が違ふ、氣候が殆んど內地と同一で朝鮮內の寒氣に堪へ得ないことなどもその一つで濟州島からは大阪に直航する航路があつて渡航が便利なこともその一つだ、しかし甚しきは渡航島民の送金が一ケ年百萬圓にも達するといふから素晴らしいものだ所が此渡航勞働者と內地留學生などが歸來して半可通の思想を傳播するので全南の思想界は非常に厄介となる、先日も共產黨員を一網打盡に檢擧し目下豫審に廻つてゐる

飛躍肥者だ、警察部長だといふお互ひの職業意識を捨て茶をすゝりながら松下さんは私に總てを語してくれるのであつた。そして高等課長も來合せて話は更にはづむ

全南は土地が肥沃で水田二十萬町步、畑二十萬町步もあるが困つたことには耕地が大部分大地主に兼併され農民の八割五分までは小作人である、元來全南は思想が良くない所に、內地などから歸來した者が時代思想を傳播する事によつて、小作爭議が頻發する、小作問題は全南にあつては最も研究すべき重大事項である

茶をすゝつて更に話した、そして記者はこの一回の訪問で松下さんに或る興味を感じて午後十一時、一時間に近い會談を打ち切つて辭し去つた

一億五千萬圓を突破す

自作農維持資金申請　本年度融通はその一割か

〔東京〕本年度における政府の自作農維持創設資金の融通は遞信省の簡易保險積立金より約一千五百萬圓融通の事に決し一應運用委員會において內定したが、全國各地方よりの農林省への申請は昨年度の三千萬圓を遙に凌駕し市町村が府縣に申請した額はこれより約五億圓に上り農林省は如上の府縣申請に基づき一億五千萬圓以上に達してゐる、農林省は如上の府縣申請に基づき昨今嚴重なる査定を行ひつゝあるが全部の査定を終るのは七月中旬の見込である、なほ簡保の運用資金はこれと前後して第二回運用委員會を開き決定すべく、自作農維持創設資金の使用は八月にはいつてからであらう。因に農林省が組織的に自作農の維持創設をはかりかつ簡保の運用をはかつたのは大正十一年より行はれたもので、その累計額は左の如く逐年激増の傾向を示してゐるが農林省としてはこゝ當分の間地方小作農者の中誠が擡たに盛んなるに鑑み簡保の運用は年々漸次增加せしむる意向であると（單位千圓）

▲自作農維持創設に伴ふ簡保積立金運用額

大正十一年	二、五七四
同　十二年	三、四七二
同　十三年	三、三八八
同　十四年	五、〇八五
昭和元年	八、五〇〇
同　二年	一一、四八〇
同　三年（豫定）	一五、〇〇〇

大禮記念博 朝鮮受賞者 總數四十六名

京城上野公園において開かれた大禮記念國產振興博覽會朝鮮受賞者は左の通りである

△優良國產賞牌△（藥水浴細器）朝鮮水產組合△（ライオン印葡萄酒）木本倉吉△（細工）宇田龍男△（鰯漬先）[illegible]株式會社△（同）山本利吉△[illegible]井關一郎△（生糸）[illegible]株式會社△（大藤）下加藤布組合[illegible]△（精鮮）德川[illegible]△（絹紬）[illegible]大昌織物株式會社△（絹袖）平安南道勸業試驗所△（ホシーム スペン）岩崎商店△（モザイクウォーク卓子掛）芥川謙之助△（內器）品陶器會社代表孫鳳祚△（鍮細）安村賢太郎△（同）咸鏡南道水產會△（皮革各種）朝鮮皮革株式會社△（圖拵細）合名會社松下商店△（洋食器）日本硬質陶器株式會社△（短靴）三成泰寺盛國△（防寒用ゴム長靴）金東元△（ゴム長靴）合資會社京城護謨工業所△（ペーチカ）宮崎吉太郎△有功賞牌△（京畿）大津勇次郎△（天然炭酸水クリスタル）中原鐵臣△（餅巴）鏡城協助△（同）洛東江漁業組合聯合會△（同）全羅南道漁業組合聯合會△（文米及白米）朝鮮農會△（江華織）江華織物花筵組合△（布錦）朝鮮織布産業株式會社△（朝鮮菓）趙東河

最近四ケ月間の 傳染病統計 東京は矢張第一

〔東京〕五月といへば追々傳染病の流行期節ではあるが、本年一月以降四月までに發生した法定傳染病の統計を調べれば、腸チフスが最も多く七、二七八人、次ぎがヂフテリアの六、九〇八人、赤痢一、六二五人、猩紅熱二、〇〇三人、流行性腦脊髓膜炎八一六人、發疹チフス四一六人、痘瘡五三八人、パラチフス一〇九六人、ペストは一名もない。コレラおよび發疹チフスは[illegible]これを府縣別にみると東京の五七八人、神奈川の五六八人が最も多く、大阪一〇八人、京都七人[illegible]の府縣をみてゐない、腸チフスは一名も沖繩と北陸、地方、沖繩は一名は東京の三八八人を筆頭に、兵庫二五八、山口一四人、愛知一九、富山、石川、青森、沖繩の諸縣はない。

（一）パラチフス　東京、神奈川各三人、千葉、奈良各二人發生せざる府縣三〇、總計二三人（二）猩紅熱　山口一七、大阪九、兵庫六、東京四、千葉、神奈川、福岡各三、總計五三（三）痘瘡　東京七六、京都一四、大阪九、北海道一一、總計一四〇（四）ヂフテリア　東京七五、北海道四八、大阪四五、兵庫一八、神奈川一六、總計三四八（五）流行性腦脊髓膜炎　東京、大阪各二、宮城、山形、群馬、長野、高知各一總計九

廢邑の人々 (六)

崔允秀

スサンノの妻は汽車から下りて少からずがつかりしてしまつた。初めての里歸りであるから父の出迎へがあるものと思ひこんで期待が見事にはづれてしまつたのだ。これが彼女の第一のがつかりであつた。今までの彼女がかつかりを味はうてゐなかつただけに、この第二のがつかりは彼女にとつては眞實の力强い打擊であつた。

彼女が眞實に徹底的にがつかりしたのは、つまり、今度がはじめてであつた。といふのは、第一のがつかりといふのは絶望ながつかりではなかつたから。第一のは、まあいへば、なかば不安が豫想されたがつかりであつたからだ。

少し贅澤にはづれるが──

第一のそれは彼女の結婚についてであつた──

結婚前、彼女は、翟式の女性としては最も大膽な革新ともいふべき寫眞見合といふものを行ふの勇氣に遊蕃したのであつた。しかも自分の寫眞は相手に見せもせんで相手のだけを手に入れたのであつた。

この事はヨンイルでは全く破めての珍奇事なので、媳の家の人々はわけも知らない恥辱しい驚嘆にほかされて、その到着を待つてゐた

寫眞は到着した、大勢の人々は蜜氣仕掛のやうにバアと集まつた。しかし集まりはしたもの〻、やはり、嚴格な禮儀が何時の間にか、ふだんの階級を分け出して容赦なく、のんべんだらりの祖父だちのことだ。持前の否ん氣さにぺちやぺちやの噂話をならべながら、若者の寫眞によつて生ずる豫見を貪るのみであつた。若い叔母だちは、話が興につゝけりこまれるほど、長上だちからお叱りを待つておつたけれども、誰一人、先に寫眞のお叱りを遲すものはなかつた。ただ、おど行氣味、爪尖で立つて長上だちの安全な距離を後方から盜しづゝあるのみであつた。

『おやまう見たら、この人は眼にこれが出來ておるなら、老眼の誤りかも知れぬが…』とはしやぎ屋の隣の御母が、さも重大な秘密をでも見出したかのやうに、得意然と叫んだので、これを絶好の機會に半祥しみの眼を瞬かしながら、若い叔母だちは一齊に興味をなし遂げた。

彼女等の視線の焦點に、スサングの寫眞が靜かに笑つておつた。彼女らの笑ひさゝめきの波は秋の酒い氣を痛がらせておつた。

『あら、あの髭をごらん。何んで御た曲つたこと。まるで葬の花見たやうね、ほゝゝ』

『あの口元を見てよ。微笑んでおるわねえ』

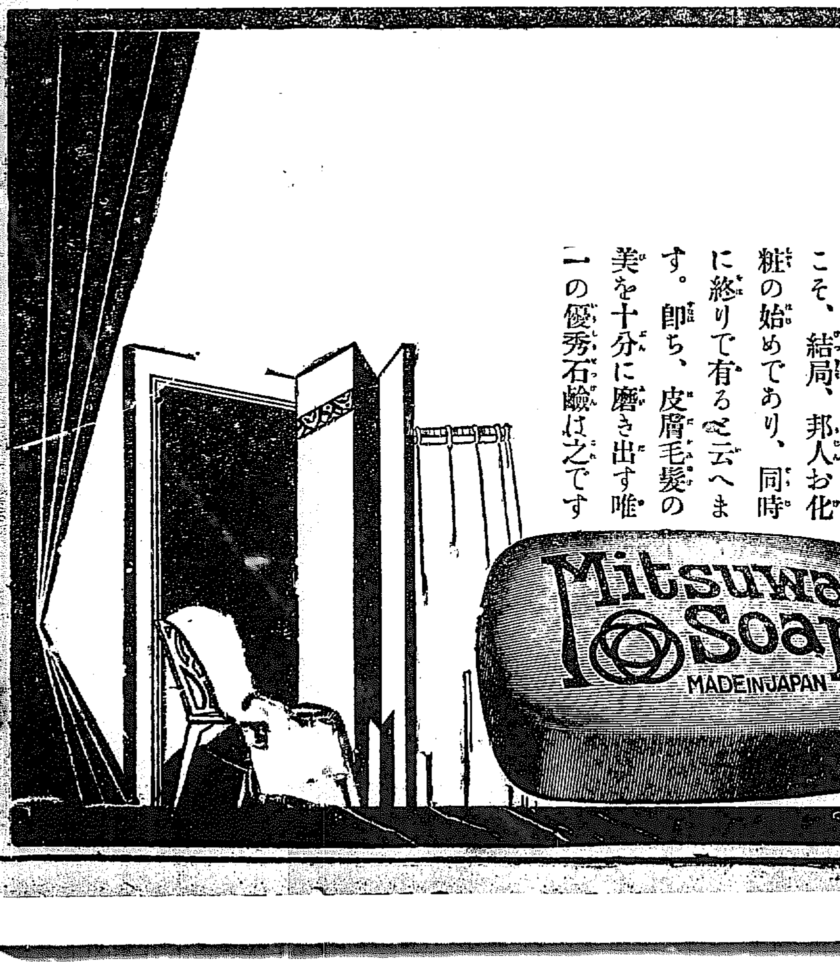
彼女らのかやうな嘲りに遠慮をつかしたか、本家の祖父さんの娘聰ぶつた髭が、彼女だちの耳に吶りの穴を射立てた。

『何をつべこべしやべつて笑ふのぢや、若い女どもが、好などの出しやばる處ぢやない。ひつこめ！…どうも近頃の女だちは僭越無禮まるで若い男を見てはくすく〳〵笑つたりして。實に怪しからぬ』

祖父つた叔母だちは、恥かしさと不平さのごつちやになつた眼つきで、一度に後ずさりして、きまり惡さうにもぢ〳〵して俯いてしまつた。すると、かねて、氣の利りの早い隣の御母さんがその場をはづすために氣を利かして立つて行つた。

『まあ、いゝぢやありませんか。どうせ後日會ふ人なんですから。わたしだちも若い時はよく笑つたもんだよ。へつがわたしだちの笑ひを百も千もひき起こしたことさへあつたのだよ。さあ、これ持つてお前らでゆつくりと見な、いゝ男だからね、はゝゝ』

『それはいかぬ、孟子曰く長幼序ありだ。孔子曰く男女七歲にして席を同じうせずだ。若い女どもが長上の前で遠慮もせず……それは身體、何のていたらくぢや！』



更に良く成つた

◎ミツワ石鹼

お化粧は畢竟

始めから終り迄

優秀無比の◎ミツワ石鹼

一般に皮脂の分泌多く、同時に荒れ易い邦人の皮膚、毛髪に適ふ樣特に研究の盡された◎ミツワ石鹼こそ、結局、邦人お化粧の始めであり、同時に終りで有ると云へます。卽ち、皮膚毛髪の美を十分に磨き出す唯一の優秀石鹼は之です

お知らせ

從來の此『貿易入』標用大衆生産の副産物として◎ミツワ石鹼　◎ミツワ煉石鹼　◎賀用煉石鹼　◎トモヱ石鹼　◎トモヱ煉石鹼　等を發賣致して居ります共に夫々御愛用を願ふ。

本舖　東京　◎丸見屋商店

温突養蠶室育蠶法 (24)

慶南晋州蠶業技手 古田眞一

蠶に示せる桑の分量は食ひ盡くせる量でありますがゆゑに殘桑が多ければ入れすぎでありますから適當減じて給桑する事にせねばなりません斯様に一度與へた桑が全部食ひ盡くした時に次ぎの桑を與へる様にしますれば蠶は充分に食慾を出しますから次ぎに與へた桑も全部食ひ盡くしますこの注意は肝要なる事であるが蠶を太らせつゝ虫を健全に育てる秘訣でありまして桑の使用上大經濟であります蠶を飼ふ者は再考すべき要點ではあるまいかそれでも經濟を度外視して少しでもよい繭を作らせ度いといふ意思で蠶を飼ふとすれば中食即ち入つてからは幾分殘る加減に給桑し一回において又撒餌もする際沙も熟蠶にするといふ手段をかけるのであるが斯様な不經濟なる飼方は私は決して奬勵しません又蠶によると五令になれば虫は幾何でも桑を食ふ様に考へて桑付から濕山給桑するものがあります斯様な扱ひ方をすれば何時も殘桑が多く出來る結果として桑は不經濟でありその上蠶座はしめるから蒸れ冷える事になり從つて蠶の消化が惡く腹をへらさぬ食慾が出ぬといふ事になり蠶は何時も古い桑の上に居て育ちが惡いといふ事になりますのでその方法は頗る下手な行り方といふべきであります桑も損であり虫も惡くするといふ事になります五令も矢張り各令と等しく充分に食慾の出た頃に給桑するのであります、いふ迄もなく蠶の運動や熟蠶發見の上へ手を觸れて見ると蠶か盛じます食慾が出ると蠶桑中へもぐり込むものです充分に食慾の出たのを見届て給桑するのであります五令の給桑回數は四回としてあるが場合によつては三回でもよいのであります勿論回數を減ずる場合は一回の量を増さねばなりません然し蠶を飼ふに下手なものは可成回數を増し一回の量を減じたが利益であり虫のためであります何となれば前述の通り一回の量が少ければ桑の萎凋もあります蠶も早く食ひ盡くすから蠶下のかわきもよくなる又蠶の濕度も輕くなるので消化もよく食慾が旺盛するので益々よく食ひよく育ち肥滿した大きな虫になりますので下手な者程少々の手數は度外視しても一回の量を減じて回數を増すがよいと考へます試みに蠶箔一枚に一貫目の桑を與へますと三日經ても四日經てもその桑はなくなりません又その半分五百目でも殘桑が殆どであります若しそれを二百目にして入れますと蠶は新桑まで食へる位に全部食ひ盡くしますのを考へても判るでありませう

五齢になれば殆ど天然溫度で飼ふがよいので下手な者が火を加へて陽氣を作ると返つて室内の空氣を濁らせ蠶の氣分を惡くし思はぬ失敗する事がありますそれですから蠶はなるべく出來るだけ戸をあげるのです内地式蠶室であれば戸障子は全部取除け一縁側として飼ふのでありますが温突室では日中は戸を開放して飼ふのであります その代り縁戸を設けて置かねばなりません夜間七十度より下る際であれば少し温突を焚火せねばなりません戸をあけるにしても風の方向に注意して風の吹く反對の戸を開きます風の少い時は前後の戸を開放してよいのであります一體風は直接蠶室に入れましても蠶には決して害はありませんたゞ經濟上に不利益があるので以上の通りに取扱ふのであります不利益であるといふのは桑の萎凋する恐れがいふのでありますなほ夕方近くになると室内が天然温度も高くなる場合になれば一時蠶の來る方面の戸をしめるなり或は筵の如きものを張るなりしてなるべく溫度をたかめぬ様に注意するのであります、又つぎに又冷濕で困る場合は焚火するのもよいのであります、蠶のいたむは冷濕の際であるが、故に室外で蠶を飼へば如何に冷濕であつても蠶はいたみませんそれですからこれを按排よく扱ふには室内で焚火をするのであるがこの場合必ず給桑後戸を開いてから行ふのであります、オンドル蠶室では室内で焚火するとはまづありませんけれ共内地式蠶室並に倉庫を利用した場合は常に焚火せねばなりません一體蠶は煙に對して害がある様に考へる人もあるけれ共決して害はありません場合によつてはかへつて爲になる事もあります蠶病の中で白殭病の如きは蠶室蠶具を一日に治します位であつて少し煙を室内一時間位宛三日間位焚きますと全に入れても決して害はありません

一蠶に直接害のあるものは硫砒、油類、白粉、樟腦、煙草類は恐るべき害があります試みに煙草とか香とか砂糖の類を桑葉の上に撒布して給桑すれば見る／＼中に身體膨れ上り即死するに至ります。これ等日用品は何れの家庭でもありますので注意せねばなりません又蠶のあるオンドル室は決してたばこを吸つてはなりませんたゞこの害は實に恐ろしきものである事を考へねばなりません

以上は蠶を飼ふ方法を申上たのでありますが時期がもりますれば簡蠶上にも述べたいと考へてゐます事につき申上ましたが凡て未熟に於てなほ詳細の蠶室理論は述べて未熟に實に蠶しても改めて申上る考へであります

朝鮮における蠶業は將來において述べた通り實に紛雜な状況であります蠶家は副業としてこの有利なる蠶業を何ゆゑに熱心しないのでありませうか私は一般蠶家の罪的に救はれるはこの蠶業の發展の如何であると斷言するのであります、幸にも本府においては百萬石生産の蠶業獎勵計畫の生れました事は實に時期に適した計畫であると思ふのでありますこの際皆さんは一日も早く増殖して蠶業に進んで頂きたいのであります本當に蠶は可愛い虫です恐らしい程の様な思ひなさい何ともいへぬ趣味がありますそれを養蠶して絹の織物を作つて御作つた時程愉快はありません又それを活用してその時期々々により事は一つの標準でありますので述べて來ますなほこれまで述べました蠶室の設備と蠶具は勿論であります（完）

庭球選手權豫選

慶南北は平山倉重組優勝

四對零駒井組破る

第五回庭球選手權大會へ出場する南鮮代表選手を決定すべき地方豫選大會は二十七日の海軍記念日をトして同日午前十時より釜山地方法院コートにて舉行された、この日朝來の晴天一片の雲もなく初夏の太陽は飽までも輝きわたり絶好の庭球日よりに惠まれた一日であつた定刻に入るや参加各チームの入場式を行ひ釜山實業協會長の挨拶について前年代表選手旗を返還した駒井、倉重組より優勝旗返還式を型の如く行ひ、試合は東拓の西川、山内組對東萊高普の朴、金組によつて火蓋を切つて落されたが出場選手は何れも腕に覺へのある選手揃ひとて本年の選手權は何れに落つるか豫想し難いものがあり。第一回戰には西川、山内組四對三にて東萊高普の朴、金組と肉迫戰を演出し、大邱の駒井、吉田組は東萊金村組を四對一にて優勝せしめて物凄いさへをみせ其他試合は回をおふて熱を加へ來り第二回戰頃より見物を堪能せんとする選手の熱戰は一球毎に固唾さを増し三回戰に殘つた各チームは殷稜組の尾崎、石原は四對一にて二商の朴、李兩組を苦もなく打とり大邱駒井、吉田組は四對〇にて三回戰まで勝ち續けた法院の安田、小柳組を零敗せしめ河村、大東組の殷銀組に東拓の平山、倉重組に惜敗し、中等學校選手として雄飛する殷、金組は鐵道の中倉、禹組と大接戰を演じ試合の前半は物凄い當たりをみせたが遂に四對三にて惜敗、かくて準決勝戰に入り大邱駒井、吉田組と東拓の平山、倉重組とが殘つて決勝戰に移つたが駒井、吉田組の健鬪も以つてしても平山、倉重組の陣地を抜く能はず平山組は後衛の駒井攻撃の作戰が圖に當たつて四對零にて優勝し榮冠は平山、倉重組の手に納められ和氣あい然たる裡に四時半無事終了した

一回戰

東拓(西川 山内)四―三東萊(朴 金)
東萊(許 金鉉)四―二殷稜(徳九 川口)
法院(安田 小柳)四―一東拓(金 吉畑)
東萊(朴 金)一―四大邱(吉田 駒井)
無(具 韓)四―三二商(沈 金)
大邱(中島 大平)棄權 東拓(金 金)
無(河村 大東)四―二二商(周 李)
東萊(尹 姜)四―二無(金 劉)
東萊(李 周)棄權 東拓(平山 倉重)

二回戰

二商(李 朴)四―二東拓(西川 山内)
東萊(許 金)一―四法院(安田 小柳)
大邱(駒井 吉田)四―一無(具 韓)
東拓(金 金)棄權 四無(河村 大東)
東萊(尹 姜)○―四東拓(平山 倉重)
朝銀(渡邊 杉村)一―四無(金 姜)
鐵道(中倉 禹)四―○東萊(朴 崔)

三回戰

殷稜(尾崎 石原)四―二二商(李 朴)
法院(安田 小柳)○―四大邱(駒井 吉田)
無(河村 大東)一―四東拓(平山 倉重)
無(金 殷)三―四鐵道(中倉 禹)

準決勝戰

殷稜(尾崎 石原)○―四大邱(駒井 吉田)
東拓(平山 倉重)四―一鐵道(中倉 禹)

決勝戰

大邱(駒井 吉田)○―四東拓(平山 倉重)

兩代表決定 右から忠南北代表朴、尹選手と慶南北代表平山、倉重兩選手

忠南北は大田の尹組優勝

尹君はこれで五回目 萬年代表の名をなす

我社主催第五回全鮮庭球選手權大會忠南北兩豫選大會は二十七日午前十時より大田庭球協會コートにおいて舉行天安、鳥致院、論山、江景、永同、沃川、大田等一騎當千の選手三十余組に達し二回戰において中島、安西組、瀧谷島田組の措敗、三回戰において藤井金森組錦成組の措敗は同情を集め殊に準決勝戰にて敗れた強豪の張金組との接戰は千余のファンを熱狂せしめ昔の如き騒擾があつたが遂に敗れ三時半、尹朴組優勝吉岡支局長より優勝旗、賞品の授與ありて散會した大會の審判の勞を取はした藤氏並に援助を與へられた須々木富士歳、佐藤ユキ、鳥致院日下部諸氏に謝し戰績すスコア左の如し（大田）

二回戰

大田(矢吹 駒山)二―四大田(馬場 津村)
大田(中島 案西)○―四大田(張 金)
天安(李 伴)四―○江景(金 瀬戸口)
大田(河本 福島)○―四大田(崔 美)
江景(趙 藤崎)○―四大田(藤井 金森)
大田(尹 朴)四―○沃川(金 金)

三回戰

江景(金 郷)○―四永同(金 朴)
永同(成 趙)四―三大田(瀧谷 島田)
永同(金 朴)○―四大田(尹 朴)
大田(藤井 金森)三―四大田(馬場 津村)
永同(成 趙)○―四天安(李 伴)
大田(張 金)四―○大田(崔 美)

準決勝戰

天安(李 伴)三―四大田(馬場 津村)
大田(尹 朴)四―二大田(張 金)

決勝戰

大田(尹 朴)四―一大田(馬場 津村)

黄海道

沙里院電氣買收條件 西鮮電氣から提出

西鮮電氣會社は豫て懸案中の沙里院電氣買收問題に關する懸案の決定をまつべく二十六日大野左肥の如き買收條件案を提出したが價格および買收費がこれに對し如何なる措置に出るかは注目されてゐる

一、買取價格を元萬五千圓とし内六萬圓を即時仕拂ひ殘金三萬五千圓は會社の存續期間中據え置き其利子として最初五ヶ年間は毎年三千圓宛翌後五ヶ年を經過する毎に毎年五百圓宛を増加仕拂ふ外十個年につき十錢の料金値下を行ないなほ五ヶ年後には更又は會社の都合で幾らの一時受授も妨ない（沙里院）

平安南道

平壤の記念日 燃料廠で盛大に行ふ

日本海大海戰記念日である廿七日海軍燃料廠に於ては午前八時半から燃料廠前の江山神社前において吉澤燃料廠部長以下職員、從業員一同參列の上戰死者の慰靈式を執行終つて一同殉職者の碑前に參列、碑は殉職者遺族の手によつて除幕され北五尺の銅の塔は毅然として大空にそびゆ式後、工部部長、戰辭あり閉式一先この海軍記念式に列席の來賓一百余名をはじめ一般觀衆は自動車、電車等によつて次ぎから次ぎへと寺洞に殺到し府營軌道が通じた大正時は何れも嶄新なりの盛況で堪内は間斷なく煙火の響き花火の打揚に景氣を添へ余興は午前十時開始の朝鮮舞踊を皮切りに同十一時からは作りものをはじめ動物團、水族館、曲馬、人生研究など一般に開放されて觀覧者を悦喜せしめたかくて正午から府營協賛所長手江口に臨む大天幕内において來賓三百余名列席の上祝賀宴は學行、發案、煙竹に次いで一同起立君が代を合唱し吉澤燃料部長は

本日海軍記念日祝賀式を舉行するに當り閣下並に各位の臨場をお得たるは最も光榮とする處である御多忙の折而かも遠路御來訪を得たが殿備萬端甚だ不行屆であるにも然し雄大なるこの風致を賞でながらゆるりと御過しを願ひ度い

と述べ更に假装行列その他について説明を加へこの記念日に當り臨席局長に府民の援助を謝する處あり府の發展と府民の幸福を祈つて乾盃、これに對し來賓を代表し岡本平壤覆審法院長の謝辭あり萬歳ばにして松井會頭の發聲であぐる日本海軍萬歳に寺洞雲部萬歳は聲もゆるがんばかりであつた閉宴午後一時、一同は大同江に浮べられた艦艇遊覧に興じ余興場へと繰込んだ余興は燃料の外に正午より全鮮一づくしの開放あり午後六時からは手踊り、音樂合奏、活動寫眞、浪花節、琵琶歌、薩摩の演藝に八時半からは數百千のかがり火を大同江に流す不知火の催しあり多數の觀衆は夜ふけまで各種の催しに陶醉した（平壤）

平壤二者會發會式

平壤に在住する有力者廿六名を以て組織された二者會發會式は廿六日午後二時から平壤神社前で擧行一同神社に參拜後同神社の修祓について平壤八代表松井氏治郎氏年長者佐久間萬吉氏玉串を捧げ式を閉ぢ中丸好太郎氏より挨拶あり役員詮衡の結果松井民治郎、内田錄雄、大橋恒藏、福島莊平の諸氏を相談役に福島伸吉氏外十九氏を幹事に推薦し神社境內において張宴夕刻散會（平壤）

金融組合聯合會總會

南金融組合聯合會總會は二十八日午前九時より同事務所において開會、昭和二年度事業報告、決算承認、監事定員選擧、剩余金處分案、臨時總會の件等を附議し引續き十七名の表彰式を行ひ午後七時から樂食の開宴を催し各組合において關係者の懇親宴を張つた被表彰者左の如し（平壤）

▲大同郡義員興組合長金沐▲了波同金融組▲同組合長黃道順▲江東同江東組▲介川同李浩沐▲孟山同吉賢鍾▲成鏡▲北倉同趙宅淳▲順川同全延昌▲三和龍泉李時完▲龍岡池部八濱友一▲江東同鄭松秀修

南浦商議評議員會

鎮南浦商議評議員會は二十六日午後一時より同所會議室に開催左の議案を附議決定した（鎮南浦）

（一）昭和二年度歲入出決算に關する件は河村、鈴野兩氏の說明ありて異議なく承認

（二）昭和三年度豫算報告は川添會頭より說明の報告あり、なほ共同可となつた旨報告し

（三）第十一回定時商業會議所聯合會各會議所提出議案に對する賛否に關する件は第一號案釜山提出、第二號案仁川提出、第三號案元山提出第五號案群山提出は可決、議案の見を伺つた上贊否決定第六號案大邱提出、第七號案南浦提出第八號案新義州提出は否決、第八號案新義州提出提案者の意見を聽取の上贊否決定、第十號案南浦提出は時期尚早の意見を聽取の上贊否決定することとし

（四）朝鮮兵備充實問題に關する件は趣旨には贊成なるも時期尚早なるを以て經費の負擔は不可と決定三時散會した（鎮南浦）

博覽會で朝鮮大もて 鮮米食堂は大もて

別府における博覽會への朝鮮館の出陳・出席中であつたが廿五日歸任した竹內技師は語る

東京博では鮮米官傳の食堂が大繁昌で次から次へ入つて來るお客さんの爲めにナカ／＼容易に飯を食べさせ兼ねる程の有様であつた又革織物なども人目を惹き平南からの出品では石炭織物、陶器、栗など何れも入賞し觀客から注意深く觀られてゐた其他仙台、高松、岡山各地の朝鮮館に於ても何れも好人氣であるが朝鮮館の位置が惡く人氣を呼び得ないでゐたが今回の博覽會組織で最も感じたことは陳列が從來の平面的陳列から立體的陳列に進みつゝあることと生産の實演といふ點に一層の力を加へられてゐることであつた（平壤）

合財袋

◇…鎮南浦築港期成會では二十六日午後三時半より商議會議所樓上に於て築港運動經過報告會を開き川添會長より先般總督府及各方面への築港促進運動の經過を報告し且つ中毎主幹より東京方面の運動經過報告及び丹氏の總督訪問及大阪實業團來壤歓迎方法に關する希望あり五時半散會した（平壤）

◇…今春以來平壤への觀察團は內地からだけでも二百團體以上及び鮮內からの團體を加へれば實に三百餘團體に及んでゐるが平壤府では平壤を紹介する方法として之等の觀察團員には大々的に一般や府勢要覽、平壤名勝エハカキなどを贈つてゐるが本年の之れが印刷費三百圓は既に大半を費ひ果した由で當局は早くも本年は到底この豫算では足るまいと見當を附け痛し痒しの狀態である

◇…大同郡龍山面安泰里飯東洽非（十八）は廿三日行方不明となつたが廿五日午後四時平壤府東面週月前の普通江岸に溺死體となつて漂着した同人は非常な厭世家で自殺には複雜した原因があるらしい

◇…平壤射撃會弓術部主催の弓術大會は廿七日開催された

◇…大會は廿六日夜八時から大同江に於て催ふされたこの夜江岸は內鮮人萬餘の人を以つて埋められ非常な盛況を見た

◇…昨年八月平壤府内を荒し廻つたピストル強盗犯人文在勁逮捕の功に平壤署刑事金鶴爽氏は金十圓、同白朝殿、同李與俊兩氏は各七圓の賞金を道警察部から寄附された

◇…平壤府慶町李俊炳（三〇）は主人不在中の陸軍官舍を廻つて商品の押賣りをやつてゐたのが而も近頃取押へられたがその他にも前科旧勤時の留守宅を專ら稼いだ不都合を働くらしいので平壤署ではビシ／＼取調べ中である

京畿道

水原の釋尊降誕會 飛行機から花を撒く

水原佛教宗務院會では毎年例年降誕會釋尊降誕紀念祭を舉行しつゝあるが廿六日の當日も午前十一時より本年は當組寺院西本願寺附近龍珠寺、龍華寺、正宗寺に集合の稚兒お上より打ち上ぐる煙火を合圖に城內寺院各宗信徒により稚兒行列を始め出發、各宗信徒により行列が市中を練りあるいたが十一時半京城汝矣島より飛來した飛行機は水原上空において數回旋廻を行ひ式場西門寺上空においても旋廻すると見えて花をのせた飛行機はにはかに低空飛行をして敬意を表して五色の花をまき再度上空に引返し大旋廻を行ひ同市上に數萬の五色の花を降らし水原市民をヤンヤといはせプロペラの音も高らかに京城方面の空高く姿をつげた午後二時より式場には數千の善男善女參集して佛式を擧行し式後開會、圓、奏樂の餘興あり午後五時頃盛況裡に終了した（水原）

仁川雜俎

◇侍從牧野子爵は池田家從隨行、本府監督局の案內で廿七日午後一時四十九分上仁川驛着驛頭には宇垣府尹、鬼本商議會長等の出迎あり、自動車で府内各方面、月尾島及朱安鹽田を視察して歸城

◇仁川公會の東洋軒では今度改築中の屋上露台が落成したので夕すゞみの顧客の便宜をはかり大勉強するさうだ

◇仁川白揚會では廿七日午前十時から仁川高女講堂に於て總會を開いたが出席者八十名盛會裡に午後三時散會

◇お釋迦様の縁日を祝ぐ花祭の夕は廿六日午後七時から明照寺に於て開かれたが善男善女多數集り君が代合唱花供養、禮拜、讃佛、宗歌、花祭唱歌で式を閉じ可愛い、子供の餘興が澤山あり盛會であつた

◇仁川商業學校では海軍記念日の廿七日午前七時から月尾島でマラソン競走を催した

◇廿六日午後八時半頃萬石洞來丁の木材運搬中の自動車が通行中の京畿道茂里里非氏（五八）を轢き倒して頭部に重傷を負はせたが生命危篤

◇仁川郵便局では局內コートの修理が完成し廿七日局內庭球試合を行つた

◇南商業對商高農の野球戰は廿七日午後一時から山根町公設グラウンドで擧行した

慶尚北道

道山林種苗組合設立

近時慶北地方の山林の無遠慮に伴つて山林用種苗の需要は漸次增加し苗需要者の前途は益々有望ならんとする秋に當たり大邱における各有志は昔組合の組織を設けて樹苗の生産を圖らんとし各種類の需要の増加に應じうるは間く全道にわたり需要に應じうる生産能力を確へ現に年額五千余萬本の苗木を生産しつつある山林課の積極指導の下に近々樹苗のせむとする機運にあるのであるが一面從來における販賣狀況を見るに生産者相互の連絡協調を缺げるため時に生苗の過剰に陥り或は販賣の時期を失する等生産者は意外の不利益を招くのみならず品質の統一を缺げるため道內造林苗の聲價を失墜せしめ延て將來斯業の前途に暗影を投せしむとするおそれあるが如き狀態であつたが當業者はこゝに鑑る所あつて道內苗業者の協調をはかるため慶尚北道山林種苗組合を設立することゝなり廿三日大邱府上町在鄕軍人集會所にて創立總會を開いたが當日まで加入を申込んだ組合員は八十余名であつて滿場一致を以て定款を議決し役員を選擧した役員氏名は左の通りである（大邱）

▲組合長中川太平▲副組合長小林總太郎▲評議員伴野市、增田康助、竹内嘉一郎、林能俊、佐藤保治、朴尙祚、石□藤助

慶北雜俎

◇慶北道では農事改良の利益を當局者側に就いて說明し以て一般農家の自覺を促すべく六月一、二兩日桑苗共同參觀デーを開催し農內を保放することゝなり目下道內各郡共觀察團募集中で二十五日までに十郡八百五十人の申込があつたが尚引續き各郡より申込あるべく尚一抓、興業會社も小作團の數に強する見込で當日は少くとも二千名以上の人出を豫想されて居る

◇大邱の紳士賭博事件は廿五日の局送りにて一段落の姿となつたが大邱署では之で全部を打切つたのではなく引續き未檢擧の關係方面搜査に着手し二十三日には二三同關係者を召喚取調を開始したが今回の檢擧範圍は第一回のものと多少趣を異にし所謂一流紳士間の錚々たる階級にて關係者は十二、三名内外との見込で檢擧されるが單なる取調べに終るか疑問を集めて居る

◇數日前大邱女子普通學校の西側常門の外壁に目下同盟休校問題で紛糾中の京城女子商業學校に關する不穩文書類のものを貼り付けたるを大邱署員が發見押收し犯人搜査中であるが女學生の盟休を煽動せんとするものの所爲らしい

全羅北道

出場庭球選手豫選

本社主催の全鮮庭球大會南鮮豫選を六月三日裡里農林學校コートにて擧行することになり群山よりも出場選手選拔と同時に二十七日午後一時より金融組合コートにて選手拔擢試合を行つた結果

第一回戰

（朴大俊 千鍾福）（趙學男 申鉉琢）（崔北吉 谷川）
（今原 小川）（金永建 金守成）（朴 普式 水口）
（李 英洙 尾崎）（佐 原）（非 保）

八組を挑戰せしむることとなり當日の成績は左の如く午後三時閉戰した

第二回戰

藤崎、金 二―四今原、小川
朴、水口 四―三李完、趙東
張、四の宮 ○―四井原、車
李、尾崎 四―○中村、申
相原、佐保 一―四崔、谷川
藤崎、伊藤 四―一崔、洪
金、金 四―○金、林

大田軍捷つ 對群山野球

大田選拔チームを迎へて全群山との野球戰は二十七日午後二時から群山中學校グラウンドにおいて擧行、球審山本（壘審）山本（壘審）氏審判大田軍先攻に戰ひは開始された一回目大田一點を先取し裏にて一點を入れ同點で四回まで押し通し膠着してゐた、五回目に至り群山大敵を生じ大田一擧五點を入れて殆ど大勢は決したる觀あり、群山は五回より八回までチャンスを得ながら遂に一點づゝを挽回せしに反し大田は六回目一點七、八回目四點づゝを入れ九回目一點を入れ十六點の大きいスコーアを示し群山最後の攻擊に移り當日の殊勳者であり七日目に本壘打を飛ばしたる河野ボックスに立ち中堅にヒットし續いてより氣萬選手に敵意を示し六點を取したが結局十六對十一のスコアで大田軍の勝に歸し六時十五分インニングおよびメンバー左の如し（群山）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
群山	0	1	0	0	1	1	1	1	6	11
大田	1	0	0	0	5	1	4	4	1	16

16對11

大田 川中田 邪中 邊田 野國
群山 金田 大川 山渡 藤河 森
投捕123遊左中右
田 川藤 中木 澤田 谷木 宮
大 森後 山西 宮福 荻山 大

滿洲

安東輸入組合發會式

安東輸入組合の發會式は二十七日午前十一時半から安東公會堂において擧行した出席者は關東廳奧野事務官、地方事務所長、日本領事館その他各方面關係者約二百名で中村組合理事から組合成立の經過を述べ開會の挨拶にかへ領事兼組合長の挨拶祝辭あり正午閉式した（安東縣）

新義州實業捷つ 3―2

安東滿俱野球戰

新義州實業對安東滿俱の野球試合は廿五日午後五時半より安東グラウンドで開催した。右實業團は今年はじめて各チームからピックアップして組織した新義州の代表チームで今日の試合はそのお披露のためしで頗る緊張しスタンドを埋めた觀衆の熱狂振も見ものであつた、力は兩チーム相伯仲し一球一投觀衆をやんやといはせ手に汗を握らしめたが結局三點二で新義州實業の勝に歸したスコアおよびメンバー左の通り（安東縣）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九
安東	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新義（先）	0	0	1	0	0	0	2	0	0

3―2

東 手塚 簡吉 都川 部 非 服部 新 栗 宜 酒 千 本 蛯古吉 戶田
安 78659124 37
安 13252017 25 打得安盜三四死殘過失
新 30 3432436 3
新 平田 口非 村非 部尾
實 大崎 小酒田 中 武 濟 長 6 78 89 1243 295

地方人事

▲石田江原道警察部長 二十五日京城へ
▲北陸新聞觀察團一行 廿七日平壤着
▲高山騎兵谷口少佐以下八十名 廿六日平壤通過新義州へ
▲滿山步兵隊伊藤中尉以下四十名 同上
▲岡本平壤覆審法院長 廿八日午前六時十八分發列車で平北楚山方面に出張
▲長島平壤地方法院部長 廿七日東上
▲石川同法院檢事 同上
▲神木鮮銀支店長 廿五日京城へ
▲日谷圖一氏（江界郵便局長）急性肺炎で江界道立醫院入院加療中廿六日午後二時死去

胃腸にはツルヂアスターゼ

消化不良症

食慾不進、嘔吐、嘔氣、腹部膨滿感、排便不調、腹部不快感等は胃腸の疾病を示すものにしてツルヂアスターゼの服用に依り治癒す

胃弱者

消化困難、顏面蒼白、羸瘦者等 胃腸機能の衰弱に依つて來れる疾病並に體質はツルヂアスターゼの服用に依り胃機能を助け榮養を恢復し得べし

結核、慢性病者、重病恢復期に

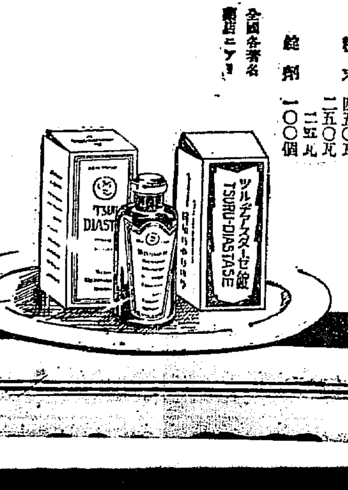
本品を服用すれば食慾進起し食物の消化吸收良好となり體力及抵抗力を增加し疾病の治療を速かならしめ健康を恢復す

ヂアスターゼ中の最高品

大學病院、赤十字社病院、官公私立大病院はツルヂアスターゼが消化力最も强く健胃消化素として胃腸疾患の治療に適するを以て指定品として採用せらる

包裝
粉末 四五〇瓦 二五〇瓦 二五瓦
錠劑 一〇〇個

全國各著名藥店ニアリ



大阪市東區道修町
發賣元 田邊五兵衛商店

支那人の戰爭心理（下）
結局一種の武器遊戲
ハルビン　松江生

×　×　×

支那兵の現状は一般庶民にとつては、ありがたいものではない。名目こそ立派であれ、庶民の家計した財物は、大部分軍閥巨頭の懐をこやし、正しく國民の保護者であるべき兵卒は、數ケ月、年余にわたる月給の不拂りで、恐くも是かせを加へられてをり、不平、不滿を縣い庶民に漏らして居る、かくてこれらの兵隊が命を的に攻城野戰の功名を期はねばならぬ、その結果は野卑に返つて、あらゆる匪賊行爲をも平氣でやることになる。

×　×　×

支那における戰鬪方法は、支那國民性の第一と數へられる面子心理をそゝるに是非とも必要である。戰爭において見出される掠奪行爲は戰も又それである。戰鬪の勝敗を賞罰によつて定め、戰百爲心を一城にかけて士氣を鼓舞する。生命巨頭に賊意を起さず、決して敵軍せずなど白々しく誇裝して居ることは、支那でなくては見られぬ珍圖であらう。賞罰によつて士氣を鼓ますことは必ずしも悪くはなからう、しかし、支那における戰時の特別賞與としては、掠奪の公許によつて戰城をつくることがある、利の一點にのみ目を開いて居る兵、永らく匪賊に逃ざかつて居た士卒は、かゝる時にとその野性の蠻勇を發揮し、命を惜まず猛勇を振ふは何時の戰にも見出されるところで彼等兵隊の全部が戰心に立つたものであつて、戰鬪が戰爭を特徴づけると同時、彼等にのみ與へられた特權と考へて居る、即ち戰が軍閥一戰として行はれるのではなくして、兵隊の野性が一戰となつて働くのである

×　×　×

以上の一點に目覺めた支那人は、商人であれ、農人であれ、勞民、工人の區別なく、全く同一心理状態で行動するのである。從つて戰鬪の困物、戰鬪の興返りなどは問題でない、大勢の赴くところ、いはゆる漁夫の利は自家の利からのみ打算せられるから、した戰鬪感が支那では智者であり、時勢向きの人として持てはやされる、從前の共同動作の如きも全く利を中心としたもので、利あれば即ち集まり利盡くれば即ち散ずる。支那において何等不可思議とすべき現由がないのである。支那の庶民は庶民で一の團を形成して居る、勿論自己の利を中心としたものであるが王師にせよ、匪軍にせよ、追つて部落、城砦に近づくものあれば即ち掠奪、虐殺を逞しくる。これ等は王師を恃ひ匪賊を嫌ふからの心理ではなくして、寧ろ安寧、保護をつくろつての戰時ではあるが、掠奪封じの一良手段だからである。そしてその戰亂の永からざることを希つて居る。部落民から見たこれ等の戰鬪は、野性の猛虎に對すると同一である、譬へば限りなく、噛はざれば乃ち牙を露はすがごとく、支那兵の常である。兵の過ぐる所は匪賊の荒すよりも戰亂の苦しみがある。斯くして支那の庶民は戰禍の爲、その貯へのすべてを失はせられる。

×　×

これを要するに、支那人の戰爭心理には一種特有の味があり、戰鬪を弄びつゝ戰亂の爲に苦しめられて居る。現下無智の支那人は、國家の統治者は何人でも問ふものではない、彼等の傳統せる利の慾望を滿足せしめて現れる人、換言せば平和裡に社會生活を營ませて與へる人であればいゝのである。近年繰返される地方の兵亂、局部的には匪賊の跋行によつて寧日ない現状である。限りない大利の慾望をいだきながら、兵火のちまたに浮遊しつゝやる瀬ない生活を送つて居る、三界の火宅生活彼等は寧ろ命運を以てあきらめ、メーファーヅの諦觀を以つてすべてを解消にして行くのである。遂せられざる大利の理想を仰ぎながら兵匪の跳梁に脅えつゝ明かし又暮らして行く。

慶尚南道
釜山の市街戰
未曾有の壯觀を呈す

攻城戰役への想定のもとに釜山市街を舞臺に假想戰の幕が開かれ壯烈なる一大市街戰を演出する廿七日海軍記念日の攻防演習は既報の如く釜州、釜山を經由して南下し來たつた攻擊軍の主力は前夜東萊溫泉に集結し大邱八十聯隊に馬山および馬山の砲兵大隊を加へた精鋭は早朝より進擊の行動を起して釜山に向つて敵狀偵察につとめながら南下しこれを殲滅せんとする防禦軍を擊破して砲兵の掩護射擊のもとに大砲火を加へてこれを左水營方面に退却せしめ、防禦軍は再び和あらず戰線を續け午前十時頃より戰鬪は漸次猛烈となり攻防兩軍とも秘術なく近代戰術の精妙を盡し擊して行けば北軍は退却する防禦軍を追擊して釜山市街に入り午後一時半より防禦軍が最後の戰線として死守する龍頭山の天險に向つて各方面より北軍の總攻擊となり天地を搖がす砲聲と軍馬の嘶き兵隊の響きに和する機關銃の音、攻擊前の修羅場と化し攻擊軍の突擊に入つて戰鬪中止のラッパはひゞき四時過ぎ無事終了しそれより高女校前にて各軍の閲兵式あり夜は公會堂にて官民合同にて懇親會日の演習は滯りなく濟んだ大佐以下將校の一大懇親會を催し盛會を極めた

珍しい參觀の群衆
特別列車運轉

釜山では容易に見られない戰爭を見物する當日の人出は既く多數に達し殊に天氣は好晴であつた上に日曜のことゝて攻防兩軍の進退するに從つて押寄せる群衆は北は東萊よりえんえんとして砂の如く續き午後二時頃に至つて市街戰に移るや釜山近郊の山は戰況を見んとする老若男女で殆ど山を埋め電車と連絡された觀衆も川より高女校附近の道路は身動きのつかぬ程の雜踏であつたが又と見られない戰鬪を見るために郡部、三浪津方面の沿線各地より家族づれで釜山まで出て來た人々が多く鐵道では三千は出たと見てをり、各線の各列車とも客車を増結したがそれでも間に合はず午後五時二十分特別列車を仕立てる騷ぎであつた（釜山）

南鮮片々

◇廿七日の記念日に釜山で行つた陸軍聯合演習に見物に出たらしい内地人の四歳くらゐの男の子が正午頃迷ひ子となつて驛前に居るのを發見誰の子とも判明せずと釜山署にて保護中
◇廿八日より四日間釜山公會堂で施行される徴兵檢査は本年の受驗壯丁約五百名に達する見當
◇◇晉州附近麥作は例年より二割以上增收の見込み
◇釜山府では農地整理の根本的方針を樹つる爲め近く朝鮮人公職者及び各有力者に就いて意見を聽取する筈
◇晉州在鄕軍人分會は廿七日定期總會を催し同時に役員改選を行ふ

忠清北道
十日は時の日
時間勵行週間を設ける

道では來月十日時の記念日の前後各三日間即ち七日より十三日まで一週間を時間勵行週間と定め時間勵行の趣旨を各郡と警察署および中等學校と聯絡を取つて左記事項を實施する豫定である（淸州）

一、道勢の許す範圍内に於て時間勵行に關する宣傳ポスター、ビラを印刷し民衆の集會場、掲示場等注意を惹き易き處に掲示し又は一般に頒布すること
二、講演及び講話會を開き時間勵行の觀念を鼓吹すること
三、記念日當日は午前五時、正午、午後六時に吹笛、警鐘等をなし時間尊重に對する一般の注意を喚起すること
四、年中各月の日出、日沒時間表を調製し學校生徒及一般民衆に配布し日常時刻に對する觀念を注意さしむること
五、學校に於ては生徒に對し時間尊重に關する講演をするは勿論ポスター、ビラ、標語等を作製して之を適宜に利用し又は綴方等を課すること
六、時計商に諮り標準時計を店頭に掲げ通行人に正時を知らしめ又は時計修繕賃半額デーを行はしむること
七、官公署及學校等に於ては本週間中は特に出勤退廳及執務時間を勵行すること

チフス豫防注射

淸州ではこの頃腸チフス流行といふ程でもないが散發する傾向があるので淸州署では同署において來る一日本月廿八・九日第二回六月四五日無料豫防注射を行ふ（淸州）

淸州から

◇前田平太氏も遂に本月内に淸州を引揚げ京城に移居することになつた、鐵道の名請負人となつた業務の關係上こゝにはあまり用のないことゝなりいよいよ引揚げに決定したのであらうが淸州としては惜しいことである、あれだけの人物を逸することは有形無形に淸州の損失は夥しい

◇淸州に入なし―の嘆を聞くこと久しである、今氏を送らんとして更らにこの感を深うする、代はるべき人物を迎ふるは恐らく將來難事であらう
◇今更こと新しく氏の功績を擧げるにも及ぶまい金錢に執着なく、さつぱりとした男前は隨分思い切つた物質も振りまき、また献身的働きもした、公職者として道評議員、消防組頭、金融組合長佛教團支部長、道教育會副會長等さて今回これ等公職にきれいさつぱりお別れした
◇道評議會、消防組は花形である氏を失つて一沫の寂寥を感ずるに違ひない
◇重荷をおろした氏は訪客に對して敢て多くを語らず、ながながお世話になりました、住事の都合で京城へ移ります……とのみ
◇人あり氏が移居に決意せしは忠北線延長工事入札の際、當時の市民の氏に對する態度が案外冷かであつたので氏をして淸州はアメタイとの憂鬱を洩らさしめた、これ等が淸州にイヤ氣のさした一因であると傳へるものがあるが然し之は氏をあまりに少さく見た氏の全貌を知らない者の皮相觀に過ぎない
◇さはれ一時王者の如く敬はれた氏がさていよいよ去るに臨み氏の眼底に映ずる氏身邊に對する世相、世路の變遷果して如何・感慨極めて無量であらう（寫眞は前田氏）

忠清南道
論山の衛生
思想大宣傳

論山では警察署長内田警部補は論山および市衛生會と諮り衛生思想の徹底的宣傳として二十七日の一日晴をトし左の如き方法をとつた 同日午前十時十數臺の大旗に衛生モットーを大書したのを先頭に警察署員および市有志の面々いづれも兩手に宣傳旗を持ち樂隊を入れて全市を一周すると共に石油缶二百の石油乳劑を各戸に分けて一齊に有内全市民こぞつて各戸の消毒をした、かゝる徹底的な衛生宣傳は他に類を見ざる所で非常な成功であつた（論山）

大田の下水工事
雨期前に竣功する

大田末吉組の手になる下水第一期工事は天候の關係その他で極めて順調に進捗し來月中には全部の竣功を見るべく大田面では更に第二期の下水工事の入札を行ひ直ちに工事に着手するはずである（大田）

大田面議會

大田面にては下水追加工事に伴ふ昭和四年度の増加豫算の件につき二十九日面協議會を開催審議するはず（大田）

論山本願寺入佛式

論山東本願寺の入佛式は廿五日執行された午後一時稚兒男女四百余名は御本尊を論山驛に迎へそれより木村總支配人宅にて午後三時本願寺入佛の式あり同夜は説教あり盛會な落慶であつた（論山）

皆様は から申されます
＝カルピス愛飲の理由＝

私は　妻の安産を祈るが爲に
私は　精力の衰へを防ぐが爲に
私は　便秘を厭ふが爲に
私は　浴後の一ぱいが無上の樂なるが爲に
私は　家庭の平和を冀ふが爲に
私は　絶對安心が出來て、しかも安價な飲料なるが爲に

清涼美味　滋強飲料

カルピス

私は　いつまでも若々しくありたいから
私は　強健な子供を得たいから
私は　艶々しい皮膚と頭髪とを望むから
私は　つわりが怖いから
私は　結核が恐いから
私は　來客の滿足を得たいから
二人は　老親の長命を念願するが爲に
二人は　子等の喜ぶのが樂みだから

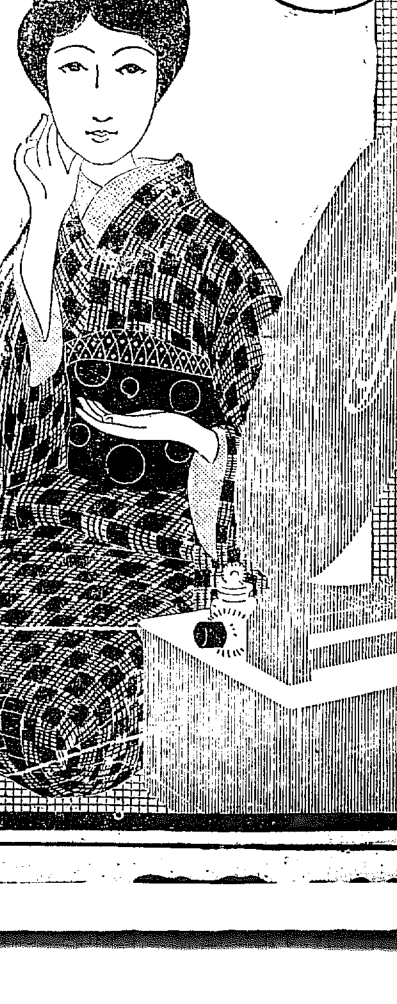
成分
カルピスはカルシウムと、ビタミンと、純白質と、脂肪の酸等を原料とし、之に殺菌力のある乳酸菌と消化を助ける酵母菌とを加へて、自然醗酵させた滋味この上ない合理的飲料でございます。

發賣元　三井物産株式會社

クラブ白粉

プラトン萬年筆　プラトンインキ

美人なる クラブ白粉
お嬢様も奥様も美しい方は皆な此の



クラブ白粉の付け方

第一に　白粉を付けるには先づ生地を整へなければなりません、夫には　顔のアレない美しくなるカテイ石鹸又はクラブ石鹸で生地の美を増す日本名物クラブ洗粉でよく顔から頸筋を洗ひます、スベスベと天鵞絨のやうな手觸りになりますから

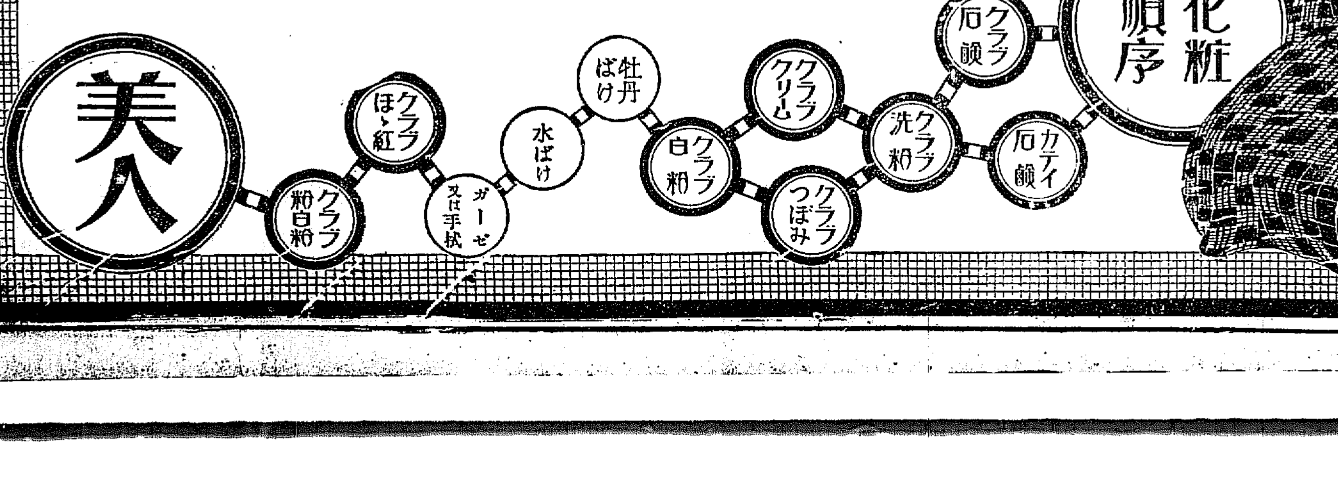
第二に　皮膚の美を養ふ最新式のお化粧下クラブつぼみを其の上から塗り、（若し荒性の方ならば、一番よくきくアレ日焼止め兼用の美身料クラブ美身クリームをクラブつぼみの代りに用ひ）指先でムラのないやうによく擦込んだ後、ガーゼで輕く押へます、すると生地がスッカリ整つて参ります、そこで

第三に　一番高尚で美しい艶の出る天下一品のクラブ白粉を掌に取り、指先でよく煉つて付け、（襟は顔よりも少し濃くする事）牡丹刷毛で白粉を均し、水刷毛でそれを延しガーゼでその殘りを取つて白粉を落付かせ、

第四に　お顔にホンノリと櫻色の健康色を出すクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷付けますと、花のやうな艶麗かな色艶が出ます、夫を一層高尚に落付かす爲め、

第五に　クラブ粉白粉をパツフで襟から顔へかけて刷きますと高尚で美しい淑女式のお化粧が忽ちの間に出來上りますので此の方法に依りますと白粉もよく落付き、お化粧の持も長いのでございます。

クラブ白粉は純無鉛



花の詩　美島梨雨

杏。
南國のほこりにまみれた杏の花は
睡眠不足な娼妓の見本のやうに見えませんか？皆さん——
つゝじ。
ウエイトレスとモダアンボオイの
喫茶ふので、淺智な戀を想わせますね——
櫻。
満開咲きの櫻は
青白い不具者の
ひとりぎめの戀のやうで
はかなく寂しいものです。」
海棠。
やさしい色と、匂ひ——
寂しさうで、深さのある花」
プラトニックな戀の幻想に
醉つてゐる
はにかみがちな少女にたとえませふ。

都會の雨　街一夫

火事場のあとに
雨が降つて
ぶすぶすと
やけあとが臭をふき出す——
そして
どぶの消が腐つて——
それが都會の臭である
ガスランプは
もう
倉庫の闇のくらがりで
臭を出さない様になつてゐる
活動館に灯がはいつて
廣飾の金消が光る
隣間の破れた
ピアノの音に
口を歪めて
笑はう！
それが
都會の田舎者である
（五、二四）

心臓の音　民木柳丘

いのちが孕んで
いのちを刻む
惱ましき血の音
いのちを含んで
いのちの果てを
映笑する血の音
いのちを掴つて
死の國に一字一字
消し離さ[illegible]血の音
情熱の淵に落つる
血潮の雨の音か
天國の門を叩く
求めの血の音か
闇を　月を
光りを　影を
人を〳〵世を
突き抜け駈けめぐり
殺け破るゝまで
狂ほしき魅惑を持つ
どの孤獨の蕭紅さ
その心臓の音。
（一九二七、一）

寂しい夜　石井武夫

寂しい夜よ！
過去六年間を通してとう〳〵この夜が來た。
ら若い者の思ひ出生活の終結が來た。
彼等は一人〳〵壇上に立つて叫ぶ
雄々しく勇ましく
あゝしかし彼々の中心を支配してゐるものは悲しみであり寂しさであることを私は知つてゐる
やがて彼等と同一の路道を踏み寂しい教師となるだらう私がどうしてそれを知らないでゐやう
彼等は　美しい夢はいたいたしい未來の現實をやわらかく包んでゐる盃園であることを知つてゐる
そして一時でもその美しい外皮を强ひのけることは
どんなに苦痛であらう
彼等は叫ぶ　雄々しく勇ましく
あゝしかしこの一脈の寂しさはどうだ
美しい名手であつたら私は
せめて名俳を吹でゝ彼等をなぐさめるであらうに
寂しい夜よ！

早春抄　姫野利夫

劇場に廃れは瑠相は
感覺の刺鼻を放つ多の死屍さ
まろく日の金を右に見る
[illegible]けの洞窟の什影と
そしてそれは焼特有の冷情と
器觀性を表はしてゐる。」
木は神經をいら立てゝ
早[illegible]の病的な歌[illegible]してゐる
鳥の群は新しき時を
もう持がた
非常に繊細たる性力を強く
肉體的な病弱を負つて喘びでゐる。
（三、二〇）

海の詩　河野卓爾

ドドッ、ッ、ザッ、
海！海！
無限際の海だ
白雲の山脈が水平線で光つてゐる
岩礁に白い波が吹えてゐる
青い空では太陽が燃え
島の砂を灼熱した
すみれ色の水にくひ込む砂地の曲線
俺はそこに立つ
おゝ
潮風の囁くところ——
現實のつくるところ——
視線にくひついて來るは
地引網ひく島の子の群と
パラソルもつた彼女等の裸體である
波の音よ！
心の故郷の音樂よ！
俺の心臓の血は
お前の歌と伴奏として力走する
均整な色と太陽とで
俺のはただ瞑想になつた。」

花瓶に　内海門麿

讃き光りにのみ落ち、この器は
何かしらしみじみと、匡に讃[illegible]
をくゑむ
ひと色の冷たい光りが
なだらかな肌に流れ
この器は、ぢつと夢み　密…
忘れられた追憶に耽つてゐる
おお、むかし、去つて行つた人
の
肩に散りかゝつた扶の、尠い、
まるい聞かけその色だ……その
光だ！
この器は、自らを憐む涙に
今、しつとりと吹ひを濡はして
ゐる……。
讃き光りにのみ満ちたこの器に
は
孤獨の秘に寂しい、花をさすが
よい！

否定　濱田哲郎

油臭き題眼の騒音
快と惑溺に沈む戯曲と生活
背さめた理實の否定
寂しき暗黒の提唱し
肺臓は破裂し、心臓は暗和する
暗黒の恐怖を求め
信仰の鎖腐を都び
敗頽たる敗殘のコーラスの中
に
たつた一つの
舞つて世界を讃美する俺等
背徳なる生活を隠ふれど
理性を、美しき眩惑を
失意のドア腕に投げ棄て
過流に流くあけくれは
捐　おゝ、あさらめの半生に
僕かなる涙と暖さはないでもない

春二題　砥上榮次郎

銀の聲

闇夜にさんざ散る闇は
銀の聲で、咲のほつれ毛を掻き
上げてゐたが、その口紅も
褪せ初めた
ひらひらと光る
銀の聲

小夜の雨

さんさんと降る小夜の雨は
惱ましい唸りやうをする
ほほづき提灯をぬらし……
小猫の雨に光る屋根は
しみじみとした
消灰色であつた

題の刺戟者　松尾丑須介

山峡の町には
春の街状四方に漲ち
此の山峡の町に生活する労働者
に
春の鋼鐵者は
鍋へずつきまとふて困る
そして折々
銳き針先で
勞働者の
嗜好な心をつく
其の瞬間
勞働者は
「あ……」
「もう春だ」と叫ぶ
其の瞬間
一勞働者は
光陰の流れ行くを知り
已が老ひ行くを知つた
そしてゝ
人生の短命嘆した

春日短唱　吉藤草太郎

その一
春の休みは
誰でも出て歩かなければ
ならないのに、街の
屋根と屋根と
さんてなど
れすとらんの椅子は、なぜに
靜かに考へてみなければならな
いのか
その二
春の夜は
靴がいゝのか
下駄がいゝのか
だが
甘つたるい月の光と
なごやかな空氣は

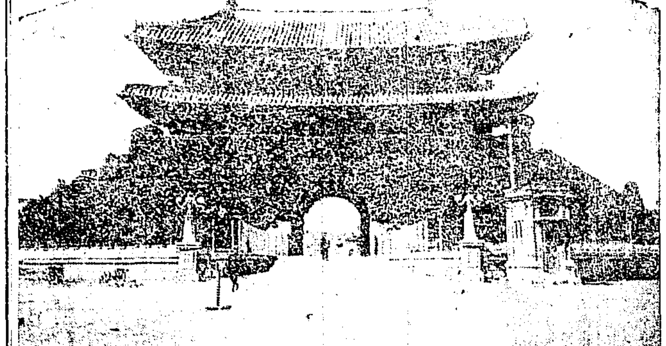
風に寄する　内海門麿

風よ。！
流るるものの姿は
釣鐘草の花影に揺る……」
見えない寂しさ——
あゝ風よ。
流るるものの寂しき魂。！
私は頬におまへの生毛も感じてゐる。
露は散り。！
朝の溜息が聞かるゝ…東の聞を
釣鐘草のおのゝきは
眠りを逃した王女の頬に傾へる
眉に泌み、指圖にからみ
觸り無げにさすらふ朝の風よ。

ねむ氣　ゑすえむ

まぶたにも體のふし〳〵にも
意情の細胞がくさり
彈力のないねむ氣をもよほす
のびきつた黄色い空氣は
蜩よりも變想がない
死ぬ事もたやすく
人殺も一行のお伽噺の人だ
まぶたはうと〳〵と
瞼音をながし
ずうつと遠くに
不思議な世界がある
（五、一九）

京城風物詩　上田忠勇



崇禮門

いろぼんさらみ…
いつまでか、物いはぬ崇禮の風情
の雙に
高風の、嶷々とくゆる香煙をかき
空洞に苔を煽ぜるきみの靜けい手
を
旅人よ　こぼれてひぐく月にかざ
せ
廢りはてゝられひを怨ける一閑
光澤の欄班にやせた扁額の情[illegible]よ
あゝ　李朝　亡羽の夢のわびしさ
旅人よ　あれをお聞き
いろあせた世紀の闇に
泪　うるめる處女の晞と月映
たら　たら　ばろうんたら
いつてべき　のうどん　たら

死の影　XY生

おどかさないで、おきたいから
そつと素足で歩かうか
でないと何もかもこわれて仕舞ひさうだ
暗黒なる爭鬪の世界には、ただ
矛盾と譏謗とのみが
うごめいてゐる——
——そうした絶望的呪咀の中に
人生に敗れたる個人の群れが
混濁せる渦中に投ぜられ
侮辱と迫害と嘲笑との
弔歌の中に
あゝ。遂に葬られて行くのだ。
拙まし幻滅の悲哀を殘して。
あらゆる世の醜悪と、たゝかひつゝも
幸福を求めて得られず
自由を求めて得られず
燃ゆるが如き愛を求めて
得られざる個には唯すつ
求め得らるべきは
死である
生に對する最後のプロテストと
して
雨が願ち得たるそのものゝ中に
おゝ。凡ては生きるのだ
自由も正義も幸福も
たとひ雨が此の世に於て
成功すなわ[illegible]をうけずとも。

春の雨　尹鳳鉉

雨の日はものみな悲しとで
乙女心に涙あふるゝ
春の日静かに降れぬ青柳に
我の色に[illegible]た夢と共して
去らぬ起ましさ[illegible]の若さは
時のしづし胸に[illegible]まれば
忘られもし路いかたへの小草にも
春は[illegible]りつぽパルトの春
[illegible]流れに入りし若人よ
貸やすかれど顔は浮きぬ
（大同江に入りし若人よ）
ひそやかに夜[illegible]に咲し紅の花
君にだに[illegible]ぼる春の夜
[illegible]
夫りて行きし君のこと偲びつゝ
窓辺によれば春の雨に降るけ
（一九二八、四、二二）

悩める心　尾鍋よしゆき

燃ゆる光明のその中に
不思議や……
寄付かぬ暗い心の自分を見る
それはなぜだらふ？
私の『良心』にうつたへて見て
心の奥から『すまぬ』涙の
湧き出ずる行きの心です
日和
次ぎ次ぎうける思ひの影は
愛惑なワルッとなつて
思ひ疲れた私の心に訪づれ
苦悔……現實の闇黒に
冷たく心はおどつてゐます
「干…殿を下ださい……」と
哀れ心の弱い私は
千人の心の平背を亂したくはない
い
悲しみをお互に見たくない
憎しみをかひたくないのです
されど……されど……
オゝ詩よ
呪はれし運命と言はん？
私の心を哀れんで下ださい

學藝界

◇君島夜詩氏（詩人）今度滿津（大同商會社員付）に轉任した
◇青山宜紀氏（歌人）ボドナム社より歌集『玉ネキ畑春泉』を出版
◇創作時代（六月號）同人雑誌新鋭誌[illegible]と銘打つて花々しく出る、山内紀信、鄭茂、時山猷逸、近藤識、橋本嘉吉などの創作、伴詩開口次郎の戯曲がある（東京市外池袋一〇一四文藝創作社發行）
◇自由藝術氏（作人）歐州旅店の會に接し二十八日夜出發京城に歸省

募るもの

□旅行記　夏の讀み物として
□一回百行內外、一篇三回位
□成るべく寫眞添付のこと
□締切五月卅一日、用紙は原稿用紙
□宛名は京城日報社文藝係

味の素懸賞當籤御芳名發表

本年々頭より弊社の催しました大懸賞募集は御蔭を以て非常な盛況裡に所定の期日四月末日を以て締切りました、茲に多數御應募下さいました各位の御芳情に對して厚く御禮申上げます。扨て御愛用家各位の分は受賞資格者が所定數を遙かに超過致しました故、嚴正なる抽籤により左の當籤者を決定致しました、御販賣店各位の分は規定に基き懸賞問題第二問により各販賣店名を調査し、その數の最高より五十番までは甲賞五十一番より二百五十番までは乙賞に致しました。御芳名は左の通りで御座います。

東京市京橋區南傳馬町一ノ十二　味の素本舗　鈴木商店　懸賞係

御愛用家各位

一等　復興貯蓄債券（額面拾圓一枚宛）五十名

東京　春木統太郎殿　三浦鐵江殿　鶴岡安五郎殿　田口加久子殿　春名千代殿　塚崎三殿　京都　佐々木県五郎殿　三宅信子殿　野英造殿　大阪　命杉光子殿　長久實殿　賀加藤島雄殿　古木半二良殿　中島政蔵殿　小川セツエ殿　宮野朝雄殿　小澤秀吉殿　前澤文子殿　神奈川　安西莊吉殿　兵庫　楢木稲殿　長崎　赤田トキ殿　愛知　岡瀬政七商店殿　新潟　神田誠毅殿　千葉　岡井スミ殿　靜岡　小田仲次郎殿　宮城　高橋興治殿　福島　長沼サク殿　福井　木下商店殿　石川　南嶋依知殿　富山　久世秀治殿　奈良　服部浩殿　廣島　河本利吉殿　山口　旅館殿　高野よし子殿　前田イチ子殿　香川　小林雅子殿　松本常行殿　徳島　友成直三郎殿　福岡　呼子日出子殿　熊本　宗ツル殿　大分　粟原惠一殿　北海道　花田エイ子殿　新津二良殿　臺灣　何德源殿　與謝昌殿　岸根紳平殿　朝鮮　相浦馬殿　栗田庄五郎殿　滿洲　吉川常紅殿　關東　鬼懸　中井駒吉殿

二等　復興貯蓄債券（額面五圓一枚宛）百名

東京　中里彌一郎殿　近藤久吉殿　齋藤時江殿　細澤賢一殿　岡谷與代殿　前野ツル子殿　みやこ島殿　京都　村岡つる子殿　大谷せき殿　伊藤勘吉殿　鏡見桂三殿　磯松露子殿　大阪　岩佐與男殿　倉並洋子殿　滿し文殿　萬六殿　福助麵類部殿　井上習治良殿　北國資太郎殿　金田靜子殿　三浦利吉殿　松本正子殿　武田恩治殿　上村つる子殿　松本龍殿　後藤しづ殿　大西米殿　辰巳千代浩殿　赤松ミネ殿　松本みつの殿　神奈川　高梨富與殿　兵庫　阪谷政市殿　八木房女殿　ミナトヤ料理店殿　富田ふじゑ殿　新潟　茂の非分店殿　長崎　山中敏男殿　岩北勘四郎殿　埼玉　川越高女寄宿河合殿　奥野政江殿　長野　楢林直見殿　小宮山金三殿　靜岡　村上君江殿　岐阜　隅田てふ殿　茨城　野中カかね子殿　宮城　八谷成美殿　福島　吉田屋食堂殿　三重　鈴木五一郎殿　秋田　渡部チエ殿　石川　南吉松殿　白銀屋旅館殿　和歌山　杉本鐵次郎殿　岡山　小原ツル殿　廣島　廣瀬恒太郎殿　合田常解殿　村井弐殿　瀬尾安子殿　毛頭源次郎殿　岩田鋼三郎殿　藤井シズヨ殿　土屋英雄殿　岡山　中島議夫殿　山口　神野とサヨ殿　島根　比津豊市殿　香川　植松順市殿　伊藤榮三郎殿　熊本　拔天食堂殿　鹿兒島　末廣亭殿　高知　下村乙女殿　愛媛　田中埋滿殿　八木マツ子殿　鳥取　山田温子殿　德島　那謝子殿　福岡　伊堂寺エイ殿　松尾元治殿　原勝巳殿　佐賀　織田良輔殿　大分　山路百合子殿　愛知　和田殿　沖繩　永村長榮殿　北海道　龜田文郎殿　松本かの殿　栄野正夫殿　臺灣　胡鏡光殿　尤仲商殿　王錦發殿　興田仲之助殿　謝氏米妹殿　朝鮮　伊東貞子殿　中村明一殿　葛つち子殿　金昌鎭殿　平山務之助殿　近藤つた殿　第一麵屋殿　滿洲　池島周蔵殿　田中富子殿　田中テイ子殿　太田富子殿

御注意

三等味の素小罐一個宛五百名、四等新製瓶入一個宛三千名、五等精選料理の栞一冊宛一萬名は余り多數に付、芳名は省略致します。
各賞品は直に發送致しますから御當手の方は御當選と御承知願ひます

御販賣店各位

甲賞　復興貯蓄債券（額面拾圓二枚）副賞味の素販賣優勝旗一旒　壹組宛五十口

東京　澁澤商店殿　椎橋商店殿　論田屋殿　京都　鶴見庄兵衛殿　松島屋商店殿　大阪　飯島公設市場殿　渡邊商店殿　吉田屋商店殿　金三商店殿　上野乾物店殿　奥田常三郎殿　田中商店殿　布伊商店殿　櫻井商店殿　唐木安藏殿　大谷商店殿　阪田商店殿　金谷商店殿　十合呉服店殿　甲斐商店殿　兒山乾物店殿　日の本屋總商店殿　兵庫　清水商店殿　長崎　森田屋商店殿　埼玉　ヤハタ商店殿　栃木　八百芳商店殿　奈良　田原安商店殿　愛知　元古井公設市場殿　長野　室川商店殿　島取　山田藥局殿　岡山　うを屋食料品店殿　廣島　湖香商店殿　淡路商店殿　鏡城　野村商店殿　香川　新嘉商店殿　高知　上久保高次郎商店殿　沖繩　壬代勢商店殿　宮里商店殿　臺灣　順美商店殿　與順興殿　金振香商店殿　同發商店殿　瑞美商會支店殿　江祥發商店殿　瑞益興商店殿　朝鮮　增井商店殿　安田商店殿　下川食料品店殿　服部商店殿　笠井吉太郎殿　吉田商店殿

乙賞　復興貯蓄債券（額面拾圓一枚）副賞味の素販賣優勝旗一旒　壹組宛二百口

東京　越前屋和田一次殿　山屋商店殿　甲州屋殿　三篠呉服店殿　堀田乾物店殿　近江屋酒店殿　松屋呉服店殿　三河屋商店殿　渡邊酒店殿　田谷商店殿　八百勝平林勝太郎殿　松坂屋呉服店殿　愛知屋商店殿　龜屋商店殿　川手商店殿　明治屋商店殿　第一や殿　三澤や殿　髙橋商店殿　京都　大丸呉服店殿　物産館殿　よねや商店殿　松島屋本店殿　大友商店殿　柏長商店殿　大阪　岡田屋藥品部殿　小倉商店　川張所殿　文化堂藥局殿　中川乾物店殿　柴田仁大堂殿　中山乾物店殿　明治屋殿　大丸呉服店殿　背地安太郎殿　トミヤ食料品店殿　渡萬食料品店殿　石川屋商店殿　大海堂食料品店殿　神奈川　富士見屋商店殿　野澤屋呉服店殿　坂戸屋商店殿　勝田屋支店殿　兵庫　日の本屋商店殿　八木食料品店殿　昇龍商店殿　大崎屋　萬納屋殿　三越呉服店殿　大丸呉服店殿　勝原藥大殿　長崎　池田食料品店殿　渡邊芳次郎殿　新潟　八百清商店殿　萬屋商店殿　埼玉　大澤洋酒店殿　群馬　鶴見商店殿　小椋山爲吉商店殿　千葉　湯淺文平商店殿　茨城　沼崎商店殿　栃木　中村藥舖殿　春日屋酒店殿　奈良　海南堂藥店殿　三重　川口タツミ堂藥局殿　愛知　㊉伊藤商店殿　松坂屋呉服店殿　平手商店殿　伴竹商店殿　㊃背木商店殿　佐竹記一商店殿　梅澤商店殿　川手遊火商店殿　魚半商店殿　静岡　石津屋商店殿　山口千代吉商店殿　山梨　岩田商店殿　兔矢崎商店殿　岐阜　大垣屋支店殿　長野　河西商店殿　宮城　大沼新兵衛殿　内ヶ崎商店殿　竹や商店殿　北村萬吉殿　脊原商三郎殿　福島　森川喜兵衛殿　山木屋商店殿　伊藤喜一郎殿　岩手　高村藥店殿　菊池商店殿　青森　及川商店殿　明治屋殿　山形　吉野屋商店殿　福井　石田商店殿　角磯栗店殿　石川　明治屋支店殿　村田商店殿　富山　岡澤屋商店殿　眞田商店殿　島根　諏訪太兵衛商店殿　鳥取　田中屋食料品店殿　葉食料品店殿　岡山　柚木商店殿　宮田村一殿　廣島　竹本商店殿　井上食料品店殿　三谷常吉殿　黒田商店殿　牧村物店殿　和田商會殿　山田圳之助殿　和歌山　天龍商店殿　鈴木旅舍殿　保田清七商店殿　德島　小川藤二商店殿　福谷長平殿　香藝誠商店殿　山城屋呉支店殿　浪治食品店殿　鍾城醇賞組合殿　下關　喜市殿　本田商店殿　備原商店殿　大島發兵衛殿　山口縣原乾川　藤田温治殿　中村秀文　愛媛　脊谷信彥商店殿　村上清次郎殿　福岡　石井忠商店殿　鈴崎商店殿　原商店殿　商組商店殿　明治屋　門司支店殿　石食料品店殿　アサヒヤ食料品店殿　八百治本店殿　大分　㊉濱口商店殿　溶渠川助三郎殿　佐賀　小地乾物店殿　愛知　富の梅商店殿　熊本　大島屋食料品店殿　青木本店殿　宮崎　鹿丸屋食料品店殿　三城商店殿　谷山忠八殿　鹿兒島　大社商店殿　沖繩　彫山食料品店殿　渡邊商店殿　福見本店殿　木内商店殿　丹下眞文殿　北海道　小澤商店殿　宮崎百貨店殿　出口總三郎殿　㊉今井商店殿　鐘太　手塚商店殿　臺灣　金興發殿　游丹與商店殿　裕商店殿　利和商行殿　金治裕商店殿　帝國製罐　賣組合殿　吉野屋商店殿　臺吉谷商店殿　錦合商店殿　鶯和濟商店殿　金務興商店殿　山吉商店殿　聚成堂商店殿　和興商會支店殿　東恩商店殿　山本本店殿　金昇興商店殿　源成商店殿　東發商店殿　朝鮮　讀賣組合殿　内藤商店殿　平山商店殿　平戸支店殿　永成商店殿　東發商店殿　新井同藥組合殿　明治屋支店殿　磁屋商店殿　あづまや商店殿　平田百貨店殿　野曾屋本店殿　山本商店殿　中山商店殿　小山商店殿　賀志興商店殿　松本豊一殿　水原物資商會殿　滿洲　生駒殿　滿洲　金村兄弟商店殿　關東　麗賈組合（安東）殿　全（大連）殿　西村洋行殿　滿鐵社員消費組合殿　全（南奈町）支部殿　全（撫順）支部殿　たばた商店殿

仁川出帆
山下汽船・川崎汽船代理店
●阪神　愛媛丸　月　日
●尾ノ道、阪神　丸　月　日
●糸崎、阪神　丸　月　日
●名古屋、清水、京濱　裕丸　月　日
●第一大發丸　月　日
●阪神　丸　月　日
山下汽船株式會社　川崎汽船代理店
協同海運株式會社　電話長八二〇番　八六七番

嶋谷汽船仁川出帆
○寄港地　天津、大連、鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、敦賀、舞鶴、新潟、小樽、伏木、宮津、函館（臨時）、室蘭、大泊、眞岡、釧路、厚岸、根室
○各船共總噸數二千噸以上ノ優秀荷客船ニシテ無線電信裝置ヲ有ス
大連天津直行（大連汽船天津航路接續）
仁川發
鮮海丸　六月十七日未明
大成丸　六月六日未明
長成丸　五月廿五日未明
裏日本北海道樺太行（群山木浦經由）
鎮南浦發　代理店三和町　日鮮海運出張所
鮮海丸　六月廿一日午後
大成丸　六月十一日午後
長成丸　五月廿九日午後
平野丸　五月　日
仁川發　代理店本町四丁目　日鮮海運株式會社
鮮海丸　六月廿三日午後
大成丸　六月十三日午後
長成丸　五月卅一日午後
仁川本町四丁目
嶋谷汽船株式會社仁川出張所　電話五八五・五〇一八

森信汽船仁川出帆
▲延安行　（隔日出帆）
▲唐津行　（毎日出帆）
▲瑞山行　（月六回出帆）
▲富里行　（隔日出帆）
▲牙山行　（隔日出帆）
各沿岸行帆船積荷取扱　道倉直物ハ云木社陸送部取扱
仁川驛前（電話一二六三番）
出帆定期表申越次第進呈
森信汽船株式會社

大阪商船株式會社
●關門神戸大阪行（群山木浦經由）
大信丸　五月廿四日
大州丸　五月廿七日
大智丸　五月三十日
山東丸　六月二日
△千山丸　五月廿八日
●名古屋、清水、東京行
△平和丸　六月二日
●大連行
開東丸　六月八日　前九時
●長崎、鹿兒島、三角行
國東丸　五月廿四日
元山出帆
清津、雄基行
照國丸　五月廿七日
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
照國丸　六月二日　時
●清津、雄基、羅南、元山、鋼鐵便利
京城驛ヨリ乘車ニ付京城ヨリ一晝夜ニテ到着
群山主要ニテ連絡切符發賣ス
内地各港出帆主要航路
●歐洲行毎月一回●南米行毎月一回
●孟買行毎月二回●北米行二週一回
●爪哇行毎月一回●南洋行毎月一回
●濠洲行毎月一回●御注意△ハ船客御利用
大阪商船株式會社仁川支店　電話二二〇、二二一番
京城代理店　國際運送株式會社支店　電話一〇七・一五九七番
東賀仲次　仁川本町一　鹽田組
專屬商掛　仁川港町六　鹽田組支店　電話七一番、一四三番

仁川出帆
尼ヶ崎汽船
群山、木浦、阪神　五月三十日
秀吉丸
群山、木浦、阪神　六月四日
伏見丸
群山、木浦、阪神　五月廿七日
赤城丸
群山、木浦、阪神　五月廿五日
代丸
尼崎汽船部　岡崎汽船部代理店
高杉商店回漕部
仁川海岸町（電話五九番）

仁川汽船出帆
海州線（隔日出帆）
仙掌線（隔日出帆）
延安線（隔日出帆）
甲串、江華島各港寄港
舊島線（毎月十回直行）
瓮津線（毎月數回隨時出帆）
德積線（毎月八回）
信島線（毎月八回）
靈興線（毎月八回）
大阜島各寄港
仁川汽船株式會社
仁川府港町七丁目（發着所海岸通）
各沿岸行帆船貨物取扱
事務所（電話一二四〇番）
荷扱所（電話一〇五八番）

朝鮮郵船定期航路
○金剛山探勝航路開始
咸北丸就航
元山發　毎日午前九時
長箭發　毎日午后二時半
元山着　毎日午后九時
自五月十六日至十月十五日
（博多行）
●慶州丸　六月七日　新義州發
西鮮各港經由博多行
●釜山丸　六月一八日　雄基發
北鮮各港經由博多行
○仁川出帆（代理店内國通運支店）
東京行　金剛山丸　六月五日
大阪行　錦江丸　五月三一日
長崎、三角、鹿兒島行　羅南丸　六月四日
本浦行　昌原丸　六月一日
海州行　甕津丸　五月卅日前十一時半
群山、大連行　裕丸　六月二日
大連、青島行　平安丸　五月三一日
濟州島行　濟州丸　五月三一日
多島海行　興丸　六月一日
大阪行　昌原丸　六月六日
東京行　錦江丸　五月三〇日
○木浦出帆（代理店山野回漕店）
東京北陸行　天安丸　五月三〇日
大阪西鮮行　錦江丸　六月四日
大阪北鮮行　釜山丸　五月三〇日
長崎三角行　羅南丸　六月七日
鹿兒島行　成鏡丸　六月一日
大阪（釜山經由）行　京畿丸　五月一日
北鮮行　平安丸　五月三一日
上海行　平安丸　六月九日
浦項行　新義州丸　六月二日
鬱陵島行　新義州丸　六月二日
江原道行　臨城丸　六月二日
濟州島行　臨城丸　六月一日
宇品大阪行　立神丸　六月一日
濟州島行　立神丸　六月一九日
○釜山出帆（取扱店大池回漕部）
東京西鮮經由　天安丸　五月三〇日
東京北鮮　天安丸　月　日
大阪西鮮經由　錦江丸　六月四日
大阪北鮮　釜山丸　五月三〇日
長崎三角　羅南丸　六月七日
鹿兒島行　成鏡丸　六月一日
●日本郵船出帆
歐州行　北野丸　六月四日
桑港行　大洋丸　六月九日
濠州行　丹後丸　六月五日
▲右之外各地共臨時船ヲ配船致ス時々船日ヲ取計ヒ居候
朝鮮郵船出帆廣告
●釜山出帆（取扱店釜山回漕店）
麗水行（急行）　各港寄港　毎日前十一時
木浦行　各港寄港　隔日後一時
馬山行　各港寄港　毎日前九時
統營行（急行）　毎日後十一時
浦項行　各港寄港　毎日後十時
方魚津行　各港寄港　毎日前十時
●木浦出帆（取扱店吉田回漕店）
釜山行　各港寄港　隔日後十時
朝鮮郵船株式會社
京城南大門通り
仁川出張所　海岸町
釜山支店　大倉町
元山支店　海岸通
本局電話（四一九五番、四一九七番）
京城代理店　内國通運會社
電本（二七九、三一一〇番）

夏への商戰　繭の卷（5）

問題となるのは生産費の協定

方針を決する道技術官會議

此れ等の方針が本府において定められるまでには各道技術者會議を召集して頗る熱心かつ慎重なる研究討議が行はれる。そうして各地の事情を充分に參酌して大方針が確立さるゝのであるが、實行のこの特賣方針に對しては各地の利害その他から可なり議論が出て抗議的の陳情等が行はれた。仲買業者といつても眼肥の如くピンからキリまであつて、これ等は悉く惡質なものばかりである譯ではない。內地製糸業者の代理者となつて相當の後援を有するものや資力信用を備へたものは相當その行動も自重して居り特に過去における關係の深い製糸業者には其功績も大いに認められなくてはならぬものがある

◇

現在といへども鮮內製糸工場において消化しきれない場合においては過剩繭の消化に對してこの仲買業者の活動にまつことゝならねばならぬ譯であつてこの仲買業者の呼び全然一顧の價値なしと一蹴し去るべきものではないと思はれるがそれだからといつて鮮內製糸業の發達を阻止せしめることゝなれば製糸業全體を通じての大問題となる譯で『あちら立つればこちらが立たず』といふ苦しい場合に立たされた結果の特賣制度なのである。

◇

然しこの制度が完全無缺な制度であると論ずるは餘りに早計である本府自體の出をたゞいてみてもこれを唯一至上の方法として採用してる譯ではないらしい。がたゞ今のところこの方法以外に別に名案も浮かばないから過渡的の便法として實施して居るに過ぎない、從つて永久不變の販賣制度ではないのである、だが內地における昨年の繭取引が表面は兎も角裏面においては資金融通のため掛賣で製糸家から製糸業者に渡されたところもあり、そのため、製糸家は資金の回收が出來ずに非常に混亂した所もあつたことに比すれば朝鮮は好成績であつたといはねばならぬ。その原因がこの特賣制度にあつたといふ事のものではあるまい

◇

今年も本月の廿三日からこの技術官會議が本府において開かれ販賣方針その他が協議されたのであるが今年度同樣前年度の組織の會議であるから關係方面から興味を以つて迎へられたものである。會議の內容は秘密にしてあるがしかし大體において總督府の大方針として確立せられた目標に對しては各道の目の色もかはるやうにかかはる販合のものでもなく從つてその方法等もたゞ一年實施したのみで適否が決定される譯でもあるまいから當局の口吻によるも大體昨年と大差はなきものと想像さる。◇

さてその共同販賣に特賣たると問題たるとを問はず問題となるのは生産費の協定と繭價決定である。共同販賣の價格協定に當たつては先づ中間にありて腕從する仲買人と賣商人とが生産費の協定を試みる。生産費とは生糸百斤を標準にして繭を從來から生糸につくり上げて商品に送り出けるまでに要する總ての費用額に製糸工場に對し糸價變動による危險の負擔を見込んだものゝことであつて、この生産費が協定されると繭生糸現物價段に先物相場を加へて二分したものを標準にしてこれから協定した生産費を差引いた額を十六分していはゆる『掛』が算出されこれを基礎としてその品質により定められた繭の等級に應じて價格が決定される又繭の價格決定は多くは郡の技術員の手でなされるのである。

營業自動車を全部均一にする

府外の場合だけ時間制に　京畿道警察部で決定

京城府內の自動車營業者は四十四戸あり、タクシー、乘合、時間貸しの三營業に分れ、以前から狀態不良のものもあるが、京畿道警察部はこの取締り方針について考慮中であつたが廿八日決定し、田中保安課長は各營業者にこれを通達した、その內容は府內の自動車はメーター八臺、均一十四臺、外にサイドカー一臺、時間貸八十七臺であり、これを利用するのにメーター、メーターでは一圓で濟むが時間貸しであれば最低二圓を要し頗る不利であるが、均一を使ふにも業者は全部の請求をはたさず、又、自動車業者の競爭の結果、時間貸營業者も、ひそかに均一の如き營業をなし弊害少くないので、今後の自動車營業は均一に定め府外運轉の場合だけは時間貸しを認めることになり又時間貸しと均一の營業はなるべく均一に漸次あらためる事を勸奬し、又郊外運轉の場合の時間貸し料は卅分に二圓を限度とし、卅分又はその端數を增す毎に二圓を加へ、半日又は一日としての時間貸しは之によらぬ事となし、これに違反せるものは嚴重取締ることとなつてゐる

宗約所の內輪もめ

京城府校洞の全州宗約所は金鍾學氏の關係で元宗約所長の中心で其の補助金を下附されてゐたが近年內紛絕えずかつ不正な行爲が行はれ出したので現在では李王職とは無關係の狀態にある、然るに所內は依然として派、反對派の爭が絕えず最近頗る險惡に陷つてゐたところ二十八日午前十一時ごろに到り雙方摑み合ひの大立廻りをはじめたので鍾路署では萬一をおもんばかり警官を派して鎭定すると共に取調べてゐる

爆破の損害五萬圓　原因はなほ判らぬ

咸鏡線明川驛における汽罐車の爆發原因については機關庫よりボイラー專門の技術者を派遣して調査中であるが、同汽罐車が爆發を止めぬまでに破壞されてゐることゝて調査は困難だが專門家の見る處では多分ボイラー構造の不完全に起因するものではないかといはれ或は又機關士の不注意とも見らるゝ筋もあり、今なほ不明の狀態にあるが損害は復び古びた汽罐車のことゝてこれを見積り四、五萬圓程度のものであらうと

熱狂、拍手、歡聲

さつきの空に熱球飛ぶ

ネットプレイの妙技に醉へる模範試合の第二日

デ杯選手の名ごりをみせる日章旗のマークを胸間に輝かせて原田武一選手入場すれば、福田にもまさつてスタンドにつめた觀衆は一齊に**拍手**してこれを迎へ、つゞく福田雅之助選手顏を出してコートに立てば、觀衆また歡聲をもつてこれを迎へる――わが斯界に大樹藏を誇る原田、福田兩選手のエキジビション、マッチ第二日の京城庭球部における光景である、この日は既定のプログラムのシングルスの外に在城外人倶樂部のストークス、アペンゼラー組と福田、原田組のダブルスマッチを行ふ事になつた爲、在城外人の觀衆頗る多く、觀覧席に三千とちゆうされた定刻午後四時卅分さつきの陽中を白球飛び交ふ**壯觀**に觀衆の熱狂裡に、原田對城大選手のシングルスから試合は開始されたが、この日は特にネットプレイの妙技を多くみせ庭球の至藝こゝにありと觀衆に示し見るものはたゞ恍然とした試合の成績は左の通りである

原田　田六―一菱（城大）

原田	6―0	菱
	4―1	
	4―2	
	6―2	
	4―2	
	4―2	
	1―2	
	1―6	

ストークス、アペンゼラー　一―六　原田、福田

第一セット		
ス	0―4	原福
	4―3	
	3―3	
	0―3	
	2―0	
	2―0	
	1―6	
第二セット		
ス	4―3	原福
	2―2	
	5―1	
	4―0	
	4―1	
	4―1	
	6―1	
	1―6	

福田　田六―三三　上

福田	4―0	三
	1―4	
	4―1	
	5―3	
	4―2	
	4―2	
	0―4	
	3―5	
	4―2	
	6―3	

原田　田六―〇菅

原田	4―1	菅
	7―5	
	4―2	
	4―0	
	4―1	
	4―1	
	6―0	

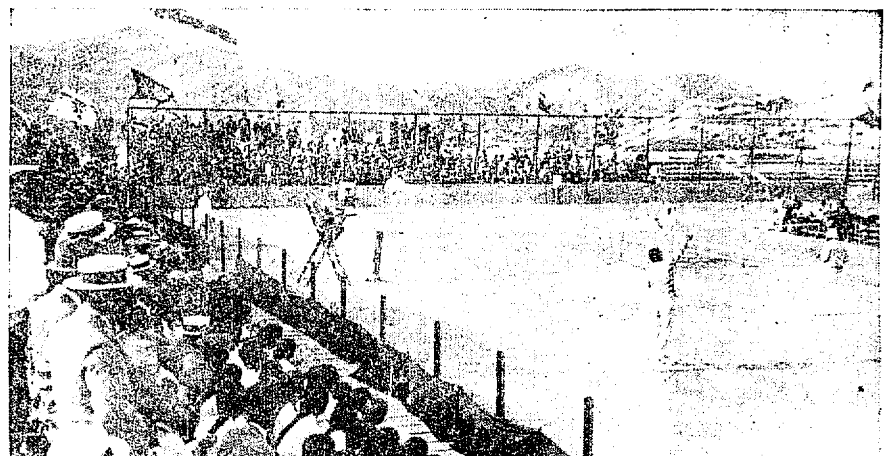
原田　田六―〇福田

第一セット		
原	4―0	福
	4―2	
	2―4	
	4―0	
	4―1	
	4―1	
	5―3	
	6―1	
第二セット		
原	4―2	福
	4―2	
	4―2	
	4―2	
	4―0	
	5―3	
	6―0	

突如、通信を絶つ

地點はスピッツベルゲン附近　イタリア號難破か

【コペンハーゲン二十八日發】二十八日朝二時五分受信スピッツベルゲンよりの通信によればノビレ少將の航空船イタリー號は二十五日午前五時突如通信を中絶したがその際同船は難破したものと信じられるその際の同號の位置は北緯八十一度乃至八十一度東經七十七度、東經十七度乃至二十八度附近の海邊（スピッツベルゲン附近）にあつたものと推定される（寫眞はノビレ少將）



模範試合（第二日）【ストークス・アペンゼラー組と福田、原田組の試合】

原田選手は居殘る　福田選手はけさ出發

なほ福田選手は二十九日午前十時發列車で歸るはずで原田選手は居殘り各方面にコーチするはずである

淳風美俗の資料蒐集　物集博士が一代の思出に

國文學の權威者、文學博士物集高見氏は數年前より全國各地を遍歷踏破して我國良風美俗の調査を行つて居たが近時歐米思想の侵入いちじるしく、その弊害の大きな事を痛嘆してゐたがなほ健在したるに一面わが國固有の良民精神たる良風美俗も全くすたれてないので同博士は遠く全國にわたり良風美俗を蒐大調査し、思想界善導の一助たらしめ資料を公にしかつ國家に貢獻することとなり、一、全國各地の名家、孝子、節婦、篤行者、貞女、二、各地の特殊の風俗慣習、三、傳説、傳記、義人の事蹟、四、宗教家、教育家、特志家、慈善家に關する事蹟、五、各地特有の良風美俗に關する事蹟、六、その他尼僧、高僧等に參考となる事蹟等々である、朝鮮においてもこの事業のため同博士の代理として昨日梨材實氏が來城し、府とも打合せの上、全鮮各地に向ふ豫定であるが、なほ前記事項に合ふ事項を御調査下さつた方は東京市本郷區駒込千駄木町卅一番地物集高見氏宅に送附されたいと

學生の片戀から遂に學校騷動　但しオーストリアの話

△（ウインナ特電廿日）日本も學校騷動では相當有名だが教師が生徒にピストルを擬したなどと云ふ話は未だ聞かない。◇最近墺國に擡頭するガリシヤのプルゼミイルと呼ぶ町では數々と學校騷動起こり都會のみならず町民も一方ならず緊張してゐるが事の發端は一數學生が一授業に見たばかりの少女を見込んで鎭々と勉學が手につかぬのみかやせ細つて元氣がないのを教師が微笑し一日級友の面前で冷笑の言をくそみそにやつつけもつと學習に身を入れるやうにと手きびしく叱りつけた。

△ところが先生の訓戒に怨みを抱き怒り狂ひの外件の學生は鬼の如く怒り立ち矢庭に教壇に飛び上り教師の橫面をなぐつたと云ふ事件で右學生は直に放校された、事の父親からも『お前などは勞働者になつて稼いで働け』と非常な叱責を受けた爲右學生は唯さへ片戀の惱みに四々の身を學校から父親から見捨てられたので前途を悲觀し鐵道自殺を遂げてしまつた。

◇ところではからずも右學生の自殺はプルゼミイル全市の學生の同情を喚起し葬式には多數の男女學生が參列し學校當局さては學生の父兄の處置までも憤慨する大騷動を試み大擧して學校に押し寄せ窓ガラスを破壞し滅茶々々に破壞し更に叫喚の教師の住宅に殺到して手あたり次第に家具類をぶちこわす等の亂暴を働くに至り學校當局は遂にその翌日から校門を閉ずに至つたものである。

△右事件はこれで一先づケリがついたが最近又も同地に起つたのが問題のピストル事件で或日クツチヤといふ數學教師がプリッツと呼ぶ一學生の非行を父もクラスで叱責したところプリッツは教壇におどり上つて教師を毆りつけんとしたので右教師はピストルを取り出して脅しつけた。

◇しかるに學生のプリッツは逆腕を捕へて『よし…打つなら打つて見ろ』と上衣からシャツまで脱ぎ捨て教師の前に胸を突き出した。これには教師も困りはてゝ一散に教員室に逃げ込んでしまつた。プリッツは臨時教授會處分となつたが同夜家出の一驚は父も學業を選び顏然たるもの。

竊盜二件の若者捕はる

五月廿五日午後十時五十分頃京城醫專前大和町久吉方の家人が留守になつたのを幸ひ忍び入り財物を物色中家人に發見せられ一物をも得ずして屋根裏より飛び降り逃亡したが、急報に接した本町署安藤刑事は直に現場に急行捜索の結果、逮捕し取調べたところこの者は府內櫻井町二丁目伐竹崎市君こと張錢甲（二）なる者で幼時父母をうしなひ十四歳の時、當時山口縣大島郡神宮村國漁師方に雇はれてゐたが昨年十二月解雇せられ京城に流れ込んで來たもので、五月十五日、十八日の兩夜二回にわたり竊盜を働いた事を自白したが同署ではまだ餘罪ある見込みで嚴重取調べ中である。

纖細な技巧と裕かな表現　音樂同好會の演奏會

二三年の開始と沈默の形であつた京城音樂同好會も漸く活躍の氣みなぎり既報の如く六月二日午後八時から府內長谷川町公會堂において上野、武井兩夫人の大演奏會を開催することとなつた上野ひさ子夫人は大正三年の東京音樂學校の出身で、同十三年ベルリンでヘス教授の薫陶を受けた人、その純正な音色と纖細な技巧とは既に定評のある所である、又竹井孝子夫人は大正五年の音樂學校の出身で第一高女の大島氏とは同級の間柄である、ショルツ教授の愛弟子でそのピアノ演奏は極めて正確なもので音の陰翳濃淡自由の中に表現力の豊かな點は夫人の特徵であるかくの如く二人の夫人は師を同じうした二夫人揃つて今回の演奏會に出演することは京城として確に珍しい一つであらう（寫眞は右竹井夫人、左上野夫人）

短刀で脅かす　無錢飲食の若者を逮捕

【仁川電話】龍岡郡生れ、當時仁川府寺町二四和村方、谷本正太郎（二）は二十七日午後十一時府內花町二ノ四四飲食店七島ノブ方において六圓餘の飲食をなしたが勘定支拂の時となり、自分は惡漢五段なりと豪語して懷中より刃渡り六寸余の白鞘の短刀を取出し亂につきさしておどしつけ、なほ女を押倒して馬乘りとなり右刀を逆手に持ち暴行を加へんとしたが、急報により駈付けた仁川署員に逮捕され目下嚴重取調べ中

數千名を檢束す　赤色戰士團の示威運動

【ベルリン廿六日發聯合】廿六日ベルリンに於て赤色戰士團の示威運動行はれ、これに參加するドイツ全國から集つた共産黨員は七萬におよび警察當局はこの內三千名を檢束し示威運動の解散を命じたがこれに從はず警官と小ぜり合を演じ負傷者數名を出した

例年にない大人氣　鮮展の總督買上も決る

三十日までの會期切迫した鮮展の觀覽者が俄に殺到し御買上げ品まで合せて五十五點目下交渉中のもの十余點といふ例年にない大盛況である、なほ總督の買上げは左の如く決定した

▲翠巒（京城）金振宇▲碧山（同）松田正雄▲鶴（同）前田金七▲峠の五月（同）加藤倫吉▲庭園（）桐島鶴▲靜物（同）伊藤秋畝▲初春風景（釜山）八島俊雄▲花（京城）多田毅三

さすがに古國　日向から國寶

新納博士の鑑定を前に各所から縣廳へ押かける

宮崎縣にては奈良美術院長新納忠之介氏を招聘して縣下各處にある古器物佛像等の鑑定を受くべく計畫したがこの報傳へて各處より續々と寄託の申込みがあり宮崎郡師寺にある行基作の阿彌陀佛、延岡町に八日自作の阿彌陀佛（木像）等、新納博士の鑑定を受くる國寶とのないものばかりとてさすがに古國日向だけに珍重な器物佛像の多いのに縣當局も驚かされて居ると同時に掘出物だと喜んで居る、因に同博士は目下大分縣において鑑定中である

本社見學（廿八日）▲大邱務官學校教習所生徒六十二名（石黒教官引率）▲古蹟宮學校職員十六名（家鳥校長引率）▲球磨農學校生徒四十五名

賃銀値下げで人夫が騷ぐ

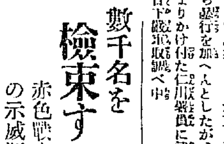
監督や組頭などに暴行をはたらく

龍仁郡龍仁水利組合人夫二百余名が二十七日午後八時ごろおしよせ、組合に押しよせ、監督組頭などに暴行し組頭一名に重傷を負はし騷ぎますく擴大化せんとしたが急報により警官が出動して鎭壓した、右は同組合の工事請負者が賃銀を値下げしたので憤慨したもので同組合では二十七日に至り賃銀を値下したため一般の人夫の憤慨を買ひ遂に暴行に及んだもので今後の成行は注目されてゐる

睾丸を握りつぶす

二十七日午前二時三分ごろ府內本町四丁目百卅四番地山本萬吉方雇職人金相運（三）が友人二名と本町五丁目十番地カフェー白雪でコーヒを飲みながら談笑してゐる最中向ふ側の食卓に同僚二名と飲酒中の府內本町四丁目九十二番地村上某が突然向ふ側の金相運に對し何事かわけのわからぬ事を論じ出したあげ句土足のまゝの右足を食卓に突出したので、金相運がのけんとした處何分村上は泥醉して居たので喧嘩となり近寄りてゐたので喧嘩を先ひ後向に打ち倒れたので村上は矢庭に金相運の睾丸を握り潰し、全治四週間の重傷を負はすに至つた

アナウンス



▲この京城大學の學部の先生達の研究では、やる▲はやるといつては叱られるかもしれないが▲研究を發表してゐる人が多い▲臨床では、外科の小川教授が外科學教室の鈴木元晴博士を▲レントゲンの研究を▲基礎で士がその專門の研究を▲第二藥物の杉原德行博士が石戸谷勉師と共著で朝鮮の藥用植物について▲深山あるがその中で▲微生物の助教授、田邊操博士は『人體寄生蟲とその治療法』といふ四六判を研究家、醫學生向きに、富島靜之助博士と共著で出した▲さし繪、解剖學を極め定價一圓五十錢は安いと評判であり▲內容の透徹さも、好評である▲田邊博士はなほつゞいて、小林晴次郎博士と共著で近く大物を發表するそうである、こうして教授連の著書がどんどん出ると▲講義をサボつて書物で試驗に間に合せる學生がふえはしないかと▲些に心配してゐるものもあるとかないとか

浪花節　女流浪曲界之大立物大野興子一行（五月三十日より）

蠅・蚊・蚤其他虫類の全滅藥　イマゾ　蠅取粉　殺虫劑　害虫驅除劑　果樹・蔬菜・農作物の

空氣氣候療養所　呼吸器病專門　虹ヶ濱病院　山陽線光驛東五丁

ソバカスとり　ネオエペリン　世の御婦人方に急告　現代の美人となるにはソバカスを除く事よりも早く已に實驗されたネオエペリンを試みに依つて美しく色白の人となつて下さい　特にネオエペリンは一、使用簡單にして完全に得る事　一、皮膚を痛めず苦痛なき中に速に之を全治せしめる事　定價一圓　荷造送料四十錢　製造元　美容藥專門　京城府公平洞六六番　京城光化門五二四番

三菱製鐵株式會社　第弍拾壹期營業報告（自昭和弐年拾月壹日　至昭和参年参月参拾壹日）

貸借對照表

貸方		借方	
資本金	三〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇	固定財産	[illegible]
法定積立金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
支拂手形	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	合計	[illegible]

取締役會長 [illegible]　常務取締役 [illegible]　取締役 木村久壽彌太　取締役 [illegible]　監査役 [illegible]

夏物洋服品揃　河内洋服店　カタログ送

眼科專門　金井眼科醫院　京城若草町

釜山大倉町二　改築落成　親切叮嚀　茶代廢止　御旅館　望月支店　電話長二四八番

天下一品　到る處氣人の良い此の銘酒和か松　ワカマツ　醸造元　若松商會酒造部　京城府櫻井町　若松商會出張員

多産鷄ヒヨコ　丸善孵卵場　釜山府大新町　太田大作

鞄ハ　タカギサ　京城本町一　高木鞄店　電本二一五三四

梅毒　恩給　恩給　貸家　恩給　帽子　充電　玉突　醫師　融通　恩給

京日案內

五號活字十五字詰五行一回壹圓五拾錢（一回廿二字詰）前納の事

小説 明石將軍 (54)

白石實三作　多田毅三畫

柔道家ヒロセ

携へた旅嚢の處置はシリヤスに托した。

『これで、一まづ眼ざはりな奴を片づけた。さあ、いよいよ大事に取りかゝるかな』

明石は、ほつとしたやうな氣持で、さうつぶやいた。そして、途中でシリヤスに別れて、自分の宿へ歸つて來た。

戸口の呼鈴を鳴らすと、宿の主婦は駈け出して來た。

『明石さん、あなたに御面會の人が待つてゐますよ』

『私に面會？はてな、今頃誰だらう？』

明石は階段を見あげながら『何處の人です？日本人ですか？』

『いゝえ、言葉の訛りではロシア人かと思ひます』

『ロシア人が？……はて誰がな？』

『それが、どうやら訛めていらした方のやうな御様子です』

『さうか……いや、ともかく會はう』

明石は、薄ぐらい階子段をづしり〳〵と上つて行つた。何氣なくあるきながら心は鋭く緊張してゐた。

が、應接間のドアをあけると、そこに待つてゐたのは、一人の青年で、身なりも相當であれば、眼鼻立のきりとした從順さうな氣品のある青年だつた。

『今日は』

せはしく椅子を立つて迎へる態度も、さう敵意があるとは思はれなかつた。

『今日は』明石も露語で答へながら、

『あなたは誰です、そして誰の紹介でこゝへ來ましたか？』

『私はシベリアから來ました、滿洲から逃げて來ました』

『滿洲からアのといふと、あなたは出征兵ですね？』

『さうです、私はクロパトキンの軍を脱走して來たものです』

『で、紹介者？』

『紹介者はこれです』

言つて内懷からだして示したのは、一枚の宣傳ビラだつた。

明石第一策が出征軍へまいた『敵は汝の背後にあり』といふ一枚のビラだつた。

それを指さしながら、青年はつゞける。

『明石大佐殿、このビラにあるとほり、私たちとしては、遠い異郷の戰場に無益に血を流すには忍びないのです、いな、現在のロシアとしては、まつたくさういふ必要はないといふ自覺の下に、私は敢て、戰線から逃げて歸つた一人なのです』

『面白い』、あかるく室中を照した。明石は、じいつと相手の眼を見ながら、

『まあ、掛けたまへ』と、椅子をすゝめておいて『で、君たちは幾人ぐらゐで脱走したのかね？』

『三人四人と群をなして脱走しましたが、多くは捕へられました、幸なことに、私はシベリアの國境に近かつたので、首尾よく國境に落ちのび、變裝して、本國を逃げだしました』

『それで、私のところへ來たのは？』

『明石大佐殿』青年はやゝ改まつた態度で、

『大佐殿、私は多くの日本人を知つております。私は、八代中佐を知つております、日本の柔道家ヒロセも知つて居ります』

『なほ、廣瀬少佐を……』

『さうです』青年の眼が、きらと輝いた『あの人は、私が、露都でたづねた時は日本の海軍大尉でした、私は、あの人に

新らしい出版物

◇伊太利古典近代劇集　伊太利の劇は喜劇の大衆芝居から一つの形が出來た、それは十六世紀の後半だと云はれる當時の役者は悉く作家をも兼ねたもので極めて低級な變化に過ぎなかつたが次第にその中からもいゝのが出るやうになつて假面劇の型を作るに至つた。本書には古典原作家として喜劇のゴルドオニ、ゴッツイ悲劇のアルフイエーリ、歌劇のメスターヂオの四人を取り入れてある十八世紀は伊太利劇の變興時代であり拾九世紀後半が最も花やかな近代劇時代となるのであるが此の時代の思想傾向の變遷は眩るほしい程で所謂近代劇運動の芽生えを培つたのであつた。例の火のやうな熱烈の愛國詩人、ダンヌツイオは斯う云ふ運動の渦中に揉まれ乍ら伊太利劇完成への過渡期に尤も華やかな活躍を見せた作家であつた。之れと丁度反對の行き方をした作家にヴェルガがある。カヴァレリア、ルスティカーナは此の人の作でピエトロ、マスカアニと云ふ作曲家に作されて歌劇となり吾々には却つて歌劇を通して此の作の名前に親しまれて居る、本輯に取り入れられたブラツコオは南歐のイプセンと稱せられイプセンの影響を多分に受けて居ると云はれる今一日のジャコオザは詩人で藝術の鉄愛者であつた完成された現代劇への道程に於て夫々の役割を立派に仕遂げた人々である。世界戯曲全集第三十七卷伊太利篇の一（東京市神田區錦町三の九世界戯曲全集刊行會、豫約價一圓）

▼ハーモニカ吹奏法　黒澤隆朝編著洋樂叢書第十冊。ハーモニカの吹奏の手引となる。名曲集が附されてある。（東京市神田區小川町四一敬文館六十錢）

▲草の實　五月號。女流歌壇の人人の歌壇雜誌。月光記念號と銘打つて同人の北見志保子さんの歌集『月光』の感想を聞めてる（東京市小石川區表町九一草社三十錢）

▼滿洲事情案內所の態度（[illegible]非賣品）

出版物納本（廿五日）

（總務局圖書課調べ）

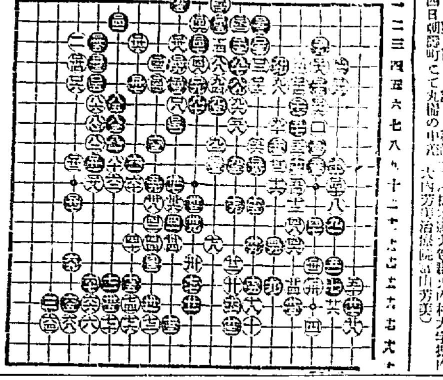
邦文の部▲[illegible]（第五號）[illegible]▲[illegible]（第五號）[illegible]▲[illegible]▲京城新聞▲[illegible]（第二十七號）京城新聞▲[illegible]（第一號）[illegible]▲[illegible]（五月號）[illegible]▲[illegible]

鮮文の部▲[illegible]（第四號）▲[illegible]（第五號）[illegible]▲[illegible]（第九號）朝鮮週報社▲[illegible]（第一三號）開闢社▲[illegible]

圍碁新局

（完）

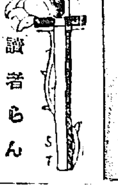
先 小杉丁（四段）
先相先 木谷實（三段）



日本棋院審査會評

白一四は矢張り「一五」に飛んでるがよい、黑より「一五」「一七」と迫られることは此の方面にとつては少なからぬ打撃である。白三三は「三三」「五七」の[illegible]方が好手段で、白五三は[illegible]白六四は[illegible]白八六は[illegible]。要するに白は[illegible]大切な[illegible]中央の白が[illegible]其の成行にまかせたもので[illegible]以下大劫にするなど其の[illegible]白も亦「一〇〇」以下大劫にするなど[illegible]のところ白の無理であることを[illegible]つたのは是非もない。

讀者らん

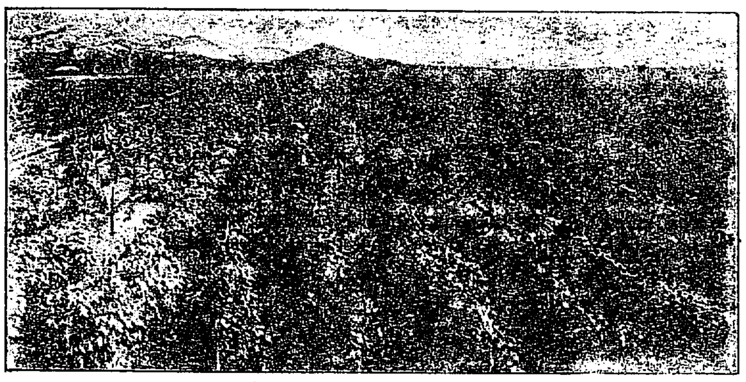


▲二十四日朝鮮町にて丸帽の中學[illegible]一枚ひろひましたゆゑ御心當たりの方は御城驛交番に御出で下さい（届人）▲木の皮をむいたと聞るに家賃の値上げについて考へなさい、電車が笹子洞まで延長したので値上げとはあきれます、ガスが來たらバスが通る様になつたら今度は便利ぎるので五圓位上もげるのでせう、人を愛せよアーメン（三王山下生）▲十九日水標町本願寺において子供達御は[illegible]のお方を拾ふ御願ひ致しますかわりは當方に保管致して居りますが少し大きく色がおはさかへのようです（西四軒町四森）▲朝鮮で發行の『アジア評論』誌發行所を知りたい生でございますが、僅に恐れ入りますが本欄を以て御指示を願ひたうございます。又讀者および編輯當局にお知らせ下されば幸甚にございます（讀みのる生）▲西野健兒氏などがやつておられましたが今は[illegible]になりました（係り）▲二十二日の[illegible]（B生）▲[illegible]り紙を[illegible]するよりも更に一歩を進めて便所汚水の消毒を勵行する方がいゝと思ひます。[illegible]の方が[illegible]に思はれる[illegible]を撲滅しても▲蠅は殺せばそれでいゝと思ふ[illegible]ちやとてもチフスはやまぬはず。それともそんなに根本的にやつたら汚物が肥料にられませぬか府尹ソモサン（わからずや）▲二十七日の一[illegible]氏よくインキンには[illegible]の[illegible]もありますが[illegible]に腹あぶりして御覧なさい一味か二味で必ずなほります（實驗生）▲何卒鐵道を持たぬ市によつて設置を感じて居るもの[illegible]かこの形勢をかん和させる意味においても[illegible]下さる御方ありませんか（[illegible]生）▲本紙の[illegible]のお方にて[illegible]の友、婦人の友、婦女界の御愛讀者[illegible]に濟みませんがもしかお手[illegible]の内で、一誌何れなり共よろしい御持ちの御姉様に[illegible]になりました古き同誌であれば結構、誠にお願ひ申上げて濟みませんが、私の研究を助けると思ひましてお讓り下さる様お願ひ致します（栃木縣芳賀郡大内村大字掘内大内芳[illegible]）

本邦産優良歐洲種葡萄酒

東洋のボルドーの稱ある朝鮮浦項ミツワ農場葡萄園産の優良歐洲種より自釀せる

各種の優秀葡萄酒、並びに之を基礎とさせる各種の純良洋酒類が、漸く出來ました



朝鮮慶尙北道迎日郡東海面ミツワ農場葡萄園の一部

ミツワ農場葡萄園は、南朝鮮東部、大邱を距る三十里、東海岸唯一の良港浦項（即ち畏くも　神功皇后が御上陸あらせられし迎日灣でございます）郊外に在りて方二百町歩餘、理想的の葡萄園として、驚ふるに『東洋のボルドー』なる稱呼を以てせらるゝ所以のものは、先づ其地層が珍しき第三紀層に屬して、土壤は寧ろ輕鬆なるが故に排水に好く、之に石灰を用ふるを以て全く彼の佛蘭西葡萄酒生産地と同じく、加ふるに土地は高燥にして適度の傾斜を存するが故に、排水の事は愈々理想的に、年雨量最も少くして其配置宜しきは勿論、特に果實の成熟期に當りて雨量少く乾燥強きを以て、葡萄は能く樹上の儘に完熟して、其果汁に於ける糖度の如きは、年々平均二十度より二十四度の好成績に迄昇つて居るので在ります。

即ち優良歐洲種特有の色調と芳香とを示して、絶對に他糖の混入を要しないので在ります。

加ふるに最新式完備の釀造場と貯藏庫の存るあり、俟つに專門優秀の技術を以てして、絶對に人工的異物を加へず、況んや彼の着色、制水等の不自然行爲を爲さゞるが故に、學者が所謂『眞正にして健全なる』即ち『葡萄酒固有の成分は遺憾無く之を含有して、特有の芳香を有する』下記各種の葡萄酒、並びに之を基礎とさせる各種の優秀酒を得たのでございます。

是非御鑑別の上御愛飲の程をお願ひ申上げます。

◎ミツワ石鹼本舗　東京市下谷區二長町　登錄商號　丸見屋商店　振替口座東京七一〇番

釜山榮町二丁目三番地　福榮商會卸部　電話（長）八九八番　一〇八一番　電略受信（フサン）サカエマチ　フクエ　振替口座京城一二九番

鮮滿各地方に對しては格別出精御用命に應じ可申候間何卒弊商會へ御註文の程希上候

責捌　到る處の和洋酒食料品店に有り

◎醇良葡萄酒　自釀芳醇 生葡萄酒

◎ホワイトワイン　自釀芳醇 白葡萄酒

◎クラレット　自釀芳醇 赤葡萄酒

◎スヰート ホワイトワイン　自釀甘味 白葡萄酒

◎スヰート レッドワイン　自釀甘味 赤葡萄酒

◎キュラソー　葡萄酒を基とし て香味芳醇

◎ベルモット　獨特の香味を 保つ優秀酒

◎ブランデー　自釀葡萄酒を基礎として醸造せる純良酒　（スヰート百瓩 オールド二百瓩）

（以上は總て現品縮寫圖）

演藝案內

東亞キネマ直營 東亞倶樂部　▲二十八日より三日間　[illegible]均一學生小人十錢　東亞キネマ時代劇部特作『足』全卷　衣笠貞之助監督作品　時代小品　島田嘉七[illegible]　ペタオール 十卷　[illegible]頭 八卷　[illegible]

マキノ 中央館　▲二十八日封切　今春映畫界に一大センセーション[illegible]　マキノプロダクション特作　原作[illegible]　サーカス 全八卷　[illegible]　聞者 全拾卷　[illegible]　マキノ智子、岡島艶子

大正館　二十四日より超特別大興行　新線邦畫の發達に資する大松竹の[illegible]　感激時代 八卷　[illegible]　白井權八 八卷　林長二郎主演　[illegible]

喜樂館　二十九日より三日間　[illegible]　ダルマッチ 全六卷　[illegible]　橘中佐 十卷　[illegible]

京龍館　廿六日ヨリ　[illegible]　魔の沼 全七卷　[illegible]　千姫 全六卷　[illegible]

浪花館　五月三十日ヨリ　[illegible]　天野照子　京山桃子　[illegible]

木材防腐劑 クームヒン　Aクームヒン　醫藥 ハイジン　京城 クームヒン株式會社

模範 全乳　[illegible]

太正堂肥料商會主催 東亞牧場（電話本町二六五番）

本社 和歌山縣那賀郡下神野村　紀伊棕櫚製株式會社製品　京釜線大田　棕櫚製品各種 鮮滿一手發賣元　畑孝三郎商店　電話長一四一九番　振替京城一二六四六番　私書函西一一七號　（特約店一道一ケ所設置 御希望の方は照會乞ふ）

超高級醤油

實績

全鮮品評會に於て二回續いて最高優等賞を受領しました

京城市內販賣品評會に於て內地本場醬油を凌いで最高点を獲得いたしました

東京市販賣品審查會に於ては九拾六点八分の高点を得て居ります